

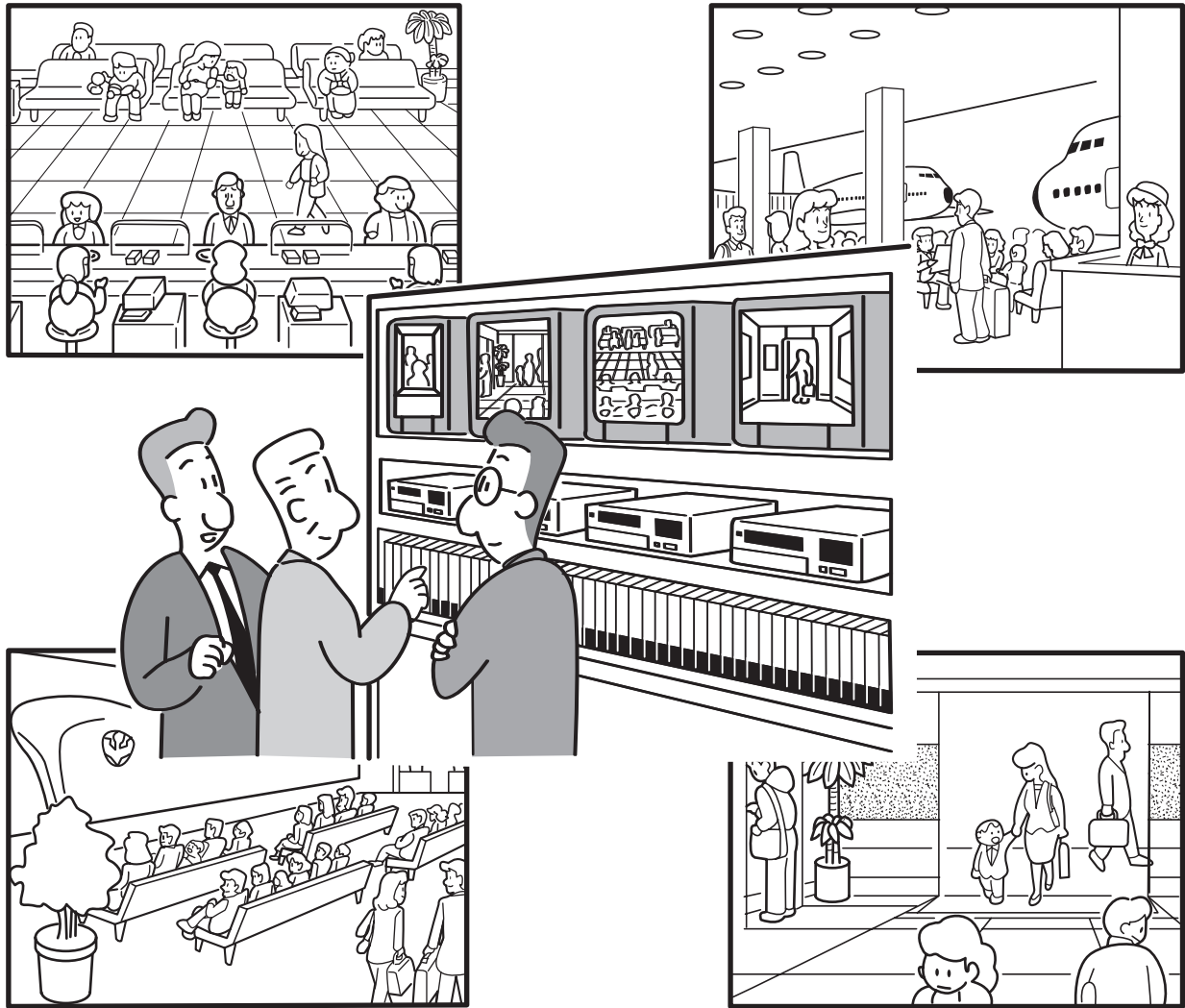
デジタルタイムラプス
ビデオカセットレコーダー

デジタル
DTL2

Panasonic[®]

AG-DTL2

取扱説明書



保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

- 本機は、当社タイムラプスビデオ（デジタルタイムラプスビデオ以外）とは互換性がありません。
- 本機は、デジタル方式ビデオです。

S-VHS または、**DVHS** マークのついたビデオカセットテープ以外は、使用できません。

- 本機は、監視・保安・観察など、高信頼性を要求される商品として設計されています。
録画の信頼性を確保するため、下記のビデオテープを使用されることをおすすめします。

S-VHSテープ：120分テープ

D-VHSテープ：420分テープ

目次

安全上のご注意	3	メニュー P5	43
特長	9	[TAPE REMAIN] 画面	43
各部の名称と機能	10	[REC REVIEW] 画面	43
フロントパネル部	10	[ERROR WARN BUZZER] 画面	43
後面パネル部	13	[REC WARNING] 画面	44
最初に設定してください	14	メニュー P6	44
日付と時刻の設定	14	[TERMINAL INPUT SELECT] 画面	44
時刻の簡易調整	14	[TERMINAL OUTPUT SELECT] 画面	45
日付と時刻の簡易調整	15	[SWITCHER] 画面	45
記録モードの設定	15	メニュー P7	46
フレーム記録とフィールド記録	16	[PROGRAM TIMER] 画面	46
接続	17	[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面	46
カメラ 1 台で記録する場合の接続例	17	メニュー P8	47
4 画面分割ユニットの接続例	17	[FREE SET TIMER] 画面	47
フレームスイッチャーの接続例	18	メニュー P9	47
シーケンシャルスイッチャーの接続例	20	[RS-232C PARAMETERS] 画面	47
記録と再生	21	[USER ID REC] 画面	47
記録	21	RS-232C	48
通常再生	21	1. ハードウェア仕様	48
静止画再生	22	(1) インターフェイス仕様	48
AG-DTL1 との互換性	22	(2) 通信条件について	48
便利な機能	23	2. ソフトウェア仕様	48
メモリストップ	23	(1) 外部インターフェイス仕様	48
アラーム録画とセンサー (エマージェンシー) 録画	23	(2) 送信フォーマット (パソコン → 本機)	49
アラームメモリーリコールとパワーロスメモリー		(3) 受信フォーマット (本機 → パソコン)	49
リコール	25	(4) コマンドリスト	50
サーチ再生 (早送り再生 / 巻戻し再生)	26	エラーメッセージ	83
アラームサーチ (アラーム録画部分の検索)	26	トラブルシューティング	84
タイムデートサーチ	27	ビデオヘッドクリーニング	85
内部タイマー録画	28	結露	85
外部タイマー録画	31	お手入れについて	85
ターミナルの接続	32	アフターサービス	86
アラーム録画の接続	32	定格	87
テープ終端出力の接続	33		
オートオフ出力の接続と録画出力の接続	33		
外部タイマー入力の接続	33		
時刻合わせの接続	34		
本機を外部タイマーとして使用する接続	34		
ターミナルの信号レベル	35		
設定メニュー	36		
設定方法	36		
メニュー一覧	36		
メニュー P1	37		
[TIME/DATE PRESET] 画面	37		
[REC LOCK] 画面	37		
[HOURLY METER] 画面	37		
メニュー P2	38		
[DISPLAY] 画面	38		
[REC LOSS INDICATOR] 画面	38		
[DAYLIGHT SAVINGS] 画面	39		
メニュー P3	40		
[RECORDING MODE] 画面	40		
[ALARM/SENSOR REC] 画面	41		
メニュー P4	42		
[VTR MODE SELECT] 画面	42		
[AC OUTLET] 画面	42		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

設置について

警告

コンセントや配線機器の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしない！



禁止

たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！



禁止

感電の原因となります。

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

水場に設置しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

警告

<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！</p> <p>傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む！</p> <p> 感電の原因になります。</p>	
<p>本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。	<p>指定のカバー以外は、外さない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。	

安全上のご注意

必ずお守りください

異常時の処理 について

警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

お手入れについて

警告

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる！



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。







- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

設置について

⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない！</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の通風孔をふさがさない！</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方は、しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 本機を風通しの悪い所に押し込む。● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
<p>湿気やほこりの多い場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！</p> <p> 感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	
<p>プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">● 必ずプラグを持って抜いてください。		

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

注意

本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。

本機に乗らない！



禁止

倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。

カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！



指に注意

けがの原因となります。

長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

注意

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く！



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

特 長

デジタル高画質記録

S-VHS テープや D-VHS テープへのデジタル高画質記録が可能です。

高性能 A/D、D/A 回路の採用により、デジタル高画質記録が実現できます。

- 高画質モード：水平解像度 520 本、S/N 50dB
- 標準画質モード：水平解像度 380 本、S/N 50dB

多彩な記録時間モード

- S-VHS テープと D-VHS テープそれぞれに、14 種類の記録時間モードが選択できます。

S-VHS テープ：

3 時間、9 時間、12 時間、18 時間、24 時間、48 時間、72 時間、96 時間、120 時間、180 時間、240 時間、360 時間、480 時間、960 時間

D-VHS テープ：

7 時間、21 時間、35 時間、48 時間、60 時間、72 時間、84 時間、96 時間、120 時間、180 時間、240 時間、360 時間、480 時間、960 時間

- フレーム記録とフィールド記録の切り替えが可能です。

日時検索機能

記録された日時（月/日/時/分）を指定し、記録データを検索することができます。

アラーム検索機能

アラーム録画された記録データを検索することができます。

高信頼性・高耐久性

- 信頼性・耐久性に優れた IQ メカ搭載
- 2DD リールモータによる安定したテープ走行
- テープローディングごとにヘッドシリンダーをクリーニングする、自動ヘッドクリーニング機能搭載

幅 38cm の省スペース設計、縦置きも可能

設置は左側を下にして、取り付け金具等で固定してください。

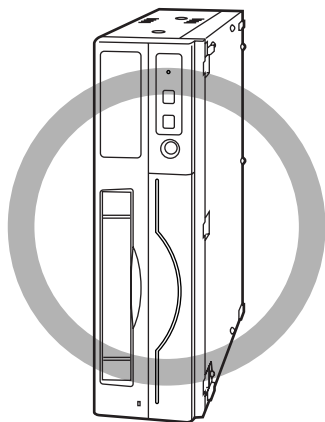
- 右側を下にしないでください。故障の原因になる場合があります。

オンスクリーン設定機能

本機の多彩な機能をモニター画面上で設定することができます。

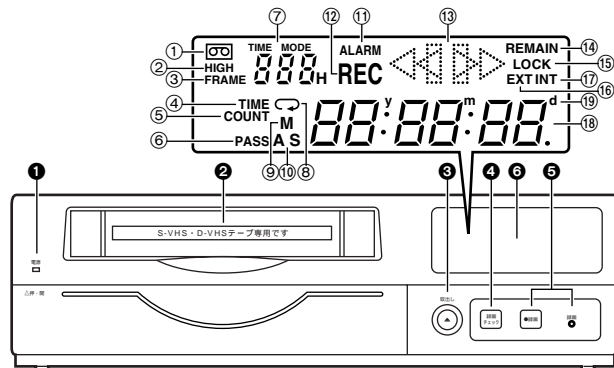
その他の特長

- RS-232C 制御可能
- 音声記録
（S-VHS テープ：3 ~ 24 時間モード）
（D-VHS テープ：7 ~ 60 時間モード）
- 簡易時刻合わせ機能
- 豊富な内部タイマー / 外部タイマー機能
- 夏時間対応



各部の名称と機能

フロントパネル部



①電源ランプ

②カセット挿入口

③取出しボタン

④録画チェックボタン

録画中に押すと録画内容を確認できます。
録画チェックボタンを押した寸前の画像を一部再生し、再度録画モードに戻ります。
再生画像が現れるまで、10秒ほどかかります。

<ノート>

録画チェックを行う場合、記録時間モードにより、画像が下記の時間以上録画されている必要があります。

S-VHS テープ	D-VHS テープ
3H : 6秒	7H : 7秒
9H : 18秒	21H : 21秒
12H : 24秒	35H : 35秒
18H : 36秒	48H : 48秒
24H : 48秒	60H : 1分
48H : 1分36秒	72H : 1分12秒
72H : 1分24秒	84H : 1分24秒
96H : 3分12秒	96H : 1分36秒
120H : 4分	120H : 2分
180H : 6分	180H : 3分
240H : 8分	240H : 4分
360H : 12分	360H : 6分
480H : 16分	480H : 8分
960H : 32分	960H : 16分

⑤録画ボタン/録画ランプ

録画ボタンを押すと録画を開始し、録画ランプが点灯します。

⑥表示管

①

カセットテープが挿入されると、点灯します。
録画チェック後、エラーが検出されると点滅します。

② HIGH

高画質モードで記録されたテープを再生しているときや、高画質モードで録画を行っているときに点灯します。

③ FRAME

フレームモードで記録されたテープを再生しているときや、フレームモードで録画を行っているときに点灯します。

④ TIME

時刻を表示しているときに点灯します。

⑤ COUNT

テープカウンター値を表示しているときに点灯します。

⑥ PASS

テープの繰り返し記録回数を表示しているときに点灯します。

⑦ TIME MODE

記録時間モードを表示します。

⑧

リピート録画が設定されているときに点灯します。

⑨ M

メモリーストップモードが設定されているときに点灯します。

⑩ AS (S)

AS : アラーム検索モードが設定されているときに点灯します。

S : 時刻検索モードが設定されているときに点灯します。検索中は点滅します。

⑪ ALARM

アラーム録画を行っているときに点灯します。
アラーム録画が終了すると点滅します。

⑫ REC

録画中や記録一時停止のときに点灯します。

⑬ ビデオの動作モード表示

- ▷ : 再生
- ◁ : 逆再生
- REC▷ : 録画、録画確認
- REC□□ : 録画一時停止
- : 静止画 (フレーム再生しているときは点滅します。) コマ送り
- ▷▷ : 早送り、早送り再生
- ◁◁ : 巻戻し、巻戻し再生

⑭ REMAIN

録画中に、テープの終端が近づいたときに点滅します。
(テープ残量警告モードを設定時)

⑮ LOCK

ロックスイッチや設定メニューのREC LOCKの項目で、ロックモードが設定されているときに点灯します。

⑯ EXT

外部タイマーモードが設定されているときに点灯します。

⑰ INT

内部タイマーモードが設定されているときに点灯します。

⑱ カウンター表示部

時刻やテープカウンター値を表示します。
エラー発生時には、エラーコードを表示します。

⑲ d

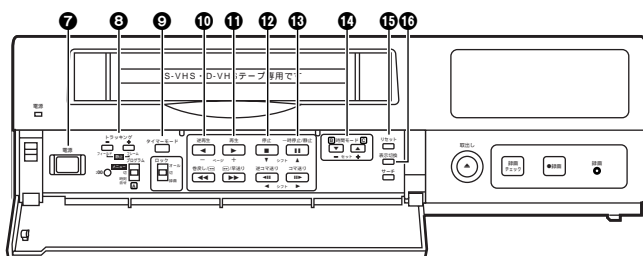
D-VHS テープを再生したときや、設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面の TAPE SELECT で、使用するテープを D-VHS テープ「420/min (DVHS)」に設定しているときに点灯します。

<ノート>

設定メニュー P1 [TIME/DATE PRESET] 画面で日付の設定しているときに点灯する「d」は、「日」を表します。

各部の名称と機能

フロントパネル部 (サブパネル)



7 電源スイッチ

本機電源のON/OFFを行います。
電源が入ると、電源ランプが点灯し、ブザーが1回鳴ります。

8 トラッキングボタン

再生中に押すと、トラッキング調整を行います。
静止画再生中に押すと、フィールド静止画モードやフレーム静止画モードになります。
設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面のCAMERA ID RECをONに設定しているときは、フレーム静止画モードになります。
ただし、フィールド記録されたテープの場合、フレーム静止画モードにはなりません。

9 タイマーモードボタン

タイマーモードを選択します。
ボタンを押す毎に、モードが切り替わり、表示管に下記のモードランプが点灯します。
無表示 : 通常録画
EXT : 外部タイマー録画
INT : 内部タイマー録画

10 逆再生ボタン

テープを逆方向へ再生するときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、ページ(-)ボタンとして動作し、設定メニュー画面を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、日付の表示と時刻の表示を切り替えます。

11 再生ボタン

テープを正方向へ再生するときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、ページ(+)ボタンとして動作し、設定メニュー画面を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、日付の表示と時刻の表示を切り替えます。

12 停止ボタン

動作モードを停止するときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(▼)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を下方向に移動させます。

13 一時停止 / 静止ボタン

録画の一時停止や静止画再生に使用します。
一時停止、静止画再生状態は、テープ保護のため、一定時間がすぎると、自動的に停止モードになります。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(▲)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を上方向に移動させます。

14 時間モードボタン

記録時間モードを選択します。
設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面のTAPE SELECTで使用するテープを選択すると、自動的に記録時間モードが切り替わります。

S-VHS テープ

3H : 3時間
9H : 9時間
12H : 12時間
18H : 18時間
24H : 24時間
48H : 48時間
72H : 72時間
96H : 96時間
120H : 120時間
180H : 180時間
240H : 240時間
360H : 360時間
480H : 480時間
960H : 960時間

D-VHS テープ

7H : 7時間
21H : 21時間
35H : 35時間
48H : 48時間
60H : 60時間
72H : 72時間
84H : 84時間
96H : 96時間
120H : 120時間
180H : 180時間
240H : 240時間
360H : 360時間
480H : 480時間
960H : 960時間

プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、セット(+)(-)ボタンとして動作し、設定メニュー項目の設定値を変更します。

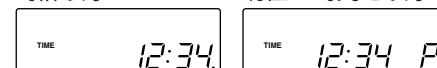
15 リセット

表示切換ボタンで、表示管にカウンター値を表示しているときにこのボタンを押すと、CTLカウンターをリセットします。

16 表示切換ボタン

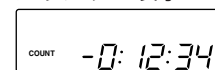
表示管の表示モードを切り替えます。
表示切換ボタンを押す毎に、下記のモードに切り替わります。

時計表示 : 現在の時刻を表示します。

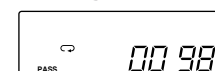


24時間表示 : 12時間表示

カウンター表示 : テープカウンターを表示します。

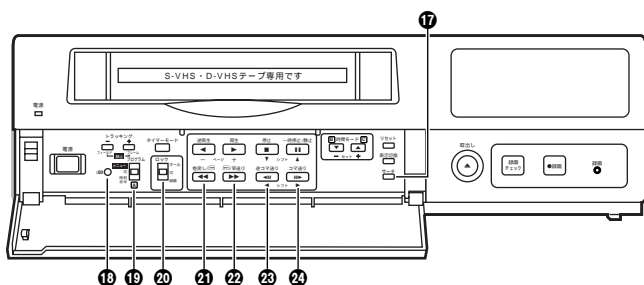


パス表示 : リピート録画が設定されているときに、リピート録画を行った回数を表示します。



各部の名称と機能

フロントパネル部 (サブパネル)



17 サーチボタン

検索モードを選択します。
カウンター表示モード時、サーチボタンを押す毎に検索モードが切り替わり、表示管に下記のモードランプが点灯します。
M : メモリーストップモード
AS : アラーム検索モード
表示切換ボタンで、表示管に時刻を表示しているときにサーチボタンを押すと、時刻検索モードになり、表示管の「S」が点灯します。

18 : 00 ボタン

押すと時刻の秒の位を「00」にします。
0 ~ 29 秒の間に押すと、「00」に戻します。
30 ~ 59 秒の間に押すと、1分繰り上げて「00」にします。

19 プログラムスイッチ

メニュー表示や時刻合わせを行うとき使用します。
通常は、「切」の位置で使用してください。
メニュー :
設定メニュー画面を表示します。
停止ボタンを押しながら「メニュー」の位置にすると、アラーム画面やパワーロス画面が表示されます。
時刻合わせ :
時刻を合わせるときや、画面表示の位置を調整するときに「時刻合わせ」の位置にします。

20 ロックスイッチ

ロックモードを設定します。
オール : 全ての通常の操作が行えなくなり、表示管のLOCKが点灯します。
切 : 通常の操作が行えます。
録画 : 録画開始後、通常の操作が行えなくなり、表示管のLOCKが点灯します。
(録画チェックボタンの操作は、受け付けません。)

21 巻戻し/◀ ボタン

停止中に押すと、テープを巻き戻します。
再生中や静止画再生中に押すと、巻き戻し再生を行います。

22 ▶/早送りボタン

停止中に押すと、テープを早送りします。
再生中や静止画再生中に押すと、早送り再生を行います。

23 逆コマ送りボタン

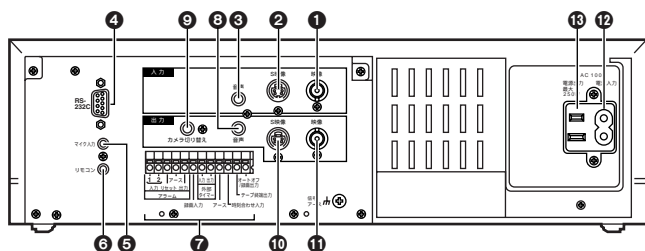
静止画再生中に、テープを逆方向へコマ送りするときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(◀)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を左方向に移動させます。

24 コマ送りボタン

静止画再生中に、テープを正方向へコマ送りするときに押します。
プログラムスイッチが「メニュー」の位置のときは、シフト(▶)ボタンとして動作し、設定メニュー画面の項目を切り替えます。
プログラムスイッチが「時刻合わせ」の位置のときは、画面表示の位置を右方向に移動させます。

各部の名称と機能

後面パネル部



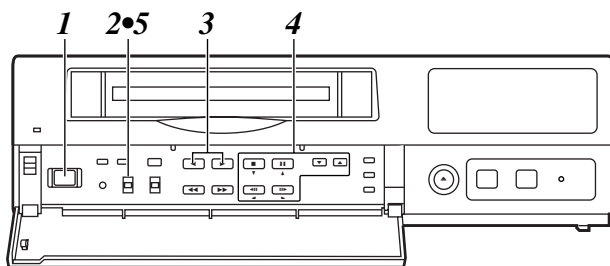
- ①映像入力端子（BNC）
カメラなどの外部映像入力信号を接続します。
- ②S映像入力端子（4P）
S映像出力端子を持った機器と接続する場合に使用します。
設定メニュー P4 [VTR MODE SELECT] 画面の（VIDEO）INで、映像入力として使用する端子を、映像入力端子①とS映像入力端子②から選択します。
- ③音声入力端子（ピンジャック）
マイク入力端子⑤にマイクを接続した場合は、マイク端子の音声が優先的に記録されます。
- ④RS-232C 端子
パーソナルコンピュータなどを接続して、本機を制御する場合に使用します。
- ⑤マイク入力端子（M3）
マイクからの音声入力信号を接続します。（600 インピーダンス）
- ⑥リモコン端子
別売のリモートコントローラ AG-A11 を接続する端子です。
- ⑦ターミナル部
- ⑧音声出力端子（ピンジャック）
- ⑨カメラ切り替え出力端子（ピンジャック）
外部スイッチャーに、カメラを切り替えるタイミング信号を出力します。
- ⑩S映像出力端子（4P）
S映像入力端子を持った機器と接続する場合に使用します。
- ⑪映像出力端子（BNC）
録画中は、現在記録している映像を出力します。
再生中は、記録されたテープの再生映像を出力します。
設定メニュー画面や時刻合わせ画面なども表示されます。

- ⑫電源入力端子
付属の電源コードを接続し、家庭用 AC100V 電源コンセントと接続します。
- ⑬電源出力端子
AC100V、最大 250W の電源を供給します。
本機電源との連動を、設定メニュー P4 [AC OUTLET] 画面の MODE で設定します。

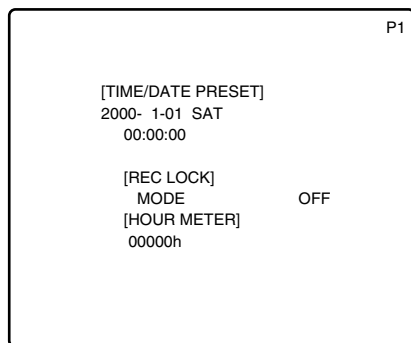
最初に設定してください

本機をご使用になるとき、最初に次の内容を設定してください。

■ 日付と時刻の設定



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 3 ページ(+)ボタンまたは、ページ(-)ボタンを押して、P1 [TIME/DATE PRESET] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。



- 4 日付と時刻を、下記の操作で合わせます。
 - シフトボタン(▼)(▲)で変更する項目に点滅部分を移動させます。
 - シフトボタン(◀)(▶)で変更する桁に点滅部分を移動させます。
 - セットボタン(+)と(-)を押して数値を合わせます。
- 5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻り、日付と時刻が更新されます。

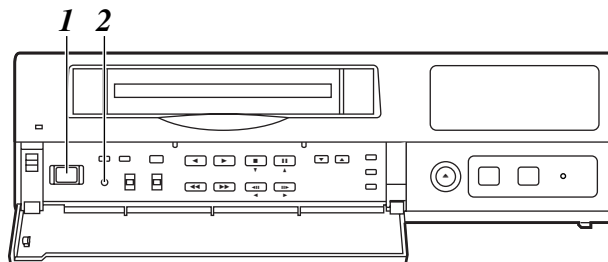
< ノート >

日付と時刻の設定は P1 TIME/DATE PRESET 画面以外の設定メニュー画面に切り替えたときも更新されます。

時刻がズレているときは、下記の方法で調整を行ってください。

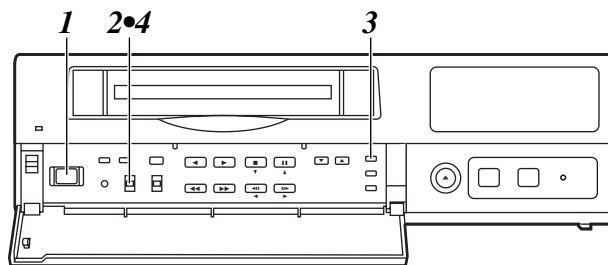
■ 時刻の簡易調整

時刻のズレが±30秒以内のとき



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 時報などに合わせて、:00 ボタンを押すと、時刻の秒の位を「00」にします。
0～29秒の間に押すと、「00」に戻ります。
30～59秒の間に押すと、1分繰り上げて「00」にします。

時刻のズレが±15分以内のとき

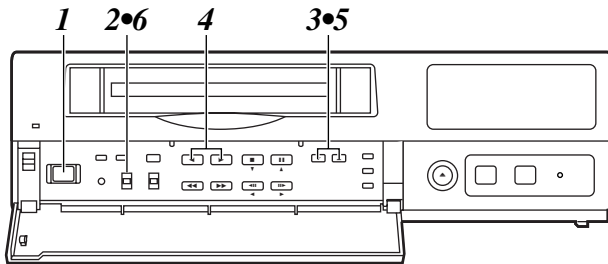


- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「時刻合せ」の位置にします。
カウンター表示が現在の時刻を表示し、「分」の桁が点滅します。
- 3 0～14分の間にリセットボタンを押すと、時刻の分と秒の位を「00:00」に戻します。
45～59分の間に押すと、時の位を繰り上げて「00:00」にします。
- 4 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
このとき、時刻が更新されます。

最初に設定してください

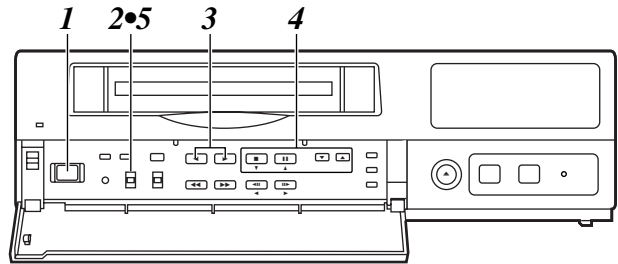
日付や時刻がズレているときは、下記の方法で調整を行ってください。

■ 日付と時刻の簡易調整



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「時刻合せ」の位置にします。
カウンター表示が現在の時刻を表示し、「分」の桁が点滅します。
- 3 セット(+)ボタンまたは、セット(-)ボタンを押して、「分」の数値を合わせます。
- 4 ページ(+)ボタンまたは、ページ(-)ボタンを押します。
現在の日付が表示され、「日」の桁が点滅します。
- 5 セット(+)ボタンまたは、セット(-)ボタンを押して、「日」の数値を合わせます。
- 6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
このとき、日付と時刻が更新されます。

■ 記録モードの設定



- 1 電源スイッチをONにします。
- 2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 3 ページ(+)ボタンまたは、ページ(-)ボタンを押して、設置メニューP3 [RECORDING MODE] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[RECORDING MODE]		P3
TAPE SELECT	120/160min(SVHS)	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
REC T-MODE	OFF	
CAMERA ID REC	ON	
[ALARM/SENSOR REC]		
MODE	OFF	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
DURATION	0.5min	
BUZZER	OFF	
REPEAT	OFF	
ALARM1	OFF	
ALARM2	OFF	

- 4 記録モードを、下記の操作で合わせます。
 - シフトボタン(▼)(▲)で変更する項目に点滅部分を移動させます。
 - セットボタン(+)と(-)を押して、設定を変更します。
- 5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

P3 [RECORDING MODE] 画面

- TAPE SELECTの項目では、使用するテープを選択します。420min (DVHS)を選択すると、より高密度の記録を行うことができます。
<ノート>
420min (DVHS)を選択したにもかかわらず、S-VHSテープで記録した場合、記録される時間は設定された記録時間の約半分になります。
- FIELD/FRAMEの項目では、フィールド記録とフレーム記録を選択します。
- PICTURE QUALITYの項目では、HIGH(高画質記録)とNORMAL(標準画質記録)を選択します。
- REC T-MODEの項目では、記録時間モードを選択します。
OFFを選択すると、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。

最初に設定してください

記録時間モードと記録間隔の関係を下記の表に示します。
使用目的に応じて、各モードの設定を行ってください。

<ノート>

下記の表に示した時間と実際の記録間隔には、多少の誤差があります。

S-VHS 120分テープ使用時

記録時間 モード	記録間隔 (単位: 秒)			
	高画質モード		標準画質モード	
	フレーム 記録	フィールド 記録	フレーム 記録	フィールド 記録
3H	0.067	記録不可	0.033	記録不可
9H	0.200	0.100	0.100	0.050
12H	0.333	0.167	0.167	0.083
18H	0.467	0.233	0.233	0.117
24H	0.600	0.300	0.300	0.150
48H	1.133	0.567	0.567	0.283
72H	1.667	0.833	0.833	0.417
96H	2.200	1.100	1.100	0.550
120H	2.733	1.367	1.367	0.683
180H	4.067	2.033	2.033	1.017
240H	5.400	2.700	2.700	1.350
360H	8.067	4.033	4.033	2.017
480H	10.733	5.367	5.367	2.683
960H	21.400	10.700	10.700	5.350

D-VHS 420分テープ使用時

記録時間 モード	記録間隔 (単位: 秒)			
	高画質モード		標準画質モード	
	フレーム 記録	フィールド 記録	フレーム 記録	フィールド 記録
7H	0.067	記録不可	0.033	記録不可
21H	0.200	0.100	0.100	0.050
35H	0.333	0.167	0.167	0.083
48H	0.467	0.233	0.233	0.117
60H	0.600	0.300	0.300	0.150
72H	0.733	0.367	0.367	0.183
84H	0.867	0.433	0.433	0.217
96H	1.000	0.500	0.500	0.250
120H	1.267	0.633	0.633	0.317
180H	1.800	0.900	0.900	0.450
240H	2.333	1.167	1.167	0.583
360H	3.533	1.767	1.767	0.883
480H	4.733	2.367	2.367	1.183
960H	9.267	4.633	4.633	2.317

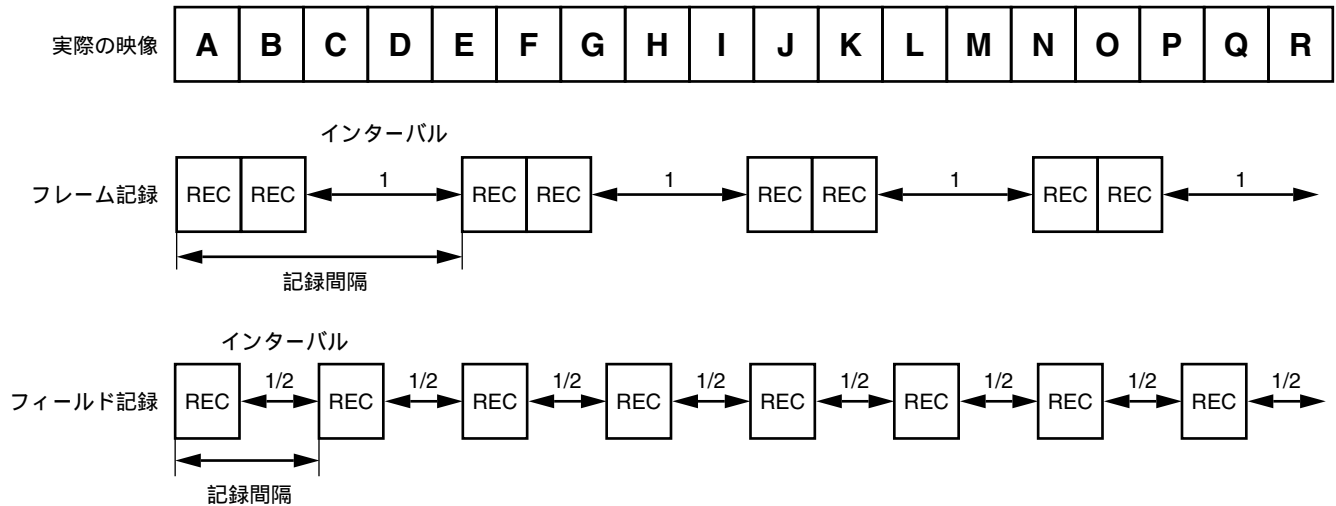
■の記録時間モードでは、音声の記録ができます。

フレーム記録とフィールド記録

フレーム記録の場合は、映像を2フィールド記録して、一定のインターバル(記録しない時間)をとった後、次のカメラ映像を記録します。

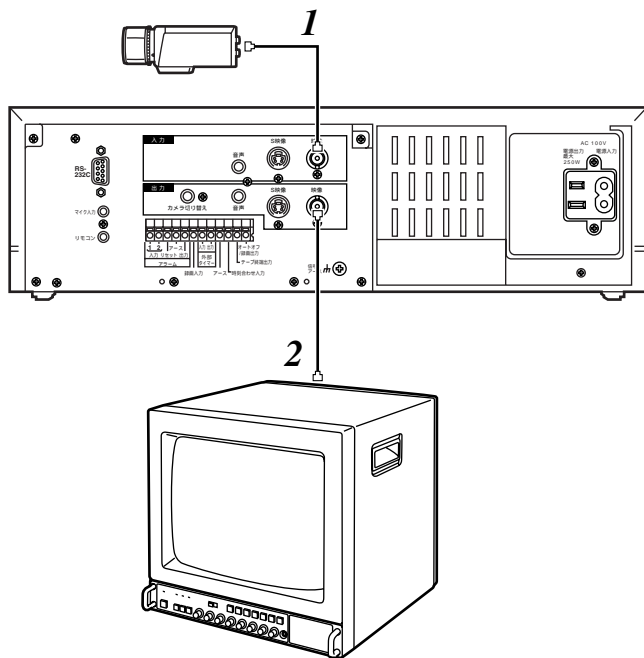
フィールド記録の場合は、映像を1フィールド記録して、フレーム記録の1/2のインターバルで次のカメラ映像を記録します。記録映像のつながりが細分化され、フレーム記録の半分の時間でカメラを切り替えることができます。

ただし、フィールド記録の場合、垂直解像度がフレーム記録の1/2になります。



接続

カメラ 1 台で記録する場合の接続例



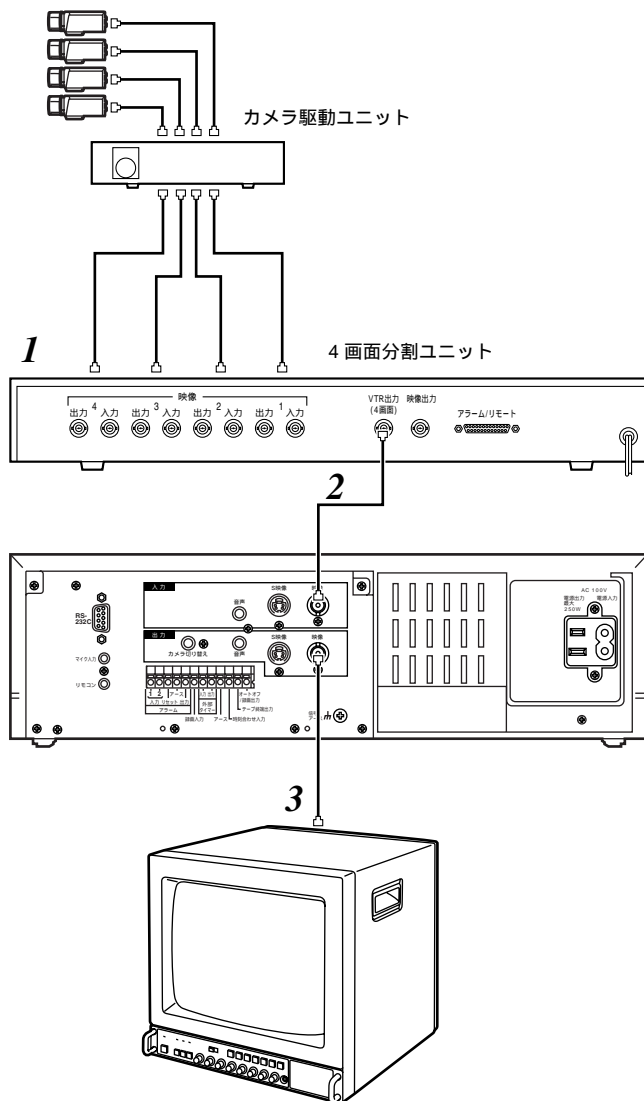
1 映像入力端子にカメラを接続します。

2 映像出力端子にモニターテレビを接続します。

< ノート >

- 設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面の CAMERA ID REC は、「OFF」に設定してください。
- 本機には、ケーブル補償回路が内蔵されていません。カメラとの接続ケーブル（同軸 3C-2V）の長さが 200m 以上になる場合は、ケーブル補償器を設置してください。伝送損失の少ない同軸ケーブル（5C-2V）を使用される場合は、400m 程度までケーブル補償器無しでも使用できます。
- 3H モード（S-VHS テープ）と 7H モード（D-VHS テープ）で記録する場合、使用されるカメラの性能により、数分間に 1 フレーム単位で映像が記録されないことがあります。

4 画面分割ユニットの接続例



1 4 画面分割ユニットの映像入力端子にカメラを接続します。

2 4 画面分割ユニットの VTR 出力端子と本機の映像入力端子を接続します。

3 本機の映像出力端子にモニターテレビを接続します。

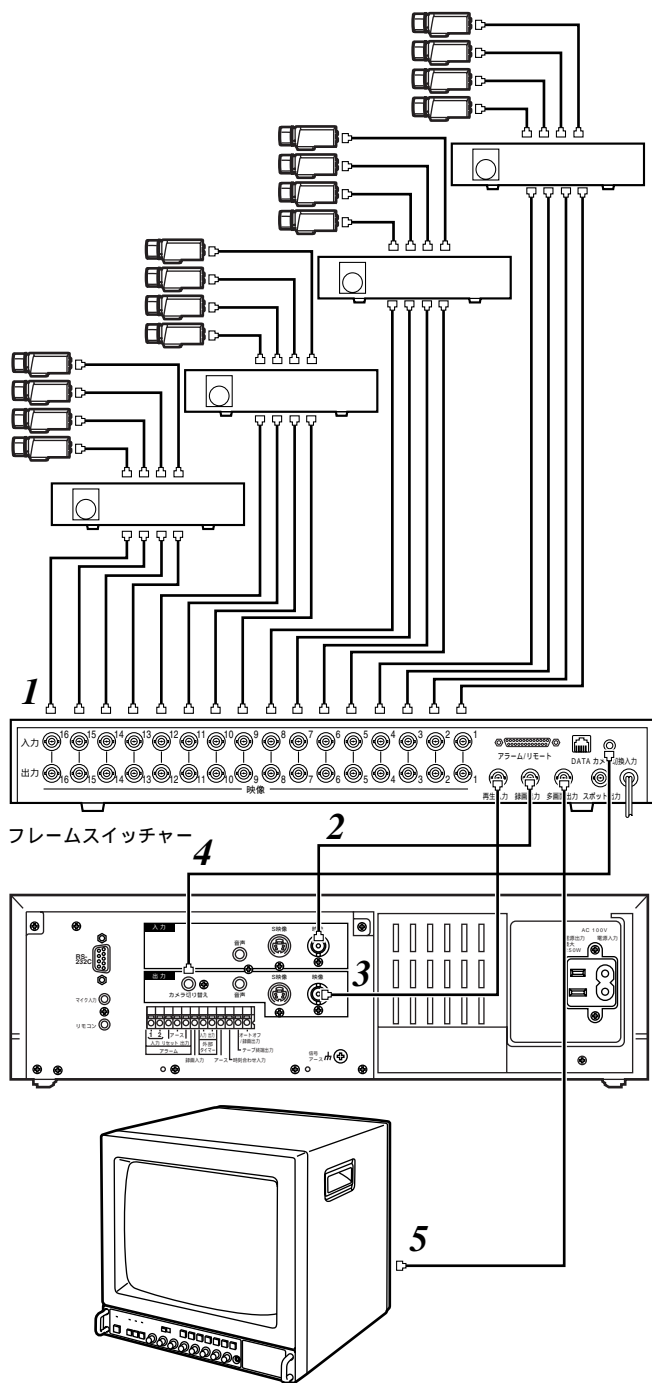
4 設定メニュー P6 [SWITCHER] 画面の SEQUENCE SWITCHER を、「OFF」に設定します。

< ノート >

3H モード（S-VHS テープ）と 7H モード（D-VHS テープ）で記録する場合、使用される 4 画面分割ユニットの性能により、数分間に 1 フレーム単位で映像が記録されないことがあります。

接続

フレームスイッチャーの接続例



- 1 フレームスイッチャーの映像入力端子にカメラを接続します。
- 2 フレームスイッチャーの録画出力端子と、本機の映像入力端子を接続します。
- 3 フレームスイッチャーの再生入力端子と、本機の映像出力端子を接続します。
- 4 フレームスイッチャーのカメラ切換入力端子と、本機のカメラ切り替え出力端子を接続します。
- 5 フレームスイッチャーの映像出力端子にモニターテレビを接続します。
- 6 設定メニュー P6 [SWITCHER] 画面の SEQUENCE SWITCHER を、「OFF」に設定します。
- 7 設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面の CAMERA ID REC を、「ON」に設定してください。

フレームスイッチャー（Panasonic 製 WJ-FS216、WJ-FS416、WJ-FS516）を使用して記録する場合の注意

- 記録できる画質モードと記録時間が機器により異なります。
- 本機をフレーム記録に設定して記録を行っても、フィールド記録相当の画質で記録される場合があります。
- フレーム記録を行ったテープの映像を、フレームスイッチャーを経由して再生すると、フィールド再生の映像が出力されます。
- カメラ映像信号の切り替えをフレームスイッチャーの内部自動切り替えモードで行うと、フレーム記録ができません。

他のフレームスイッチャーにつきましては、その製品の取扱説明書や販売店にご相談ください。

記録できる画質モードと記録時間モード

WJ-FS216、WJ-FS416 の場合

使用 テープ	高画質モード		標準画質モード	
	フレーム 記録	フィールド 記録	フレーム 記録	フィールド 記録
S-VHS	9H、12H	9H、12H	9H、12H	*9H、12H
	18H、24H	18H、24H	18H、24H	18H、24H
	48H、72H	48H、72H	48H、72H	48H、72H
	96H、120H	96H、120H	96H、120H	96H、120H
	180H	180H、240H 360H	180H、240H 360H	180H、240H 360H、480H
D-VHS	21H、35H	21H、35H	21H、35H	*21H、35H
	48H、60H	48H、60H	48H、60H	48H、60H
	72H、84H	72H、84H	72H、84H	72H、84H
	96H、120H	96H、120H	96H、120H	96H、120H
	180H、240H	180H、240H	180H、240H	180H、240H
	360H	360H、480H	360H、480H	360H、480H 960H

< ノート >

標準画質モードにおけるフィールド記録の9Hモード（S-VHSテープ）と21Hモード（D-VHSテープ）は、カメラ映像信号の切り替えをフレームスイッチャーの内部自動切り替えモードで行うと、フィールド記録が可能になります。詳しくは、後述の「カメラ映像信号の切り替え」を参照してください。

WJ-FS516 の場合

下記のモードを除く全てのモードで記録できます。

記録できないモード：

- 高画質モードにおけるフレーム記録の960Hモード（S-VHSテープ）

< ノート >

下記の記録モードでは、映像とカメラ番号が異なって記録されることがあります。

使用 テープ	高画質モード		標準画質モード	
	フレーム 記録	フィールド 記録	フレーム 記録	フィールド 記録
S-VHS	3H	—	3H	9H
D-VHS	7H	—	7H	21H

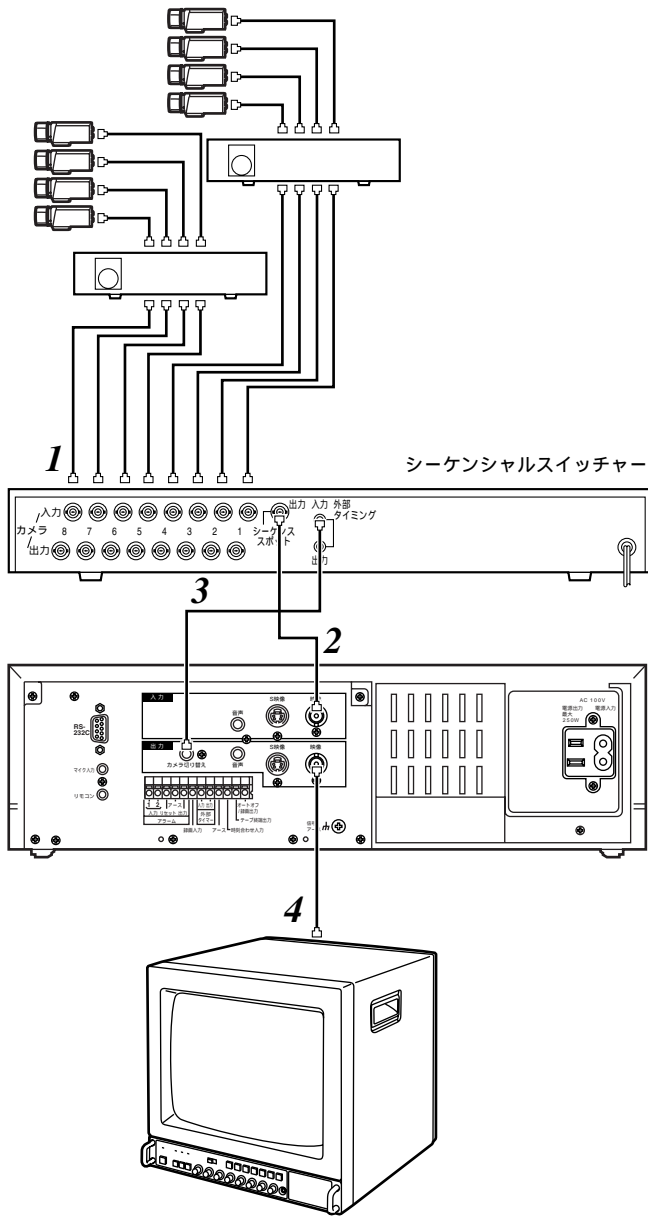
カメラ映像信号の切り替え

3Hモード（S-VHSテープ）以外と7Hモード（D-VHSテープ）以外でフィールド記録を行う場合

カメラ映像信号の切り替えをフレームスイッチャーの内部自動切り替えモードで行うときは、記録間隔に標準画質モードでは1フィールド（0.0167秒）を加算した記録間隔にフレームスイッチャーで設定してください。高画質モードでは、同様に2フィールド（0.0334秒）加算して設定してください。（16ページ参照）

接続

シーケンシャルスイッチャーの接続例



- 1 シーケンシャルスイッチャーの映像入力端子にカメラを接続します。
- 2 シーケンシャルスイッチャーのシーケンススポット出力端子と、本機の映像入力端子を接続します。
- 3 シーケンシャルスイッチャーの外部タイミング入力端子と、本機のカメラ切り替え出力端子を接続します。
- 4 本機の映像出力端子にモニターテレビを接続します。
- 5 設定メニュー P6 [SWITCHER] 画面の SEQUENCE SWITCHER を、「ON」に設定します。

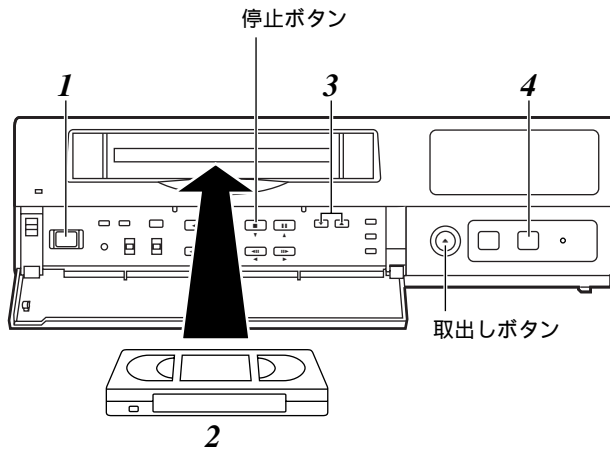
< ノート >

- カメラ映像信号の切り替えをシーケンシャルスイッチャーの内部自動切り替えモードで行うと、映像を正しく記録できないことがあります。カメラ映像信号の切り替えは、本機からの切り替え信号で行ってください。
- シーケンシャルスイッチャーを使用する場合、記録時間モードの設定は、記録間隔が 0.3 秒以上の記録時間モードを設定してください。(16 ページ参照)

記録と再生

記録

接続や「日付と時刻の設定 (14 ページ)」、「記録モードの設定 (15 ページ)」が完了すると、記録を行います。



1 電源スイッチを ON にします。
電源が入ると、電源ランプが点灯し、ブザーが 1 回鳴ります。

2 カセットテープを入れます。
カセットテープを取り出すときは、取出しボタンを押します。
しっかり押さないと動作しません。

< ノート >

カセットテープは、S-VHS テープまたは D-VHS テープを使用してください。VHS テープを入れた場合、録画ボタンを押すとカセットテープが自動的に排出されます。また、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合も、録画ボタンを押すとカセットテープが排出されます。

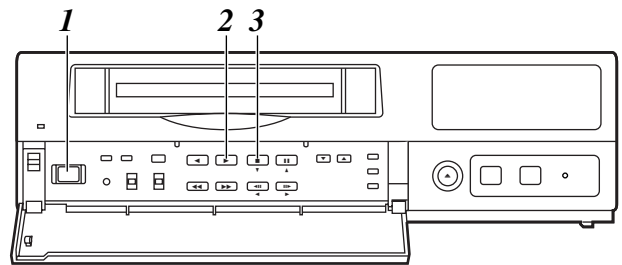
本機は、監視・保安・観察など、高信頼性を要求される商品として設計されています。
録画の信頼性を確保するため、下記のビデオテープを使用されることをおすすめします。
S-VHS テープ：120 分テープ
D-VHS テープ：420 分テープ

3 時間モードボタンを押して、記録時間モードを設定します。

4 録画ボタンを押します。
設定された時間モードで、記録を開始します。
記録が開始されると、録画ランプが点灯します。
記録を終了する場合は、停止ボタンを押します。

時間モードボタンで記録時間モードを設定せずに、常に固定した記録時間モードで記録を行う場合は、設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面の REC T-MODE で記録したい時間モードを設定します。

通常再生



1 電源スイッチを ON にし、カセットテープを挿入します。

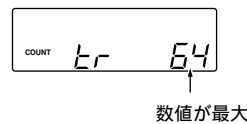
2 再生ボタンを押して、再生を開始します。

3 停止するとき、停止ボタンを押します。

< ノート >

- 3 時間モードや 7 時間モードで再生中にブロック状の映像ノイズが出た場合は、トラッキングボタン (+) または (-) を押してください。トラッキングボタンを押している間、表示管にトラッキング情報が表示されます。トラッキング情報の数値が最大になるように、トラッキングボタン (+) または (-) を押してください。

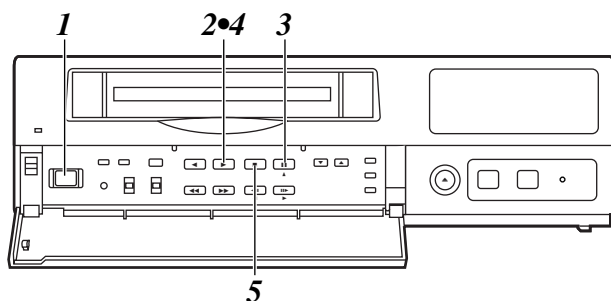
トラッキング情報表示



本機で記録された D-VHS テープを別の AG-DTL2 で再生した場合、トラッキング調整を行ってもブロック状の映像ノイズが出ることがありますが、故障ではありません。

- 再生中にプログラムスイッチを「メニュー」の位置にすると、テープ上に記録されたユーザー ID が表示されます。

静止画再生



1 電源スイッチを ON にし、カセットテープを挿入します。

2 再生ボタンを押して、再生を開始します。

3 一時停止/静止ボタンを押します。

静止画再生状態になります。

- 静止画再生状態のときにコマ送りボタンを押すと、コマ送り再生を行います。

- 静止画再生状態のときにトラッキングボタン (-) を押すと、フィールド静止画モードになります。

- 静止画再生状態のときにトラッキングボタン (+) を押すと、フレーム静止画モードになります。

画面が安定せずに見づらいときは、トラッキングボタン (-) を押してフィールド静止画モードにしてください。

設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面の CAMERA ID REC を ON に設定しているときは、フレーム静止画モードになります。

ただし、フィールド記録したテープは、フレーム静止画モードにできません。

4 再度再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

5 停止するときは、停止ボタンを押します。

AG-DTL1 との互換性

AG-DTL1 で記録されたテープを AG-DTL2 で再生した場合

- 記録されている全てのカメラ映像が、混在して出力されます。
- カメラ番号を選択して、そのカメラが記録した映像を再生することができません。
- カメラ番号が認識できた場合、モニターテレビにカメラ番号が表示されます。
- 4 画面表示で再生することができません。コマ送り再生で画面を選択してください。

AG-DTL2 で記録された S-VHS テープを AG-DTL1 で再生した場合

- 設定メニュー P3 [RECORDING MODE] 画面の CAMERA ID REC を、「ON」に設定して記録したテープは、映像の上部に何も映っていない黒い部分ができます。

- カメラ番号を選択することができません。フレーム記録されているテープの場合、全てのカメラ映像が、混在して出力されます。

フィールド記録されているテープの場合、半数のカメラ映像が、混在して出力されます。逆コマ送り再生を行うと、残りの半数のカメラ映像が、1 コマずつ出力されます。

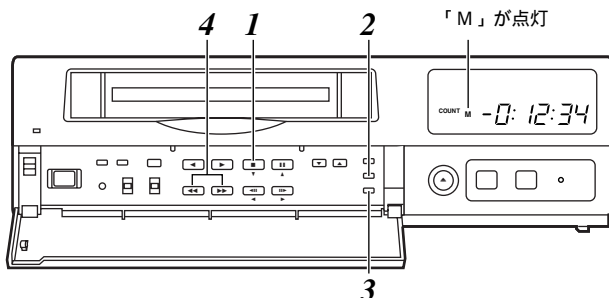
- 4 画面表示で再生することができません。

AG-DTL2 で記録された D-VHS テープは、AG-DTL1 で再生しないでください。

便利な機能

メモリーストップ

通常の操作を行っているときに、テープをカウンター値「0:00:00」の位置に巻き戻したり早送りして、自動的に停止状態にする機能です。



1 停止ボタンを押して、停止状態にします。

2 表示切換ボタンを押して、カウンター表示モードにします。

3 サーチボタンを押します。
表示管に「M」が点灯し、メモリーストップモードになったことを確認します。
「AS」が点灯している場合は、再度サーチボタンを押してください。

4 カウンター値が「0:00:00」よりも大きい場合は、巻き戻しボタンを押します。
カウンター値が「0:00:00」よりも小さい(マイナスの値)場合は、早送りボタンを押します。

5 カウンター値が「0:00:00」の付近になり、自動的に停止状態になります。

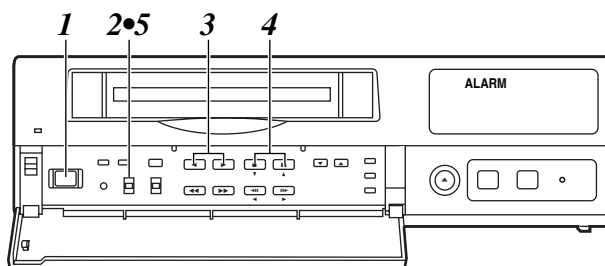
アラーム録画とセンサー(エマージェンシー)録画

アラーム録画

録画時にアラーム入力(アラーム録画の接続、32ページ参照)があると、時間モードを変えて録画することができます。

センサー(エマージェンシー)録画

電源が切れている状態や、本機が停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、時間モードを変えて録画することができます。



1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。

2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。

3 ページ(+)ボタンまたは、ページ(-)ボタンを押して、P3 [ALARM/SENSOR REC] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[RECORDING MODE]		P3
TAPE SELECT	120/160min(SVHS)	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
REC T-MODE	OFF	
CAMERA ID REC	ON	
[ALARM/SENSOR REC]		
MODE	OFF	
FIELD/FRAME	FIELD	
PICTURE QUALITY	HIGH	
DURATION	0.5min	
BUZZER	OFF	
REPEAT	OFF	
ALARM1	OFF	
ALARM2	OFF	

4 アラーム入力時の録画モードを、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン(▼)(▲)で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン(+)と(-)を押して、設定を変更します。

< ノート >

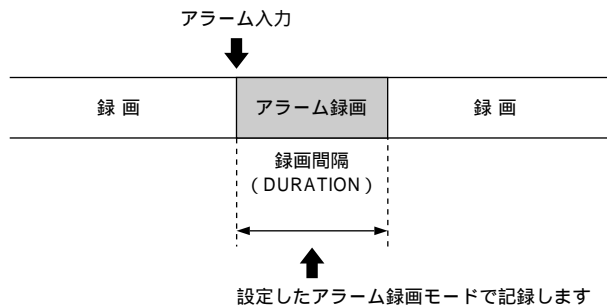
- アラーム録画とセンサー録画は、MODE の項目で選択します。
アラーム入力時に録画を行わない場合は、MODE の項目をOFF に設定します。
- 録画間隔(DURATION)の設定は以下のとおりです。
30 秒間~ 10 分間、CONTINUE (テープ終端まで) MANUAL (アラームが入力されている間)

5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

便利な機能

MODE の項目で ALARM を選択した場合

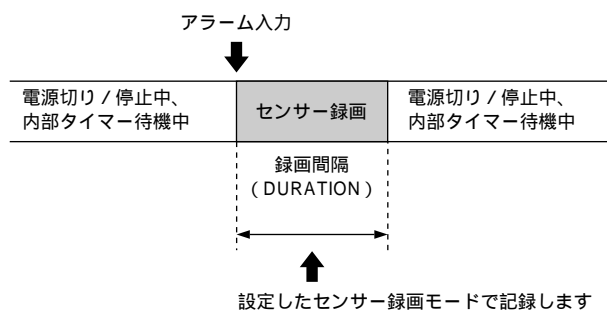
録画ボタンを押して、記録を開始します。
アラーム入力があると、アラーム録画モードになります。
一度アラーム録画が行われると、表示管の ALARM が点滅します。
停止ボタンを押すと表示は消灯し、録画が停止します。
● 設定メニュー P3 [ALARM/SENSOR REC] 画面の MODE が OFF や SENSOR に設定されていると、アラーム録画は働きません。



< ノート >
アラーム録画が終了すると、アラームが入力される前の動作に戻ります。

MODE の項目で SENSOR を選択した場合

本機の電源が切れている状態や、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー録画が開始されます。
● 設定メニュー P3 [ALARM/SENSOR REC] 画面の MODE が OFF や ALARM に設定されていると、センサー録画は働きません。



< ノート >
センサー録画が終了すると、アラームが入力される前の動作モードに戻ります。

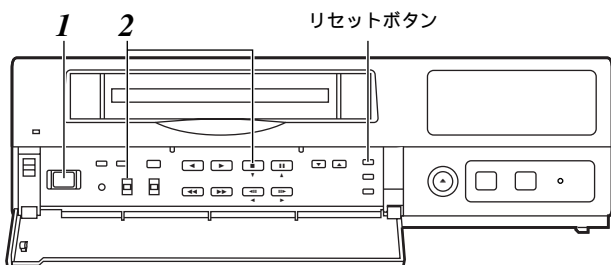
MODE の項目で ALARM/SENSOR を選択した場合

アラーム録画とセンサー録画の両方を行います。
録画中にアラームが入力されるとアラーム録画モードになり、本機の電源が切れている状態や、停止している状態でもアラーム入力があるとすぐに、センサー録画が開始されます。

便利な機能

アラームメモリーリコールとパワーロスメモリーリコール

アラームメモリーリコールは、アラーム録画やセンサー録画が働いた日時と回数を記憶する機能です。
 パワーロスメモリーリコールは、停電などにより一次側の電源が遮断された日時と回数を記憶する機能です。



1 電源スイッチをONにします。

2 停止ボタンを押しながら、プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
 [ALARM RECALL] 画面と [POWER LOSS MEMORY] 画面が表示されます。

[ALARM RECALL] 画面には、アラーム番号と、アラーム入力のあった日付/時刻を表示します。

[POWER LOSS MEMORY] 画面には、一次側の電源が遮断された回数と日付/時刻を表示します。

(上から順に新しいデータが表示されます。)

[ALARM RECALL]		
29	2000-12-30	3:15
28	2000-12-04	12:10
27	2000-10-25	2:20
26	2000-9-10	2:30
25	2000-8-11	6:55
24	2000-5-10	3:22
23	2000-4-11	6:55
22	2000-3-10	3:22
[POWER LOSS MEMORY]		
14	2000-12-01	12:00
13	2000-10-05	10:30
12	2000-08-10	9:20
11	2000-3-02	7:00

< ノート >

- [ALARM RECALL] 画面では過去 8 回までのデータを記憶し、[POWER LOSS MEMORY] 画面では過去 4 回までのデータを記憶します。
- メモリーされる回数は、それぞれ 99 回までです。99 回を越えた場合は、00 に戻ります。
- センサー録画もアラーム録画と同様にアラームメモリーデータに記憶されます。
- アラームメモリーデータとパワーロスメモリーデータは、本機内部のメモリー回路に記憶されます。テープ上には記録されません。
- プログラムスイッチを「メニュー」以外の位置に切り替えると、[ALARM RECALL] 画面と [POWER LOSS MEMORY] 画面の表示が消えます。
- [ALARM RECALL] 画面が表示中に、リセットボタンを押すと、メモリーをクリアすることができますが、[POWER LOSS MEMORY] 画面はクリアされません。

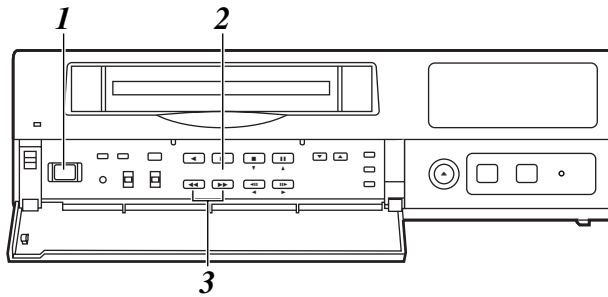
[ALARM RECALL]		
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
[POWER LOSS MEMORY]		
14	2000-12-01	12:00
13	2000-10-05	10:30
12	2000-08-10	9:20
11	2000-3-02	7:00

アラーム録画が無かった場合や、一次側の電源が遮断されなかった場合は以下のように表示されます。

[ALARM RECALL]		
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
[POWER LOSS MEMORY]		
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**
**	***-**-**	**:**

便利な機能

サーチ再生（早送り再生 / 巻戻し再生）

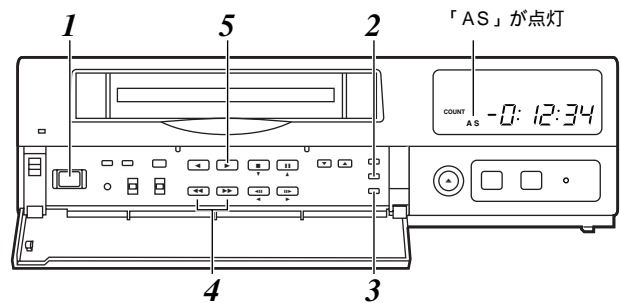


- 1 電源スイッチをONにし、カセットテープを挿入します。
- 2 再生ボタンを押して、再生を開始します。
- 3 早送りボタンまたは、巻戻しボタンを押します。
早送りボタンまたは、巻戻しボタンを押している間、サーチ再生（早送り再生 / 巻戻し再生）を行います。
早送りボタンまたは、巻戻しボタンを離すと、通常再生に戻ります。

< ノート >

標準画質モードでフィールド記録されたテープをサーチ再生する場合、かなりぼやけた映像になりますが、故障ではありません。

アラームサーチ（アラーム録画部分の検索）



- 1 電源スイッチをONにし、アラーム録画されているカセットテープを挿入します。
- 2 表示切換ボタンを押して、カウンター表示モードにします。
- 3 サーチボタンを押します。
表示管に「AS」が点灯し、アラームサーチモードになったことを確認します。
「M」が点灯している場合は、再度サーチボタンを押してください。
- 4 停止状態や早送り/巻き戻し状態から、巻戻しボタンまたは、早送りボタンを押します。
押されたボタンの方向で、最初のアラーム録画部分をサーチして、静止画再生になります。
- 5 再生する場合は、再生ボタンを押します。

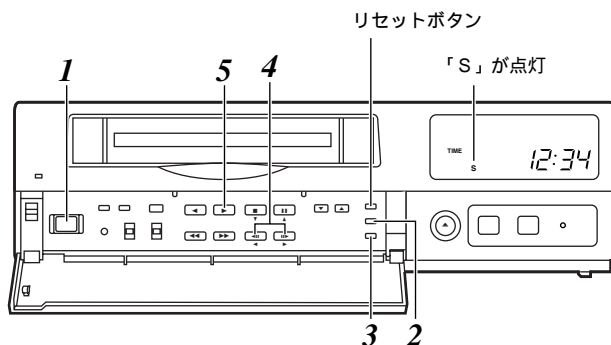
< ノート >

- アラームサーチモードを解除する場合、再度、サーチボタンを押して、表示管から“AS”表示を消します。
- アラームサーチ機能でサーチできるのは、記録時間モードがS-VHSテープの場合3H/9H/12H/18H/24Hモード、D-VHSテープの場合7H/21H/35H/48H/60Hモードで、2分以上録画されたアラーム録画部分だけです。
- 再生中に早送りボタンや巻き戻しボタンを押すと、サーチ再生（早送り再生/巻き戻し再生）を行い、ボタンを離してもアラームサーチモードのときは、サーチ再生を保持します。

便利な機能

タイムデートサーチ

日付と時間を指定して、録画部分を検索する機能です。

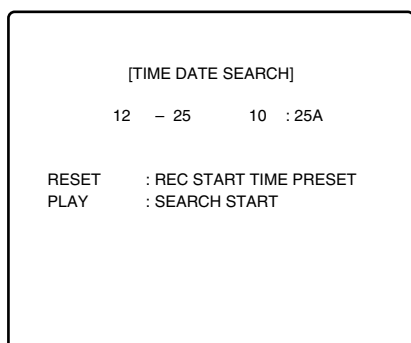


1 電源スイッチを ON にし、カセットテープを挿入します。

2 表示切換ボタンを押して、時刻表示モードにします。

3 サーチボタンを押します。
表示管に「S」が点灯し、モニターテレビに [TIME DATE SEARCH] 画面が表示されます。

[TIME DATE SEARCH] 画面には、記録を終了した時刻が表示されます。
また、テープを再生したときは、テープに記録されている日付と時間が表示されます。
この状態で、リセットボタンを押すと、記録を開始した時刻に変わります。



4 検索する日付と時刻を、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン (◀)(▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン (+) と (-) を押して数値を合わせます。

5 再生ボタンまたは、逆再生ボタンを押します。
指定された日付と時間の録画部分を検索します。

< ノート >

- 検索する録画部分が見つからなかった場合は、テープの終端または、始端で停止します。
- 録画中にテープを停止したときは、新しく記録した部分と古い記録部分との境界で停止することになり、テープに記録されている日付や時間情報に連続性が無くなります。
この状態で検索を行うと、正しく検索できないことがあります。
検索する日付や時間が新しく記録した部分にあるときは、逆再生ボタンを押すことをおすすめします。逆再生ボタンを押すことで、テープを逆方向に少し戻して日付と時間のデータを読み込み、このデータを基準に検索を行います。

6 タイムデートサーチモードを解除するときは、何れかの操作ボタンを押してください。

便利な機能

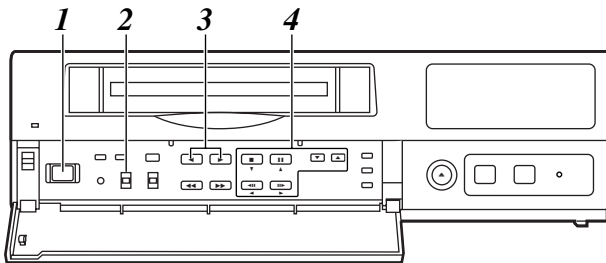
内部タイマー録画

内部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

< ノート >

内部タイマー録画の設定を行う前に、接続や「日付と時刻の設定 (14 ページ)」、「記録モードの設定 (15 ページ)」を完了させてください。

内部タイマー録画のプログラムを登録する



1 電源スイッチを ON にし、カセットテープを挿入します。

2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。

3 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、P7 [PROGRAM TIMER] 画面を表示させます。設定できる項目が点滅します。

[PROGRAM TIMER]				P7
(TIMER)	START	END	REC T-MODE	
PGM1	0:00	0:00	120H	
PGM2	0:00	0:00	9H	
PGM3	0:00	0:00	18H	
PGM4	0:00	0:00	OFF	
PGM5	0:00	0:00	OFF	
PGM6	0:00	0:00	OFF	
PGM7	0:00	0:00	OFF	
PGM8	0:00	0:00	OFF	

[INTERNAL WEEKLY TIMER]						
(SUN)	(MON)	(TUE)	(WED)	(THU)	(FRI)	(SAT DLY)
PGM1	*****	*****	*****	*****	*****	*****
	*****	*****	*****	*****	*****	*****

(TIMER)

内部タイマーを使用して記録する場合のプログラム (PGM1 ~ PGM8) を登録します。

START

記録開始時刻を設定します。

END

記録終了時刻を設定します。

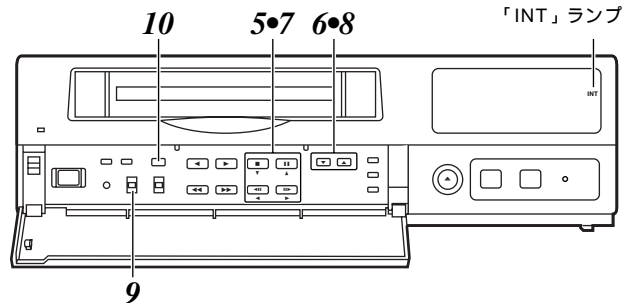
REC T-MODE

記録時間モードを設定します。

OFF に設定した場合は、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。

4 タイマー録画モードを、下記の操作で合わせます。

- シフトボタン (▼)(▲)(◀)(▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。



ウィークリータイマー

各曜日ごとに、プログラムされた時間で記録を行う設定

5 シフトボタン (▼)(▲)(◀)(▶) で、[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面の曜日 (SUN ~ SAT) の項目に点滅部分を移動します。

6 セットボタン (+) と (-) を押して、曜日ごとに [PROGRAM TIMER] 画面で登録したプログラム (PGM1 ~ PGM8) を設定します。

- プログラムは、各曜日ごとに上下 2 プログラムずつ設定できます。設定しない場合は、*** のままにしてください。
- プログラムされた時間帯が、同じ曜日で重なった場合は、上段のプログラムが優先されます。

デイリータイマー

毎日決まった時刻に、プログラムされた時間で記録を行う設定

7 シフトボタン (▼)(▲)(◀)(▶) で、DLY の項目に点滅部分を移動します。

8 ウィークリータイマーと同様に、セットボタン (+) と (-) を押して、[PROGRAM TIMER] 画面で登録したプログラム (PGM1 ~ PGM8) を設定します。

9 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

10 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、内部タイマー録画モード（表示管にINTランプが点灯）にします。

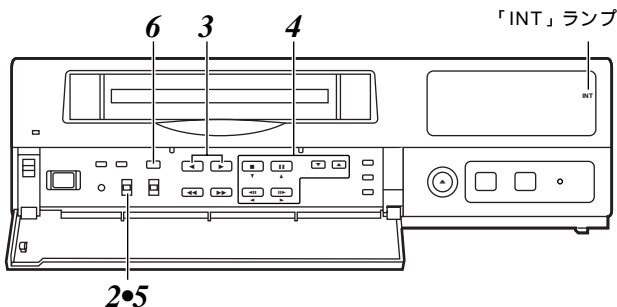
< ノート >

- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、INTランプが点滅します。同時に、誤消去防止用の爪が折れているカセットテープは排出されます。また、VHSテープが入っている場合も自動的に排出されます。また、日付と時間の設定やプログラムタイマーが設定されていないときも、ブザーが鳴り、INTランプが点滅します。
- 内部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管のINTランプを消灯させます。

< ノート >

プログラムされた時間帯が、ウィークリータイマーと重なった場合は、ウィークリータイマーが優先されます。

フリーセットタイマー
設定した日付に、プログラムされた時間で記録を行う設定



1 ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定を完了します。

2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。

3 ページ(+)ボタンまたは、ページ(-)ボタンを押して、P8 [FREE SET TIMER] 画面を表示させます。設定できる項目が点滅します。

[FREE SET TIMER]				P8
	MONTH	DAY	SET	
1)	**	-	**	*****
2)	**	-	**	*****
3)	**	-	**	*****
4)	**	-	**	*****
5)	**	-	**	*****
6)	**	-	**	*****
7)	**	-	**	*****
8)	**	-	**	*****
9)	**	-	**	*****
10)	**	-	**	*****
11)	**	-	**	*****
12)	**	-	**	*****

MONTH			
任意の日付の「月」を設定します。(1 ~ 12、**)			
登録しない場合は、**を設定します。			
MONTH/DAY/SETに「** - ** - *****」が表示されます。			
DAY			
任意の日付の「日」を設定します。(1 ~ 31)			
SET			
ウィークリータイマーで設定したプログラムを選択します。			
SUN ~ SAT、P_OFF (終日 POWER OFF モード)			
< ノート >			
フリーセットタイマーに設定できる日付は12日分です。			

- 4** タイマー録画モードを、下記の操作で合わせます。
- シフトボタン(▼)(▲)(◀)(▶)で変更する項目に点滅部分を移動させます。
 - セットボタン(+)と(-)を押して、設定を変更します。

5 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

6 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、内部タイマー録画モード（表示管にINTランプが点灯）にします。フリーセットタイマーが実行されると、フリーセットタイマー番号の右に「*」が表示されます。

< ノート >

- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、INTランプが点滅します。
- 内部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管のINTランプを消灯させます。

[FREE SET TIMER]				P8	
	MONTH	DAY	SET		
1)	*	5	-	3	SUN
1)	*	5	-	4	SUN
1)	*	5	-	5	SUN
4)	**	-	**	*****	
5)	**	-	**	*****	
6)	**	-	**	*****	
7)	**	-	**	*****	
8)	**	-	**	*****	
9)	**	-	**	*****	
10)	**	-	**	*****	
11)	**	-	**	*****	
12)	**	-	**	*****	

< ノート >

プログラムされた時間帯が、ウィークリータイマーと重なった場合は、フリーセットタイマーが優先されます。

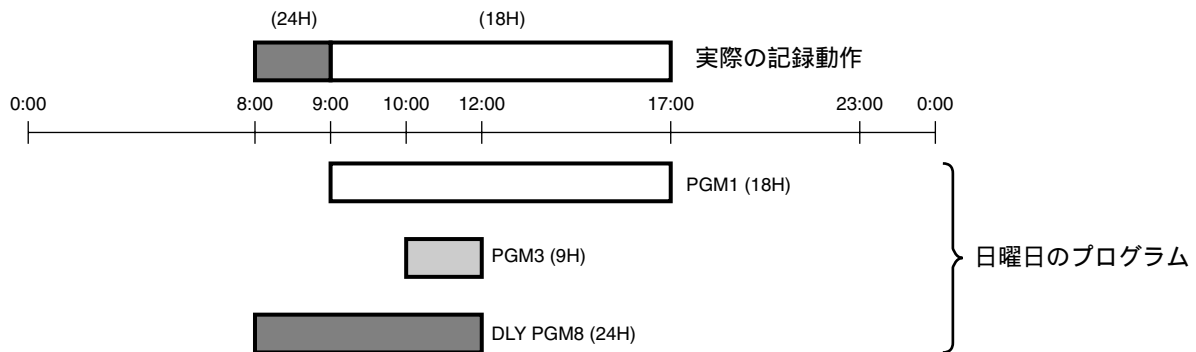
便利な機能

内部タイマー録画のプログラム例

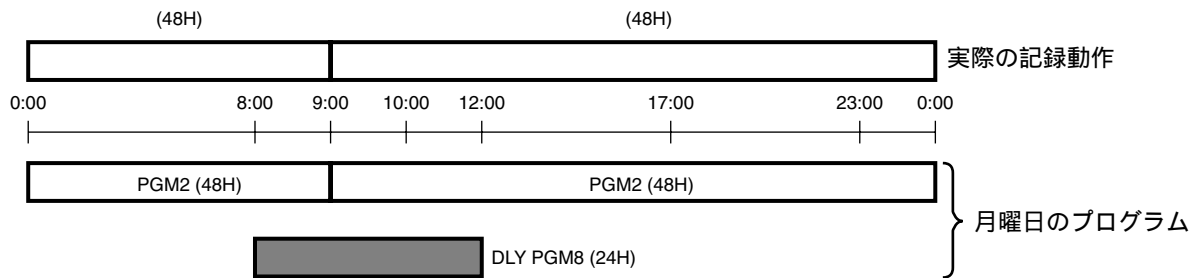
[PROGRAM TIMER]				P7
(TIMER)	START	END	REC T-MODE	
PGM1	9:00	17:00	18H	
PGM2	9:00	9:00	48H	
PGM3	10:00	12:00	9H	
PGM4	0:00	0:00	OFF	
PGM5	23:00	6:00	72H	
PGM6	10:00	11:00	OFF	
PGM7	5:00	6:00	120H	
PGM8	8:00	12:00	24H	

[INTERNAL WEEKLY TIMER]							
(SUN)	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	DLY
PGM1	PGM2	***	PGM1	PGM6	PGM5	***	PGM8
PGM3	***	***	***	***	***	PGM7	***

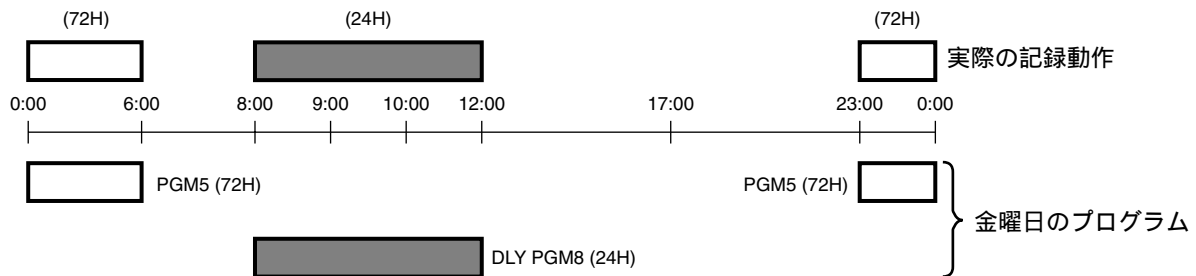
■ 日曜日の記録



■ 月曜日の記録



■ 金曜日の記録

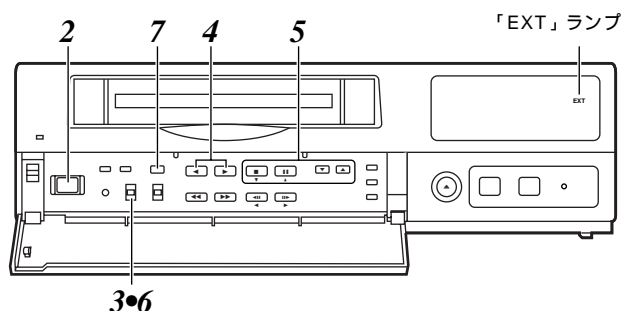


外部タイマー録画

外部タイマーを使用して、任意に設定した時間に、録画の開始・終了を行うことができます。

< ノート >

外部タイマー録画の設定を行う前に、接続や「日付と時刻の設定 (14 ページ)」、「記録モードの設定 (15 ページ)」を完了させてください。



1 一次側電源で制御する場合：
(本機の電源コードに接続した外部タイマーを使用)
本機の電源コードに外部タイマーを接続し、通電状態にします。

外部タイマー入力端子で制御する場合：
(本機の後面ターミナル部に接続した外部タイマーを使用)
本機の後面ターミナル部に外部タイマーを接続し、通電状態にします。

2 電源スイッチを ON にし、カセットテープを挿入します。

3 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。

4 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、P6 [TERMINAL INPUT SELECT] 画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。

[TERMINAL INPUT SELECT]		P6
EXT TIMER IN	OFF	
TIME ADJUST IN	9:00	
[TERMINAL OUTPUT SELECT]		
ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE	
ERROR WARN/REC OUT	WARNING	
EXT TIMER OUT	START 0:00	
	END 0:00	
[SWITCHER]		
SEQUENCE SWITCHER	OFF	

5 一次側電源で制御する場合：
シフトボタン (▼)(▲) で、EXT TIMER IN の項目に点滅部分を移動し、セットボタン (+) と (-) を押し、OFF に設定します。

外部タイマー入力端子で制御する場合：
EXT TIMER IN の項目を ON に設定します。

6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

7 フロントパネルのタイマーモードボタンを押し、外部タイマー録画モード (表示管に EXT ランプが点灯) にします。
外部タイマー入力端子での制御を設定している場合、自動的に電源が OFF の状態になり、外部タイマーからの制御信号を待ちます。

< ノート >

- カセットテープが挿入されていない場合や、カセットテープの誤消去防止用の爪が折れている場合は、ブザーが鳴り、EXT ランプが点滅します。同時に、誤消去防止用の爪が折れているカセットテープは排出されます。また、VHS テープが入っている場合も自動的に排出されます。
- 外部タイマー録画モードを解除する場合は、タイマーモードボタンを押し、表示管の EXT ランプを消灯させます。

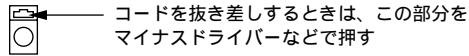
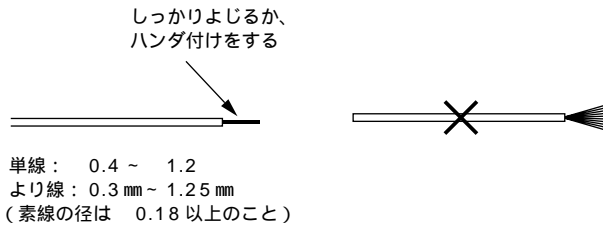
8 外部タイマーの設定を行います。
外部タイマーの動作により本機が通電状態になると、自動的に録画を開始します。

< ノート >

外部タイマー録画モードで通電されていない状態のときにアラームが入力されても、センサー録画は行われません。

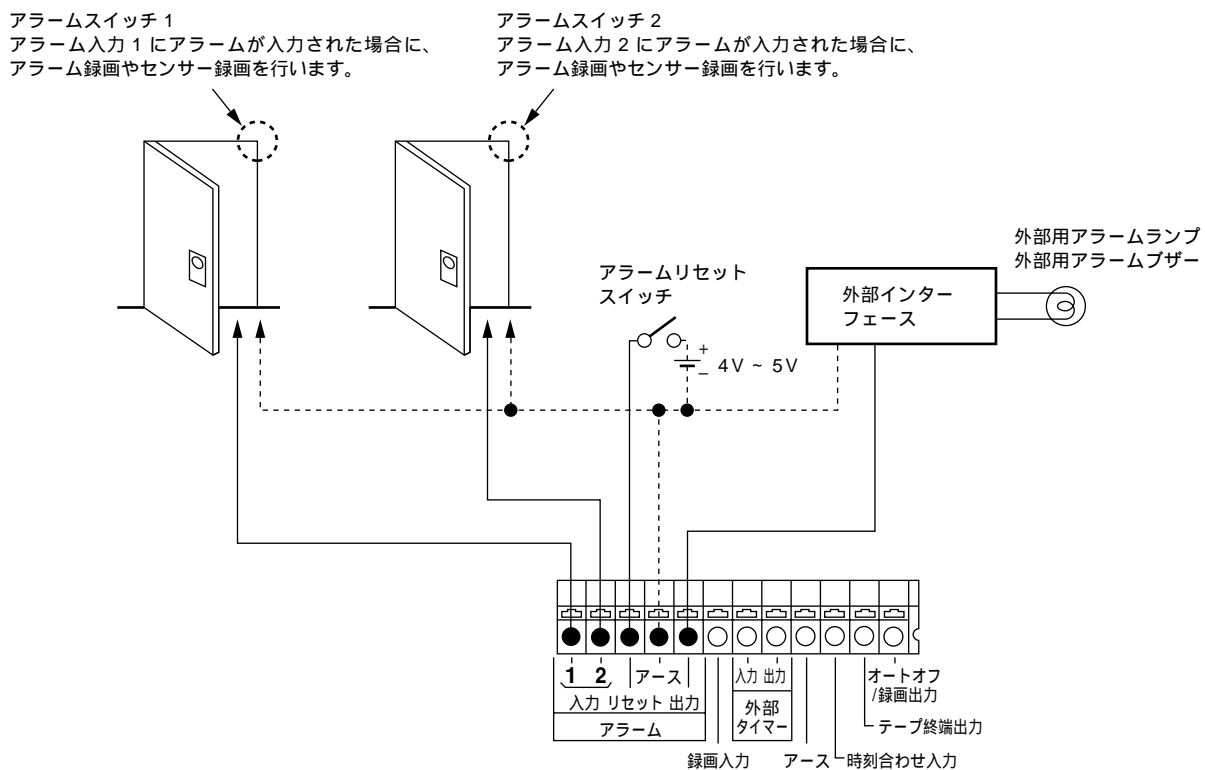
ターミナルの接続

ターミナル部へ接続するコードは、下記のように先端部分をしっかりとよじっておいてください。



- 先がしっかりとよじれていないと、ショートの原因になります。

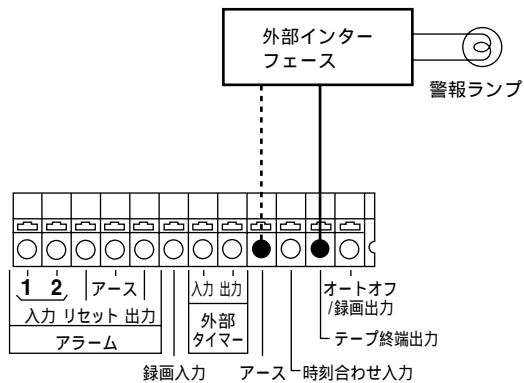
アラーム録画の接続



- 設定メニュー P3 [ALARM/SENSOR REC] 画面の MODE でアラーム録画の設定がされている場合、アラームスイッチが入になると、アラーム録画が開始されます。
- アラームリセットスイッチが「入」になると、アラーム録画が解除されます。

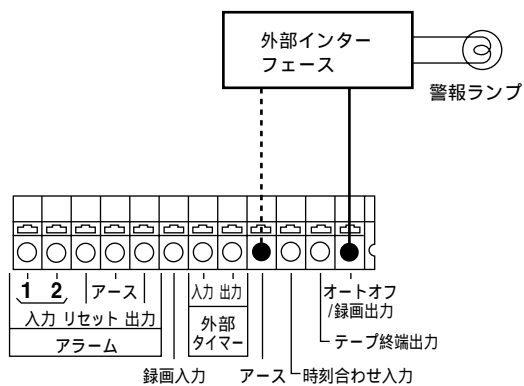
ターミナルの接続

テープ終端出力の接続



録画中に、カセットテープが終端になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

オートオフ出力の接続と録画出力の接続



オートオフ出力と録画出力は、同じ接続です。
設定メニュー P6 [TERMINAL OUTPUT SELECT] 画面の ERROR WARN/REC OUT で切り替えます。

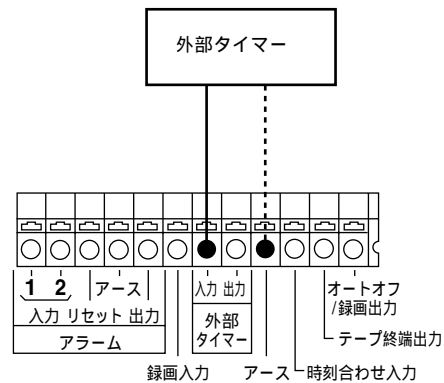
オートオフ出力

本機に異常が生じたとき、外部に設けた警報装置を作動させます。
この場合、ディスプレイにエラーメッセージが表示されず。(83 ページ参照)

録画出力

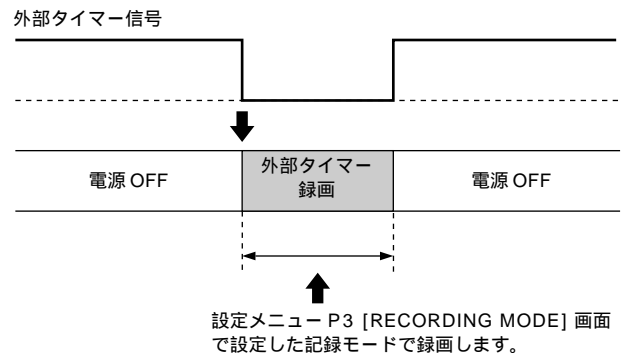
本機が、録画状態になると、外部に設けた警報装置を作動させます。

外部タイマー入力の接続



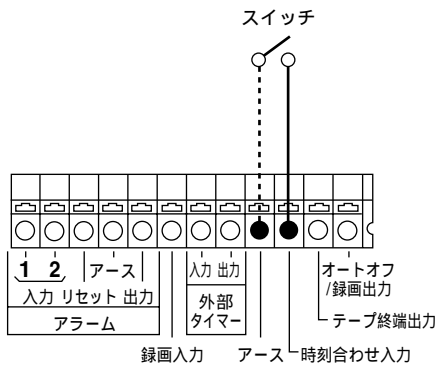
外部タイマーを使って、録画することができます。

- 設定メニュー P6 [TERMINAL INPUT SELECT] 画面の EXT TIMER IN を ON に設定し、フロントパネルのタイマーモードボタンで EXT (外部タイマー録画) に設定します。
本機の電源が OFF になり、外部タイマーの信号で録画を開始します。



ターミナルの接続

時刻合わせの接続



外部スイッチにより本機の時刻を合わせる場合

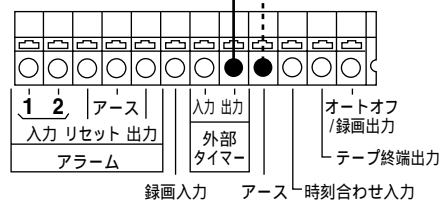
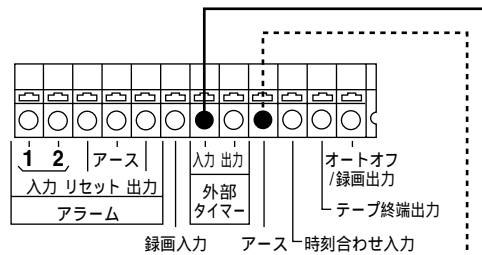
- 本機の設定メニュー P6 [TERMINAL INPUT SELECT] 画面の TIME ADJUST IN で、外部スイッチから信号が入力されたときに合わせる時刻を設定します。
- 外部スイッチを「入」にすると、設定した時刻になります。

本機を外部タイマーとして使用する接続

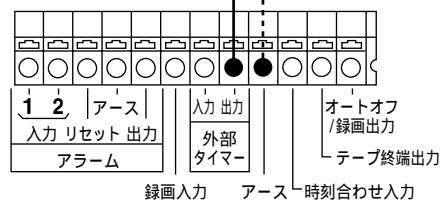
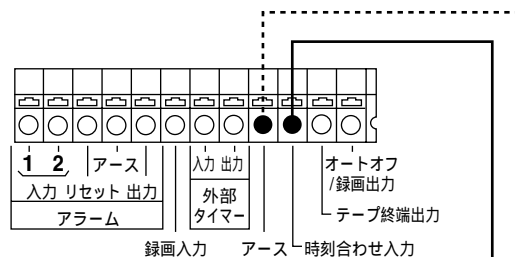
本機をもう 1 台使って、外部タイマーや時刻合わせの外部スイッチとして使用することができます。

- 設定メニュー P6 [TERMINAL OUTPUT SELECT] 画面の EXT TIMER OUT で制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を設定します。

外部タイマーとして使用する場合



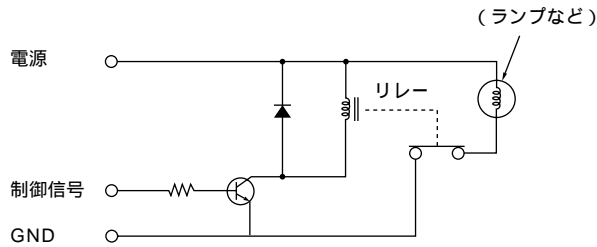
時刻合わせの外部スイッチとして使用する場合



ターミナルの信号レベル

外部インターフェース作成仕様

HIGH 信号にてランプ点灯例

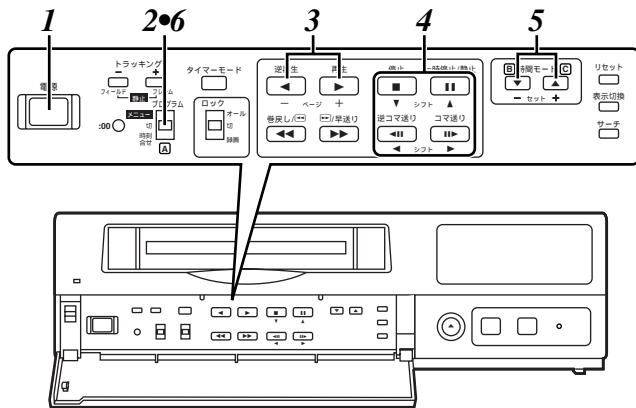


- 各素子は、使用実体に合った定格のものをご使用ください。

ターミナル名	信号レベル	備考	ターミナル名	信号レベル	備考
アラーム入力 1、2	<p>$V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T = 100ms$</p>	接地入力	時刻合わせ入力	<p>$V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T = 100ms$</p>	接地入力
アラームリセット入力	<p>$V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T = 100ms$</p>	High 入力	テープ終端出力	<p>$V_{OH} = 11.0V \sim 13.0V$ $V_{OL} = 0.0V \sim 0.6V$ 56k プルアップ(+12V) 出力 <ノート> 電源スイッチがOFFのときは、上記の電圧が出力されません。</p>	接地出力 テープの終端位置で出力されます。 メニュー画面 P4 [VTR MODE SELECT] の (TAPE END) MODE で REPEAT とREW を設定しているとき、出力時間 T は 2 秒です。REPEAT とREW 以外の設定のときは、何れかの操作ボタンが押されるまで出力し続けます。 メニュー画面 P5 [TAPE REMAIN] の LEVEL で OFF 以外を設定しているときは、上記と同様に、設定されたテープ残量位置で出力されます。
アラーム出力	<p>$V_{OH} = 11.0V \sim 13.0V$ $V_{OL} = 0.0V \sim 0.6V$ 4.7k プルアップ(+12V) 出力 <ノート> 電源スイッチがOFFのときは、上記の電圧が出力されません。</p>	接地出力 出力形式は、メニュー画面 P6 [TERMINAL OUTPUT SELECT] の ALARM/SENSOR OUT で設定します。	オートオフ/録画出力	<p>オープンドレイン出力 $V_{OL} = 0.0V \sim 1.0V$ 最大 200mA 駆動可能</p>	接地出力
録画入力	<p>$V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ $T = 100ms$</p>	接地入力	外部タイマー出力	<p>$V_{OL} = 0.0V \sim 0.6V$</p>	接地出力 出力時間 T は、メニュー画面 P6 [TERMINAL OUTPUT SELECT] の EXT TIMER OUT で設定します。
外部タイマー入力	<p>$V_{IH} = 4.0V \sim 5.0V$ $V_{IL} = 0.0V \sim 0.6V$ T : 記録時間</p>	接地入力 V_{IL} 入力 (T) の間、記録します。			

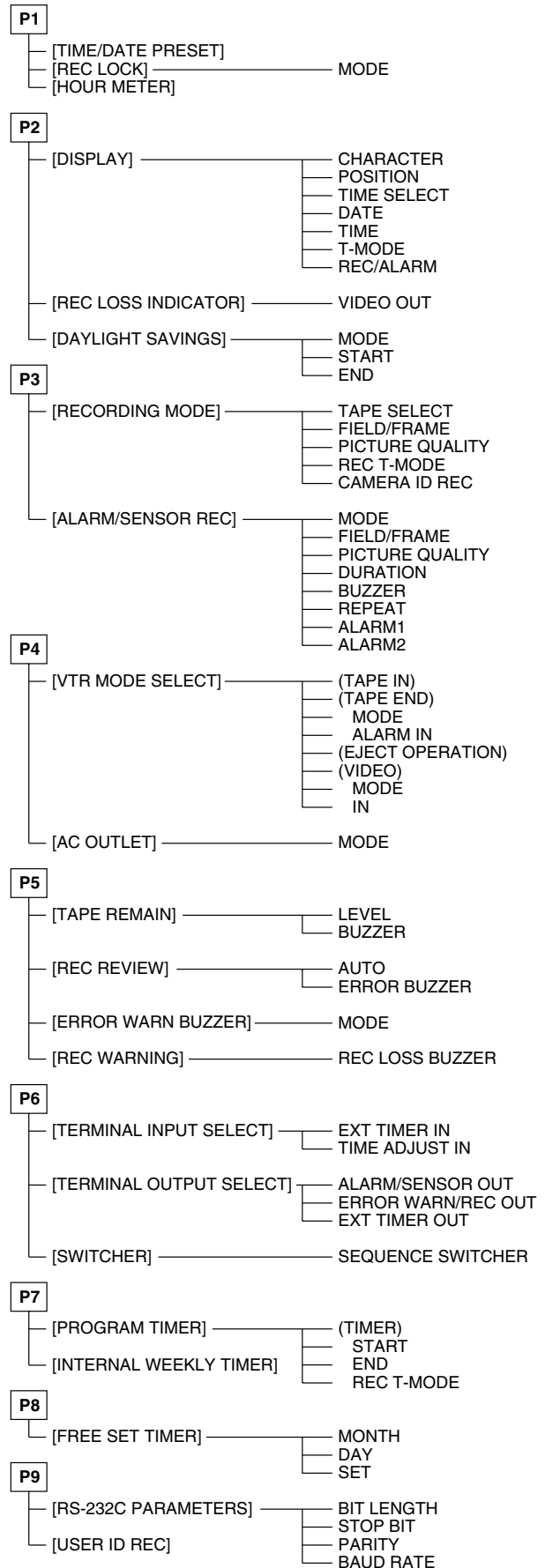
設定メニュー

設定方法



- 1 電源スイッチを ON にします。
- 2 プログラムスイッチを「メニュー」の位置にします。
モニターテレビに設定メニュー画面が表示されます。
- 3 ページ (+) ボタンまたは、ページ (-) ボタンを押して、設定する画面を表示させます。
設定できる項目が点滅します。
- 4 シフトボタン (▼)(▲)(◀)(▶) で変更する項目に点滅部分を移動させます。
- 5 セットボタン (+) と (-) を押して、設定を変更します。
- 6 設定が終了すると、プログラムスイッチを「切」の位置にします。
モニターテレビの設定メニュー画面が消え、通常モードに戻ります。

メニュー一覧



設定メニュー

メニュー P1

P1	[TIME/DATE PRESET] 2000- 1-01 SAT 0:00:00 [REC LOCK] MODE OFF [HOUR METER] 00000h
----	---

[TIME/DATE PRESET] 画面

項目	機能内容
年 月 日 曜日 時 分 秒	日付と時刻を設定します。

[REC LOCK] 画面

項目	機能内容
MODE	録画中における、操作のロックモードを設定します。 ON : 録画中は、録画チェックボタン以外のボタン操作やスイッチの操作が無効になります。 OFF : 録画中でも、全てのボタン操作やスイッチの操作ができます。

_____ は、工場出荷モードです。

[HOUR METER] 画面

項目	機能内容
	本機を使用した通算時間（シリンダーが回転した総時間）を表示します。

設定メニュー

メニュー P2

[DISPLAY]			P2
CHARACTER	WHITE		
POSITION	R-BOTTOM		
TIME SELECT	24HOURS		
DATE	ON		
TIME	ON		
T-MODE	ON		
REC/ALARM	ON		
[REC LOSS INDICATOR]			
VIDEO OUT	CAMERA		
[DAYLIGHT SAVINGS]			
MODE	OFF		
	<WEEK>	<MONTH>	<TIME>
START	1ST-SUN	4	2:00
END	LST-SUN	10	2:00

[DISPLAY] 画面

項目	機能内容
CHARACTER	モニター画面に表示される、文字の表示タイプを設定します。 <u>WHITE</u> : 白文字で、黒の縁取りで表示します。 <u>BLACK</u> : 黒文字で、白の縁取りで表示します。 <ノート> 停止状態で映像信号がない場合は、WHITE に設定した文字表示になります。
POSITION	モニター画面に表示される、文字の位置を設定します。 <u>L-UPPER</u> : 画面の左上に文字を表示します。 <u>R-UPPER</u> : 画面の右上に文字を表示します。 <u>L-BOTTOM</u> : 画面の左下に文字を表示します。 <u>R-BOTTOM</u> : 画面の右下に文字を表示します。 <u>CENTER</u> : 画面の中央に文字を表示します。
TIME SELECT	時刻の 12 時間表示と 24 時間表示を設定します。 <u>24HOURS</u> : 時刻を 24 時間で表示します。 <u>AM/PM</u> : 時刻を午前と午後の 12 時間で表示します。
DATE	モニター画面への、日付表示を設定します。 <u>ON</u> : モニター画面に日付を表示します。 <u>OFF</u> : モニター画面に日付を表示しません。
TIME	モニター画面への、時刻表示を設定します。 <u>ON</u> : モニター画面に時刻を表示します。 <u>OFF</u> : モニター画面に時刻を表示しません。
T-MODE	モニター画面への、記録時間モードの表示を設定します。 <u>ON</u> : モニター画面に記録時間モードを表示します。 <u>OFF</u> : モニター画面に記録時間モードを表示しません。
REC/ALARM	モニター画面への、アラーム番号と動作モードの表示を設定します。 <u>ON</u> : モニター画面にアラーム番号と動作モードを表示します。 <u>OFF</u> : モニター画面にアラーム番号と動作モードを表示しません。

_____ は、工場出荷モードです。

[REC LOSS INDICATOR] 画面

項目	機能内容
VIDEO OUT	記録モード以外のときに、モニター画面へ出力される映像を設定します。 <u>CAMERA</u> : モニター画面にカメラからの映像を出力します。 <u>BLUE</u> : モニター画面には、ブルーバック信号が出力されます。

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P2

[DISPLAY]		P2
CHARACTER	WHITE	
POSITION	R-BOTTOM	
TIME SELECT	24HOURS	
DATE	ON	
TIME	ON	
T-MODE	ON	
REC/ALARM	ON	
[REC LOSS INDICATOR]		
VIDEO OUT	CAMERA	
[DAYLIGHT SAVINGS]		
MODE	OFF	
	<WEEK>	<MONTH>
START	1ST-SUN	4 2:00
END	LST-SUN	10 2:00

[DAYLIGHT SAVINGS] 画面

項目	機能内容
MODE	夏時間の設定を切り替えます。 ON : 夏時間の設定を有効にします。 OFF : 夏時間の設定を無効にします。
START	夏時間を開始する日時を設定します。 <WEEK> 夏時間を開始する「週」と「曜日」を設定します。 1ST : 1 週目 2ND : 2 週目 3RD : 3 週目 4TH : 4 週目 LST : 最終週 SUM ~ SAT 工場出荷モード (1ST-SUN) <MONTH> 夏時間を開始する「月」を設定します。 1 ~ 12 工場出荷モード (4) <TIME> 夏時間を開始する「時間」を設定します。 「分」の設定は行えません。 1:00 ~ 22:00 工場出荷モード (2:00)
END	夏時間を終了する日時を設定します。 <WEEK> 夏時間を終了する「週」と「曜日」を設定します。 1ST : 1 週目 2ND : 2 週目 3RD : 3 週目 4TH : 4 週目 LST : 最終週 SUM ~ SAT 工場出荷モード (LST-SUN) <MONTH> 夏時間を終了する「月」を設定します。 1 ~ 12 工場出荷モード (10) <TIME> 夏時間を終了する「時間」を設定します。 「分」の設定は行えません。 1:00 ~ 22:00 工場出荷モード (2:00)

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P3

[RECORDING MODE]	P3
TAPE SELECT	120/160min(SVHS)
FIELD/FRAME	FIELD
PICTURE QUALITY	HIGH
REC T-MODE	OFF
CAMERA ID REC	ON
[ALARM/SENSOR REC]	
MODE	OFF
FIELD/FRAME	FIELD
PICTURE QUALITY	HIGH
DURATION	0.5min
BUZZER	OFF
REPEAT	OFF
ALARM1	OFF
ALARM2	OFF

[RECORDING MODE] 画面

項目	機能内容
TAPE SELECT	<p>使用するテープを選択します。</p> <p><u>120/160min(SVHS)</u> : S-VHS テープ (120 分または 160 分) を選択します。</p> <p>420min(DVHS) : D-VHS テープ (420 分) を選択します。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● D-VHS テープを使用した場合、より高密度な記録を行うことができます。 ● 420min (DVHS) を選択したにも関わらず、S-VHS テープで記録した場合、記録される時間は設定された記録時間の約半分になります。
FIELD/FRAME	<p>フィールド記録とフレーム記録を選択します。(16 ページ参照)</p> <p><u>FIELD</u> : フィールド記録を行います。</p> <p><u>FRAME</u> : フレーム記録を行います。</p>
PICTURE QUALITY	<p>記録する画質を設定します。</p> <p><u>HIGH</u> : 高画質で記録します。</p> <p><u>NORMAL</u> : 標準画質で記録します。</p>
REC T-MODE	<p>記録時間モードを設定します。</p> <p>S-VHS テープ : OFF、3H/9H/12H/18H/24H/48H/72H/96H/120H/ 180H/240H/360H/480H/960H</p> <p>D-VHS テープ : OFF、7H/21H/35H/48H/60H/72H/84H/96H/120H/ 180H/240H/360H/480H/960H</p> <p>< ノート ></p> <p>OFF を選択すると、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。</p>
CAMERA ID REC	<p>テープへのカメラ ID の記録を設定します。</p> <p>フレームスイッチャーを接続して記録を行うときの設定です。</p> <p><u>ON</u> : テープにカメラ ID を記録します。</p> <p><u>OFF</u> : テープにカメラ ID を記録しません。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ON に設定して記録を行ったテープを再生すると、映像の下部に何も映っていない黒い部分 (10 ライン) ができます。 ● フレームスイッチャーを接続しないときは OFF に設定してください。

_____ は、工場出荷モードです。

メニュー P3

[RECORDING MODE]	P3
TAPE SELECT	120/160min(SVHS)
FIELD/FRAME	FIELD
PICTURE QUALITY	HIGH
REC T-MODE	OFF
CAMERA ID REC	ON
[ALARM/SENSOR REC]	
MODE	OFF
FIELD/FRAME	FIELD
PICTURE QUALITY	HIGH
DURATION	0.5min
BUZZER	OFF
REPEAT	OFF
ALARM1	OFF
ALARM2	OFF

[ALARM/SENSOR REC] 画面

項目	機能内容
MODE	<p>アラームが入力された場合の記録を設定します。</p> <p><u>OFF</u> : アラーム入力に関係なく通常の動作を行います。</p> <p>ALARM/SENSOR : アラーム録画やセンサー録画を行います。</p> <p>ALARM : アラーム録画を行います。</p> <p>SENSOR : センサー録画を行います。</p>
FIELD/FRAME	<p>アラーム録画やセンサー録画を行うときに、フィールド記録かフレーム記録かを選択します。(16 ページ参照)</p> <p><u>FIELD</u> : フィールド記録を行います。</p> <p>FRAME : フレーム記録を行います。</p>
PICTURE QUALITY	<p>アラーム録画やセンサー録画を行うときの、画質を設定します。</p> <p><u>HIGH</u> : 高画質で記録します。</p> <p>NORMAL : 標準画質で記録します。</p> <p>NO CHANGE : 現在設定されている画質で記録します。</p>
DURATION	<p>アラーム録画やセンサー録画を行う時間を設定します。</p> <p><u>0.5min</u> : 30 秒間記録します。</p> <p>1.0min : 1 分間記録します。</p> <p>1.5min : 1 分 30 秒間記録します。</p> <p>2.0min : 2 分間記録します。</p> <p>3.0min : 3 分間記録します。</p> <p>6.0min : 6 分間記録します。</p> <p>10.0min : 10 分間記録します。</p> <p>CONTINUE : テープの終端まで記録します。</p> <p>MANUAL : アラームが入力されている間のみ記録します。</p>
BUZZER	<p>アラーム録画中やセンサー録画中にブザーを鳴らす設定を行います。</p> <p><u>ON</u> : ブザーを鳴らします。</p> <p>何れかの操作ボタンを押すと、ブザーが止まります。</p> <p><u>OFF</u> : ブザーを鳴らしません。</p>
REPEAT	<p>リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画を設定します。</p> <p><u>OFF</u> : テープを巻き戻しているときは、アラーム録画やセンサー録画を行いません。</p> <p>テープの巻き戻しが完了しても、DURATION の項目で MANUAL が設定されていて、アラームが入力されている間は、アラーム録画やセンサー録画を行います。</p> <p>ACCEPT : テープを巻き戻している途中でも、強制的にアラーム録画やセンサー録画を行います。</p>
ALARM1	<p>アラーム入力 1 にアラームが入力された場合に、アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録時間モードを設定します。</p> <p>S-VHS テープ : <u>OFF</u>、3H ~ 960H</p> <p>D-VHS テープ : <u>OFF</u>、7H ~ 960H</p> <p><ノート></p> <p>OFF を選択すると、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。</p>
ALARM2	<p>アラーム入力 2 にアラームが入力された場合に、アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録時間モードを設定します。</p> <p>S-VHS テープ : <u>OFF</u>、3H ~ 960H</p> <p>D-VHS テープ : <u>OFF</u>、7H ~ 960H</p> <p><ノート></p> <p>OFF を選択すると、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P4

[VTR MODE SELECT]		P4
(TAPE IN)	STOP	
(TAPE END)	STOP	
MODE	STOP	
ALARM IN	STOP	
(EJECT OPERATION)	EJECT	
(VIDEO)		
MODE	AUTO	
IN	LINE	
[AC OUTLET]		
MODE	LINK	

[VTR MODE SELECT] 画面

項目	機能内容
(TAPE IN)	本機にカセットテープが挿入されたときの、動作モードを設定します。 <u>STOP</u> : 停止状態になります。 <u>REC</u> : 記録を行います。 <u>REW</u> ◆ <u>REC</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、記録を行います。
(TAPE END) MODE	テープ終端位置まで来たときの、動作モードを設定します。 <u>STOP</u> : テープ終端位置で、停止状態になります。 <u>BUZZER</u> : テープ終端位置で停止状態になり、ブザーが鳴ります。 <u>REW</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、停止状態になります。 <u>REPEAT</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、記録を行います。 <u>EJECT</u> : テープ終端位置で、カセットテープをイジェクトします。イジェクトするときの動作は、(EJECT OPERATION)の設定に従います。
(TAPE END) ALARM IN	アラーム録画やセンサー録画が行われた後に、テープ終端位置になったときの動作モードを設定します。 <u>STOP</u> : テープ終端位置で、停止状態になります。 (TAPE END) MODEでEJECTが設定されているときは、カセットテープをイジェクトします。イジェクトするときの動作は、(EJECT OPERATION)の設定に従います。 <u>CONTINUE</u> : アラーム入力に関係なく、(TAPE END) MODEで設定されている動作を行います。
(EJECT OPERATION)	カセットテープをイジェクトするときの動作を設定します。 <u>EJECT</u> : 現状のテープ位置でカセットテープをイジェクトします。 <u>REW</u> ◆ <u>EJECT</u> : テープを始端位置まで巻き戻してから、カセットテープをイジェクトします。
(VIDEO) MODE	映像出力信号のカラーを設定します。 <u>AUTO</u> : 入力信号に応じて自動的に切り替えます。 <u>B/W</u> : 強制的にモノクロにします。 <u>COLOR</u> : 強制的にカラーにします。
(VIDEO) IN	映像信号の入力端子を設定します。 <u>LINE</u> : 映像入力端子 <u>S-VIDEO</u> : S映像入力端子

_____ は、工場出荷モードです。

[AC OUTLET] 画面

項目	機能内容
MODE	電源出力端子からの電源供給と、本機の電源スイッチとの関係を設定します。 <u>LINK</u> : 本機の電源スイッチと連動させます。 <u>NON-LINK</u> : 本機の電源スイッチには関係なく、常に電源を供給します。

_____ は、工場出荷モードです。

メニュー P5

[TAPE REMAIN]		P5
LEVEL	OFF	
BUZZER	OFF	
[REC REVIEW]		
AUTO	OFF	
ERROR BUZZER	OFF	
[ERROR WARN BUZZER]		
MODE	OFF	
[REC WARNING]		
REC LOSS BUZZER	OFF	

[TAPE REMAIN] 画面

項目	機能内容
LEVEL	<p>テープ終端位置が間近にきたときに、表示管に REMAIN を点滅させ警告表示する設定を行います。</p> <p>OFF : 警告表示を行いません。</p> <p>2% : テープ残量が、約 2% 以下になったときに警告表示を行います。</p> <p>10% : テープ残量が、約 10% 以下になったときに警告表示を行います。</p> <p>20% : テープ残量が、約 20% 以下になったときに警告表示を行います。</p> <p>30% : テープ残量が、約 30% 以下になったときに警告表示を行います。</p> <p>< ノート > S-VHS120 分テープを使用して 3 時間記録モードに設定された場合と、D-VHS420 分テープを使用して 7 時間記録モードに設定された場合に有効です。</p>
BUZZER	<p>テープ終端位置が間近にきたときに、ブザーを鳴らす設定を行います。</p> <p>ブザーは、何れかのボタンを押すと止まります。</p> <p>ON : LEVEL の項目で設定された位置でブザーを鳴らします。</p> <p>OFF : ブザーは鳴らしません。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

[REC REVIEW] 画面

項目	機能内容
AUTO	<p>自動録画チェックを設定します。</p> <p>(記録時に、適正なビデオレベルが確保されているかを検出するために、一定時間記録を行った後に、その部分を再生する機能)</p> <p>ON : 自動的に録画チェックを行います。</p> <p>NG の場合、ローディングとアンローディングを 2 回行い、再度自動的に録画チェックを行います。その後、NG の場合でも、記録を行います。</p> <p>OFF : 自動的に、録画チェックを行いません。</p>
ERROR BUZZER	<p>録画チェックを行って、適正なビデオレベルが確保されていなかった場合にブザーを鳴らす設定を行います。</p> <p>ON : ブザーを鳴らします。</p> <p>何れかの操作ボタンを押すと、ブザーが止まります。</p> <p>OFF : ブザーを鳴らしません。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

[ERROR WARN BUZZER] 画面

項目	機能内容
MODE	<p>本機に異常が発生し、自動的に電源が OFF になるときにブザーを鳴らす設定を行います。</p> <p>ON : ブザーを鳴らします。</p> <p>OFF : ブザーを鳴らしません。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P5

[TAPE REMAIN] LEVEL	OFF	P5
BUZZER	OFF	
[REC REVIEW] AUTO	OFF	
ERROR BUZZER	OFF	
[ERROR WARN BUZZER] MODE	OFF	
[REC WARNING] REC LOSS BUZZER	OFF	

[REC WARNING] 画面

項目	機能内容
REC LOSS BUZZER	<p>停止状態が長く続いた場合に、ブザーを鳴らす設定を行います。何れかの操作ボタンを押すと、ブザーが止まります。</p> <p><u>OFF</u> : ブザーを鳴らしません。</p> <p>5min : 停止状態が 5 分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。</p> <p>10min : 停止状態が 10 分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。</p> <p>20min : 停止状態が 20 分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。</p> <p>30min : 停止状態が 30 分間続いた場合に、ブザーを鳴らします。</p> <p>< ノート ></p> <p>何れかのボタンを押してブザーを止めた後、STOP 以外のモードになり、再度停止状態が続いた場合は、メニュー設定に従って再度ブザーを鳴らします。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

メニュー P6

[TERMINAL INPUT SELECT] EXT TIMER IN	OFF	P6
TIME ADJUST IN	9:00	
[TERMINAL OUTPUT SELECT] ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE	
ERROR WARN/REC OUT	WARNING	
EXT TIMER OUT	START 0:00 END 0:00	
[SWITCHER] SEQUENCE SWITCHER	OFF	

[TERMINAL INPUT SELECT] 画面

項目	機能内容
EXT TIMER IN	<p>外部タイマー録画モードときに、後面のターミナル部に接続された外部タイマーからの信号を受け付ける設定を行います。</p> <p><u>ON</u> : 外部タイマーからの信号を受け付けます。</p> <p><u>OFF</u> : 外部タイマーからの信号を受け付けません。</p> <p>電源コードに接続した外部タイマーを使用するときは、OFF に設定してください。</p>
TIME ADJUST IN	<p>後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻を設定します。</p> <p>00:00 ~ 23:59、RESET 工場出荷モード (9:00)</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 秒の位は、00 に固定されます。 ● RESET に設定した場合、信号が入力されると、時刻の分の位を「00」にします。 <p>0 ~ 15 分の間に信号が入力されると、「00」に戻します。</p> <p>45 ~ 59 分の間に信号が入力されると、時間を繰り上げて「00」にします。</p>

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P6

[TERMINAL INPUT SELECT]		P6
EXT TIMER IN	OFF	
TIME ADJUST IN	9:00	
[TERMINAL OUTPUT SELECT]		
ALARM/SENSOR OUT	CONTINUE	
ERROR WARN/REC OUT	WARNING	
EXT TIMER OUT	START 0:00	
	END 0:00	
[SWITCHER]		
SEQUENCE SWITCHER	OFF	

[TERMINAL OUTPUT SELECT] 画面

項目	機能内容
ALARM/SENSOR OUT	アラーム録画やセンサー録画を行ったときに、後面のターミナル部の「アラーム出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。 <u>CONTINUE</u> : 制御信号を、録画後も出力し続けます。 <u>ALARM REC</u> : 制御信号を、アラーム録画中やセンサー録画中のみ出力します。
ERROR WARN/REC OUT	本機の状態に応じて、後面のターミナル部の「オートオフ/録画出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。 <u>WARNING</u> : 本機に異常が発生したときに、制御信号を出力し続けます。 <u>REC</u> : 本機が録画中のときに、制御信号を出力します。
EXT TIMER OUT	後面のターミナル部の「外部タイマー出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を設定します。 0:00 ~ 23:59 <ノート> 開始時刻 (START) と終了時刻 (END) が同じ時刻に設定された場合、制御信号は出力されません。

_____ は、工場出荷モードです。

[SWITCHER] 画面

項目	機能内容
SEQUENCE SWITCHER	外部スイッチャーを接続して記録を行うときの設定です。 <u>ON</u> : シーケンシャルスイッチャーを接続して記録を行います。 <u>OFF</u> : 外部スイッチャーを接続しないで記録を行います。 また、フレームスイッチャーを接続して記録を行います。

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P7

[PROGRAM TIMER]				P7
(TIMER)	START	END	REC T-MODE	
PGM1	0:00	0:00	OFF	
PGM2	0:00	0:00	OFF	
PGM3	0:00	0:00	OFF	
PGM4	0:00	0:00	OFF	
PGM5	0:00	0:00	OFF	
PGM6	0:00	0:00	OFF	
PGM7	0:00	0:00	OFF	
PGM8	0:00	0:00	OFF	
[INTERNAL WEEKLY TIMER]				
(SUN MON TUE WED THU FRI SAT DLY)				

[PROGRAM TIMER] 画面

項目	機能内容
(TIMER)	本機の内部タイマーを使用して記録する場合のプログラム（記録開始時刻/記録終了時刻/記録時間モードの3項目）を登録しておきます。 PGM1 ~ PGM8
START	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻を設定します。 0:00 ~ 23:59
END	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録終了時刻を設定します。 0:00 ~ 23:59
REC T-MODE	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録時間モードを設定します。 S-VHS テープ：OFF、3H ~ 960H D-VHS テープ：OFF、7H ~ 960H <ノート> OFFを選択すると、フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モードで記録します。

_____ は、工場出荷モードです。

[INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面

項目	機能内容
	[PROGRAM TIMER] 画面の (TIMER) で登録したプログラム（最大2プログラム）を、各曜日ごとに設定しておきます。 毎日決まったプログラムで記録する場合は、DLY に設定します。 ***、PGM1 ~ PGM8 <ノート> ●登録しない場合は、「***」を設定します。 ●上段に登録されたプログラムが優先されます。

_____ は、工場出荷モードです。

設定メニュー

メニュー P8

[FREE SET TIMER]				P8
	MONTH	DAY	SET	
1)	** - **	**	*****	
2)	** - **	**	*****	
3)	** - **	**	*****	
4)	** - **	**	*****	
5)	** - **	**	*****	
6)	** - **	**	*****	
7)	** - **	**	*****	
8)	** - **	**	*****	
9)	** - **	**	*****	
10)	** - **	**	*****	
11)	** - **	**	*****	
12)	** - **	**	*****	

[FREE SET TIMER] 画面
 [PROGRAM TIMER] 画面の (TIMER) で登録したプログラムや、
 [INTERNAL WEEKLY TIMER] 画面で設定した曜日のプログラムを、任意の日付 (12 日分) に設定します。

項目	機能内容
MONTH	任意の日付の「月」を設定します。 1 ~ 12、** <ノート> 登録しない場合は、** を設定します。 MONTH/DAY/SET に「** - ** - *****」が表示されます。
DAY	任意の日付の「日」を設定します。 1 ~ 31
SET	ウィークリータイマーで設定したプログラムを選択します。 SUN ~ SAT、P_OFF (終日 POWER OFF モード)

_____ は、工場出荷モードです。

メニュー P9

[RS-232C PARAMETERS]		P9
BIT LENGTH	7bit	
STOP BIT	STOP-1	
PARITY	ODD	
BAUD RATE	9600	
[USER ID REC]		
00000000		

[RS-232C PARAMETERS] 画面
 RS-232C パラメータを設定します。

項目	機能内容
BIT LENGTH	ビット長を設定します。 7bit、8bit
STOP BIT	ストップビットを設定します。 STOP-1、STOP-2
PARITY	パリティを設定します。 ODD、EVEN、NON
BAUD RATE	通信速度を設定します。(bps) 1200、2400、4800、9600、19200

_____ は、工場出荷モードです。

[USER ID REC] 画面

項目	機能内容
	ユーザー ID (8 文字まで) を設定します。 ユーザー ID を設定することにより、記録するテープにユーザー ID が記録されます。 <ノート> 使用する文字は 16 種類です。 0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、E、F

RS-232C

RS-232C インターフェイスを使用することにより、以下の機能が制御可能になります。

■ 基本動作

本機のボタン操作やスイッチの操作と同等の基本動作を行うことができます。

■ ステータスの確認

現在の本機動作モードを確認することができます。

■ 設定メニュー

設定メニューの検出や設定を行うことができます。

■ サーチ機能

指定フレーム位置の検索が可能です。

1. ハードウェア仕様

(1) インターフェイス仕様

コネクタ： D-SUB 9 ピン
DCE 仕様 (ストレートケーブル対応)

ピン番号	信号	内容
1	GND	GND
2	SD (TXD)	Transmitted Data
3	RD (RXD)	Received Data
4	ER (DTR)	Data Terminal Ready
5	SG	Signal GND
6	DR (DSR)	Data Set Ready
7	CS (CTS)	Clear to Send
8	RS (RTS)	Request to Send
9	N.C	—————

結線例 (9P)



結線例 (25P)



(2) 通信条件について

本機の通信条件は下記のとおりになっています。通信条件を変更する場合は、メニューにて変更してください。

Baud Rate : 9600 bps
Bit Length : 7 bit
Stop Bit : 1 bit
Parity : ODD

2. ソフトウェア仕様

(1) 外部インターフェイス仕様

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	1200/2400/4800/9600/19200
ビット長	8 bit/7 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティ	NONE/ODD/EVEN

< ノート >

- 工場出荷時の設定は、9600 bps、7 bit、1STOP bit、ODD PARITY となっています。
- 本機の受信バッファは 127 バイトです。

(2) 送信フォーマット (パソコン → 本機)

■ データフォーマット

```
[STX] [discrimination] [:] [data] [ETX]
02H   XX XX XX       3AH  XX.....XX  03H
```

20H<XX<7FH (XX=16進キャラクターコード)

- discrimination : コマンド識別子 (3 バイト) です。
- : : コマンドとデータの区切りを意味するコードです。
- data : 必要に応じてデータコードを追加します。

1. 送信コマンドは、必ず STX (キャラクターコード 02H) で始まります。
次に続く discrimination がコマンドの識別です。必要に応じて : (コロン) の後に data をつけ加えます。最後は、ETX (キャラクターコード 03H) で終了します。
2. ETX を送信する前に STX を再度送信すると、本機側の内部受信バッファはクリア (今まで受信したデータは破棄) され、再受信した STX を先頭にして新たにデータ処理をします。

(3) 受信フォーマット (本機 → パソコン)

1 個の送信コマンドに対して本機は、下記のフォーマットデータを応答してきます。

1. 最初に本機は、パソコンからのコマンドが正しく受信されたかどうかのデータを返信します。

- 1) 通信が正常な場合本機は、ACK (Acknowledge) データを返信してきます。

```
[ACK]
06H
```

- 2) 通信に異常がある場合、本機は NAK (Negative Acknowledge キャラクターコード 15H) で始まるデータを返信してきます。
本機が、データを送信中の場合は、データ送信後に NAK を返信してきます。
このとき本機は、エラーがあった受信データを全て破棄しています。

```
[NAK]
15H (XX)
```

- の内容
 - 1 (31H) : パリティエラー
 - 2 (32H) : データオーバーフローエラー
 - 3 (33H) : フレーミングエラー
 - 4 (34H) : オーバーランエラー

2. 次に、通信が正常なとき [ACK] を返信した後、本機の動作により次のフォーマットでデータを返信します。

- 1) パソコンからのコマンドが、正しく本機で受信された場合の応答データ (返信データ) フォーマットは、次のとおりです。

```
[STX] [data] [ETX]
02H  XX.....XX  03H
```

example:

送信コマンド	返信データ = 受信データ	
[STX] QOP [ETX]	[ACK] [STX] OEJ [ETX]	
[STX] QCD [ETX]	[ACK] [STX] CD	[ETX]

- 2) 間違ったデータであったり、本機の異常時は、受け取れない理由を示す内容を以下のフォーマットで返してきます。

```
[STX] E R [ETX]
02H 45H 52H XX 03H
```

- の内容
 - 2 (32H) : カセットアップ/ダウンエラー
 - 3 (33H) : ローディングエラー
 - 4 (34H) : ドラム・キャプスタン系エラー
 - 5 (35H) : リール系エラー
 - 6 (36H) : テンション系エラー
 - 7 (37H) : ソレノイドエラー
 - D (44H) : DEW エラー
 - E (45H) : コマンドエラーやパラメーターエラー
 - M (4DH) : コマンド実行不可 (設定メニューモードや時間調整モード)
 - P (50H) : サーチエラー (始端)
 - F (46H) : サーチエラー (フロントパネル操作による中断)
 - T (54H) : サーチエラー (目標位置なし)
 - I (49H) : サーチエラー (コマンドによる中断)
 - O (4FH) : 受信バッファオーバーフロー

< ノート >

パソコンなどを使用して本機を制御する場合、十分動作を確認してご使用ください。
本機のステータス情報を確認しながら、制御することをお勧めします。

(4) コマンドリスト

下の表はパソコン側から見た各モードに対する送信コマンド、動作の一覧表です。

なお、 [STX]は 16 進コード 02H

[ETX]は 16 進コード 03H

: は 16 進コード 3AH

discrimination 部と data 部はその記号に対応する ASCII コードを意味します。

● 通信 (Communication) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] RAF [ETX]	[STX] RAF [ETX]	ACK (Acknowledge) コード返信機能 OFF
[STX] RAN [ETX]	[STX] RAN [ETX]	ACK (Acknowledge) コード返信機能 ON
[STX] RCK [ETX]	[STX] RCK [ETX]	通信ラインのチェック
[STX] RSE:m [ETX]	[STX] RSE [ETX]	サーチエンドモードの設定

● カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CCP:data [ETX]	[STX] CCP [ETX]	CTL カウンターデータのプリセット (CLP と同様)
[STX] CLP:data [ETX]	[STX] CLP [ETX]	CTL カウンターデータのプリセット (CCP と同様)
[STX] CRT [ETX]	[STX] CRT [ETX]	CTL カウンターデータのリセット

● 表示 (Display) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] DBB [ETX]	[STX] DBB [ETX]	キャラクター文字を黒に設定
[STX] DBW [ETX]	[STX] DBW [ETX]	キャラクター文字を白に設定
[STX] DDS:d:t:m:r [ETX]	[STX] DDS [ETX]	モニター画面への表示項目設定
[STX] DFC:m [ETX]	[STX] DFC [ETX]	表示管の表示モード設定
[STX] DMS:d:m:n [ETX]	[STX] DMS [ETX]	時間表示モード (12 時間/24 時間) 設定
[STX] DPP:mm [ETX]	[STX] DPP [ETX]	モニター画面への表示位置の設定

● メディア (Media) 操作制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] HEA [ETX]	[STX] HEA [ETX]	カセットテープをイジェクトするときの動作を REW↯EJECT に設定
[STX] HEE [ETX]	[STX] HEE [ETX]	カセットテープをイジェクトするときの動作を通常の EJECT に設定
[STX] HRE:m [ETX]	[STX] HRE [ETX]	記録時におけるテープ終端位置での動作モード設定
[STX] HRL:m [ETX]	[STX] HRL [ETX]	記録中におけるメニュー操作のロックモードを設定
[STX] HTI:m [ETX]	[STX] HTI [ETX]	テープが挿入されたときの動作モード設定
[STX] HTR:m:b [ETX]	[STX] HTR [ETX]	テープ終端位置が間近にきたときの、警告を設定

●動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] OAC [ETX]	[STX] OAC [ETX]	アラーム入力解除
[STX] OAF [ETX]	[STX] OAF [ETX]	Forward 方向へコマ送り
[STX] OAI:n [ETX]	[STX] OAI [ETX]	アラーム入力
[STX] OAR [ETX]	[STX] OAR [ETX]	Reverse 方向へコマ送り
[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	EJECT
[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	FAST FORWARD
[STX] OPA [ETX]	[STX] OPA [ETX]	PAUSE
[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	PLAY
[STX] OPR [ETX]	[STX] OPR [ETX]	REVERSE PLAY
[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	RECORD
[STX] ORR [ETX]	[STX] ORR [ETX]	REC CHECK
[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	REWIND
[STX] OSF:n [ETX]	[STX] OSF [ETX]	FORWARD SEARCH
[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	STOP
[STX] OSR:n [ETX]	[STX] OSR [ETX]	REVERSE SEARCH

●電源 (Power) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] PAL [ETX]	[STX] PAL [ETX]	電源出力端子からの電源供給を、本機の電源スイッチと連動させる。
[STX] PAU [ETX]	[STX] PAU [ETX]	本機の電源スイッチと関係なく、電源出力端子から常に電源を供給する。
[STX] POF [ETX]	[STX] POF [ETX]	電源スイッチ OFF
[STX] PON [ETX]	[STX] PON [ETX]	電源スイッチ ON

●検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] SAS:data [ETX]	[STX] SAS [ETX]	アラーム番号のサーチと STILL
[STX] SCP:data [ETX]	[STX] SCP [ETX]	カウンター値のサーチと再生
[STX] SCS:data [ETX]	[STX] SCS [ETX]	カウンター値のサーチと STILL
[STX] SPT:data [ETX]	[STX] SPT [ETX]	指定位置までの再生 (OPT と同様)
[STX] STS:data [ETX]	[STX] STS [ETX]	日付と時刻のサーチと STILL

●タイマー (Timer) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] TAT:data [ETX]	[STX] TAT [ETX]	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻の設定
[STX] TCS:data [ETX]	[STX] TCS [ETX]	現在の日付設定
[STX] TTS:data [ETX]	[STX] TTS [ETX]	現在の時刻設定

●ビデオ (Video) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] VIL [ETX]	[STX] VIL [ETX]	映像信号の入力端子を映像入力端子に設定
[STX] VIS [ETX]	[STX] VIS [ETX]	映像信号の入力端子を S 映像入力端子に設定
[STX] VMD:m [ETX]	[STX] VMD [ETX]	映像出力信号のカラーを設定
[STX] VNR:m [ETX]	[STX] VNR [ETX]	記録モード以外のときに、モニター画面へ出力される映像を設定

● タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LAD:m [ETX]	[STX] LAD [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行う時間を設定
[STX] LAI:m [ETX]	[STX] LAI [ETX]	テープ終端位置でアラームが入力されたときの、動作モードを設定
[STX] LAR [ETX]	[STX] LAR [ETX]	ALARM RECALL データの消去
[STX] LBR:m [ETX]	[STX] LBR [ETX]	REC REVIEW を行った結果が NG の場合のブザーを設定
[STX] LBZ:m [ETX]	[STX] LBZ [ETX]	アラーム録画中やセンサー録画中のブザーを設定
[STX] LCI:m [ETX]	[STX] LCI [ETX]	カメラ ID 記録の設定
[STX] LDA:m [ETX]	[STX] LDA [ETX]	アラーム出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力を設定
[STX] LDF:m [ETX]	[STX] LDF [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録モードを設定
[STX] LDM:m [ETX]	[STX] LDM [ETX]	アラームが入力された場合の記録を設定
[STX] LDO:data1:data2 [ETX]	[STX] LDO [ETX]	外部タイマー出力ターミナルに接続された機器へ制御信号を出力する開始時刻と終了時刻を設定
[STX] LDP:m [ETX]	[STX] LDP [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときの画質設定
[STX] LDQ:m [ETX]	[STX] LDQ [ETX]	外部スイッチャーを接続して記録を行う設定
[STX] LDS:m [ETX]	[STX] LDS [ETX]	スチル再生時のモード (フィールド/フレーム) を選択
[STX] LDT:m:n [ETX]	[STX] LDT [ETX]	アラーム入力 1、2 にアラームが入力された場合の記録時間モードを設定
[STX] LDW:m [ETX]	[STX] LDW [ETX]	オートオフ/録画出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力を設定
[STX] LFS:nn:mmdd:p [ETX]	[STX] LFS [ETX]	フリーセットタイマーの設定
[STX] LIP:n:data1:data2:t [ETX]	[STX] LIP [ETX]	内部タイマー録画を設定
[STX] LIW:abcdefghijklmnp [ETX]	[STX] LIW [ETX]	ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定
[STX] LMA:m [ETX]	[STX] LMA [ETX]	検索モードの切り替え
[STX] LNR:f:p:t [ETX]	[STX] LNR [ETX]	記録モード、画質、記録時間モードの設定
[STX] LRB:m [ETX]	[STX] LRB [ETX]	停止状態が長く続いた場合のブザーを設定
[STX] LRI:m [ETX]	[STX] LRI [ETX]	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画を設定
[STX] LRM:m [ETX]	[STX] LRM [ETX]	タイマー録画モードの設定
[STX] LRR:m [ETX]	[STX] LRR [ETX]	REC REVIEW の設定
[STX] LST:data1:data2 [ETX]	[STX] LST [ETX]	夏時間の開始日時と終了日時を設定
[STX] LSU:m [ETX]	[STX] LSU [ETX]	夏時間の設定 ON/OFF
[STX] LTM:m [ETX]	[STX] LTM [ETX]	記録時間モードの設定
[STX] LTT:m [ETX]	[STX] LTT [ETX]	使用するテープの設定
[STX] LUI:data [ETX]	[STX] LUI [ETX]	記録ユーザー ID の設定
[STX] LWB:m [ETX]	[STX] LWB [ETX]	オートオフ時のブザーを設定
[STX] LWR [ETX]	[STX] LWR [ETX]	POWER LOSS MEMORY データの消去
[STX] LXT:m [ETX]	[STX] LXT [ETX]	外部タイマー信号の入力受け付けを設定

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QAL [ETX]	[STX] ALV0 [ETX]	アドレスレベルを問い合わせる
[STX] QAM:m [ETX]	[STX] LDmdata [ETX]	アラーム録画とセンサー録画の設定を問い合わせる
[STX] QBR [ETX]	[STX] LBRm [ETX]	REC REVIEW を行った結果のブザー設定を問い合わせる
[STX] QCC [ETX]	[STX] CCPdata [ETX]	カウンターデータを問い合わせる (QCD と同様)
[STX] QCD [ETX]	[STX] CDdata [ETX]	カウンターデータを問い合わせる (QCC と同様)
[STX] QCI [ETX]	[STX] LCI m [ETX]	カメラ ID 記録の設定を問い合わせる
[STX] QDA [ETX]	[STX] LDA m [ETX]	アラーム出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力の設定を問い合わせる
[STX] QDB [ETX]	[STX] DB m [ETX]	キャラクター文字の色設定を問い合わせる
[STX] QDD [ETX]	[STX] DDSd:t:m:r [ETX]	モニター画面への表示項目設定を問い合わせる
[STX] QDF [ETX]	[STX] DFC m [ETX]	表示管の表示モードを問い合わせる
[STX] QDM [ETX]	[STX] DMSd:m:n [ETX]	時間表示モードの設定を問い合わせる
[STX] QDO [ETX]	[STX] LDOdata1:data2 [ETX]	外部タイマー出力ターミナルに接続された機器へ制御信号を出力する開始時刻と終了時刻の設定を問い合わせる
[STX] QDP [ETX]	[STX] DPP m m [ETX]	モニター画面への表示位置の設定を問い合わせる
[STX] QDQ [ETX]	[STX] LDQ m [ETX]	外部スイッチャーを接続して記録を行う設定を問い合わせる
[STX] QDS [ETX]	[STX] LDS m [ETX]	スチル再生時のモード (フィールド/フレーム) 選択を問い合わせる
[STX] QDW [ETX]	[STX] LDW m [ETX]	オートオフ/録画出力ターミナルに接続された機器への制御信号出力の設定を問い合わせる
[STX] QFS:nn [ETX]	[STX] LFSnn:mmdd:p [ETX]	フリーセットタイマーの設定を問い合わせる
[STX] QHD [ETX]	[STX] OHDdata [ETX]	テープ情報を問い合わせる
[STX] QHI [ETX]	[STX] HTI m [ETX]	テープが挿入されたときの動作モードを問い合わせる
[STX] QHJ [ETX]	[STX] HEm [ETX]	カセットテープをイジェクトするときの動作設定を問い合わせる
[STX] QHL [ETX]	[STX] HRL m [ETX]	記録中におけるメニュー操作のロックモード設定を問い合わせる
[STX] QHR:H [ETX]	[STX] HTRdata [ETX]	テープ残量を問い合わせる
[STX] QHT [ETX]	[STX] HRE m [ETX]	テープ終端位置での動作モード設定 (記録時) を問い合わせる
[STX] QIC [ETX]	[STX] 1 [ETX]	製品分野別コードを問い合わせる
[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	機器の ID コードを問い合わせる
[STX] QIP:n [ETX]	[STX] LIPn:data1:data2:t [ETX]	内部タイマー録画の設定を問い合わせる
[STX] QIR [ETX]	[STX] LUI mdata [ETX]	再生テープのユーザー ID を問い合わせる
[STX] QIW [ETX]	[STX] LIWabcdefgh:ijklmnop [ETX]	ウィークリータイマーとデイリータイマーの設定を問い合わせる
[STX] QLA:m [ETX]	[STX] LAm n [ETX]	テープ終端位置でアラームが入力されたときの動作モードの設定と、アラーム録画やセンサー録画を行う時間の設定を問い合わせる
[STX] QLD:n [ETX]	[STX] LANnn:data1:data2 [ETX]	ALARM RECALL データを問い合わせる
[STX] QLE [ETX]	[STX] LRI m [ETX]	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画の設定を問い合わせる
[STX] QLH [ETX]	[STX] LHRhhhh [ETX]	アワーメーターの現在値を問い合わせる
[STX] QLM [ETX]	[STX] LRM m [ETX]	タイマー録画モードの設定を問い合わせる
[STX] QLP:n [ETX]	[STX] LPLnn:data1:data2 [ETX]	POWER LOSS MEMORY データを問い合わせる
[STX] QLT [ETX]	[STX] LTM m [ETX]	記録/再生時間モードの設定を問い合わせる

● 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QLZ [ETX]	[STX] LBZm [ETX]	アラーム録画中やセンサー録画中のブザーの設定を問い合わせる
[STX] QMA [ETX]	[STX] LMAm [ETX]	検索モードを問い合わせる
[STX] QNR [ETX]	[STX] VNRm [ETX]	記録モード以外有的时候に、モニター画面へ出力される映像の設定を問い合わせる
[STX] QOP [ETX]	[STX] data [ETX]	本機の動作モードを問い合わせる
[STX] QOR [ETX]	[STX] ORm [ETX]	REC REVIEW を行った結果を問い合わせる
[STX] QOS [ETX]	[STX] OPSdata [ETX]	各種動作モードを問い合わせる
[STX] QPB:m [ETX]	[STX] LPBm:r:data [ETX]	再生テープの情報を問い合わせる
[STX] QPL [ETX]	[STX] PAm [ETX]	電源出力端子からの電源供給設定を問い合わせる
[STX] QRA [ETX]	[STX] RAm [ETX]	ACK (Acknowledge) コード応答設定を問い合わせる
[STX] QRE [ETX]	[STX] LRBm [ETX]	停止状態が長く続いた場合のブザーの設定を問い合わせる
[STX] QRF [ETX]	[STX] LNRf:p:t [ETX]	記録モード、画質、記録時間モードの設定を問い合わせる
[STX] QRR [ETX]	[STX] LRRm [ETX]	REC REVIEW の設定を問い合わせる
[STX] QRS [ETX]	[STX] RSEm [ETX]	サーチエンドモードの設定を問い合わせる
[STX] QRV:m [ETX]	[STX] VERdata [ETX]	ソフトウェアのバージョンを問い合わせる
[STX] QST [ETX]	[STX] LSTdata1:data2 [ETX]	夏時間の開始日時と終了日時の設定を問い合わせる
[STX] QSU [ETX]	[STX] LSUm [ETX]	夏時間の設定 ON/OFF を問い合わせる
[STX] QTA [ETX]	[STX] TATmm:S [ETX]	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻の設定を問い合わせる
[STX] QTC [ETX]	[STX] TTSdata [ETX]	現在の時刻設定を問い合わせる
[STX] QTL [ETX]	[STX] TCSdata [ETX]	現在の日付設定を問い合わせる
[STX] QTP [ETX]	[STX] LTTm [ETX]	使用するテープの設定を問い合わせる
[STX] QTR [ETX]	[STX] HTRm:b [ETX]	テープ終端位置が間近にきたときの警告の設定を問い合わせる
[STX] QUI [ETX]	[STX] LUISdata [ETX]	記録ユーザー ID の設定を問い合わせる
[STX] QVI [ETX]	[STX] VIm [ETX]	映像信号入力端子の設定を問い合わせる
[STX] QVM [ETX]	[STX] VMDm [ETX]	映像出力信号のカラー設定を問い合わせる
[STX] QWB [ETX]	[STX] LWBm [ETX]	オートオフ時のブザー設定を問い合わせる
[STX] QXT [ETX]	[STX] LXTm [ETX]	外部タイマー信号の入力受け付けの設定を問い合わせる

■ 通信 (Communication) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] RAF [ETX]	[STX] RAF [ETX]	ACK (Acknowledge) コードの返信を無効にします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RAN [ETX]	[STX] RAN [ETX]	ACK (Acknowledge) コードの返信を有効にします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RCK [ETX]	[STX] RCK [ETX]	通信が成立しているかをチェックします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] RSE:m [ETX] パラメータ m = 0: ノーマル 1: 完了時コマンド無し 2: 完了時/エラー時コマンド無し	[STX] RSE [ETX]	サーチ完了コマンドの送信タイミングと送信の可/不可を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● ノーマルに設定 サーチ開始時: ACK コードを返信 サーチ完了時: [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ中断時: [STX]ERn[ETX]を返信 ● 完了時コマンド無しに設定 サーチ開始時: ACK コードを返信後に、 [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ完了時: 返信しない サーチ中断時: [STX]ERn[ETX]を返信 ● 完了時/エラー時コマンド無しに設定 サーチ開始時: ACK コードを返信後に、 [STX]□□□[ETX]を返信 サーチ完了時: 返信しない サーチ中断時: 返信しない < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ カウンター (Counter) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] CCP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 (12 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] CCP [ETX]	CTL カウンターに指定のカウンター値をプリセットします。 < ノート > <ul style="list-style-type: none"> ● カウンター値は ± 9:00:00:00 の範囲で設定してください。 ● 検索制御コマンドの処理中と EJECT 中は、受け付けません。
[STX] CLP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 (12 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] CLP [ETX]	CTL カウンターに指定のカウンター値をプリセットします。 < ノート > <ul style="list-style-type: none"> ● カウンター値は ± 9:00:00:00 の範囲で設定してください。 ● 検索制御コマンドの処理中と EJECT 中は、受け付けません。
[STX] CRT [ETX]	[STX] CRT [ETX]	CTL カウンターデータをリセットします。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ 表示 (Display) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] DBB [ETX]	[STX] DBB [ETX]	モニター画面に表示される、文字の表示色を黒に設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DBW [ETX]	[STX] DBW [ETX]	モニター画面に表示される、文字の表示色を白に設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DDS:d:t:m:r [ETX] パラメータ d = N または F (日付) t = N または F (時間) m = N または F (記録時間モード) r = N または F (REC/ALARM) N: ON (表示) F: OFF (非表示)	[STX] DDS [ETX]	モニター画面への表示項目を設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DFC:m [ETX] パラメータ m = C: (COUNT) カウンター表示 I: (TIME) 時計表示 P: (PASS) パス表示	[STX] DFC [ETX]	表示管の表示モードを設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DMS:d:m:n [ETX] パラメータ d = T (固定) m = M: AM/PM 表示 H: 24 時間表示 n = 0 ~ 9: VTR 識別 No. 本機では、VTR 識別 No. を表示する機能がありませんので、0 ~ 9 何れの番号を送信しても問題ありません。	[STX] DMS [ETX]	時間表示モード (12 時間/24 時間) を設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] DPP:mm [ETX] パラメータ mm = C: 中央 LB: 左下 LT: 左上 RB: 右下 RT: 右上	[STX] DPP [ETX]	モニター画面に表示される、文字の表示位置を設定します。 <ノート> 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

■ メディア (Media) 操作制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] HEA [ETX]	[STX] HEA [ETX]	カセットテープをイジェクトするときの動作を、REW▶EJECT (テープを始端位置まで巻き戻してから、イジェクト) に設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HEE [ETX]	[STX] HEE [ETX]	カセットテープをイジェクトするときの動作を、通常のEJECT (現状のテープ位置でイジェクト) に設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HRE:m [ETX] パラメータ m = B: BUZZER E: EJECT P: REPEAT R: REWIND S: STOP	[STX] HRE [ETX]	記録中に、テープ終端位置になったときの本機動作モードを設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HRL:m [ETX] パラメータ m = F: 操作可能 N: 操作禁止	[STX] HRL [ETX]	記録中におけるメニュー操作のロックモードを設定します。
[STX] HTI:m [ETX] パラメータ m = A: REWIND▶REC R: REC S: STOP	[STX] HTI [ETX]	テープが挿入されたときの本機動作モードを設定します。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。
[STX] HTR:m:b [ETX] パラメータ m = 0: 2%の残量 1: 10%の残量 2: 20%の残量 3: 30%の残量 F: (OFF) 警告しない b = N: ブザーで警告する F: (OFF) ブザーで警告しない	[STX] HTR [ETX]	表示管に REMAIN を点滅させ警告表示するテープ残量と、テープ終端位置が間近にきたときに、ブザーを鳴らす設定を行います。

■ 動作 (Operation) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] OAC [ETX]	[STX] OAC [ETX]	アラーム入力を解除します。
[STX] OAF [ETX]	[STX] OAF [ETX]	テープを Forward 方向へコマ送りします。
[STX] OAI:n [ETX] パラメータ n = 1: アラーム入力 1 2: アラーム入力 2 パラメータなし: アラーム入力 1	[STX] OAI [ETX]	アラームを入力します。
[STX] OAR [ETX]	[STX] OAR [ETX]	テープを Reverse 方向へコマ送りします。
[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトします。 < ノート > イジェクトするときの動作は、設定メニュー P4 [VTR MODE SELECT] 画面 (EJECT OPERATION) の設定と HEA コマンドや HEE コマンドの設定で、最後に設定された動作に従います。
[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りします。
[STX] OPA [ETX]	[STX] OPA [ETX]	本機を一時停止モード (REC PAUSE、PLAY PAUSE) または、一時停止解除モード (REC、PLAY) にします。
[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	テープを再生します。
[STX] OPR [ETX]	[STX] OPR [ETX]	テープ Reverse 方向へ再生します。
[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	本機を記録モードにします。 本機が REC INHIBIT のときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。
[STX] ORR [ETX]	[STX] ORR [ETX]	録画チェックを行います。
[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻します。
[STX] OSF:n [ETX] パラメータ n = 1: ×1 倍速 4: ×4 倍速 7: ×7 倍速	[STX] OSF [ETX]	Forward 方向のテープ再生速度を設定します。
[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	本機を STOP モードにします。
[STX] OSR:n [ETX] パラメータ n = 1: ×1 倍速 4: ×4 倍速 7: ×7 倍速	[STX] OSR [ETX]	Reverse 方向のテープ再生速度を設定します。

< ノート >

動作制御コマンドの受け付け条件は、RS-232C モード遷移表を参照してください。(82 ページ)

■ 電源 (Power) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] PAL [ETX]	[STX] PAL [ETX]	電源出力端子からの電源供給を、本機の電源スイッチと連動させます。
[STX] PAU [ETX]	[STX] PAU [ETX]	本機の電源スイッチと関係なく、電源出力端子から常に電源を供給させます。
[STX] POF [ETX]	[STX] POF [ETX]	本機の電源スイッチを OFF にします。
[STX] PON [ETX]	[STX] PON [ETX]	本機の電源スイッチを ON にします。

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] SAS:data [ETX] パラメータ data = nn:d nn = 0 ~ 99: アラーム番号 d = F: Forward 方向 N: Reverse 方向	[STX] SAS [ETX]	パラメータで指定されたアラーム番号を、パラメータで指定された方向に検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</div>
[STX] SCP:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff (CTL データを基準) g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 (固定): フレーム	[STX] SCP [ETX]	パラメータで指定されたカウンター値を検索します。 検索が終了すると、再生を開始します。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</div>
[STX] SCS:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff (CTL データを基準) g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 (固定): フレーム	[STX] SCS [ETX]	パラメータで指定されたカウンター値を検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されます。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。 < ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF</div>

■ 検索 (Search) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] SPT:data [ETX] パラメータ data = ghmmssff (CTL データを基準) g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 ~ 29: フレーム	[STX] SPT [ETX]	<p>パラメータで指定された位置まで再生します。 再生終了後は、本機が STILL モードになります。 指定された位置が、現在の位置よりも以前の場合は、再生せずに STILL モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されません。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。</p> <p>< ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF </div>
[STX] STS:data [ETX] パラメータ data = mmddhhtt:d mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日 hh = 00 ~ 23: 時 tt = 00 ~ 59: 分 d = F: Forward 方向 N: Reverse 方向	[STX] STS [ETX]	<p>パラメータで指定された日時を、パラメータで指定された方向に検索します。 検索が終了すると、STILL モードになります。 動作中に OSP (STOP) コマンドや OEJ (テープ EJECT) コマンドが指示された場合は、本機からエラーコード ERI が返信されます。 本機のフロントパネル操作により、本機の動作モードが変更された場合は、本機からエラーコード ERF が返信されません。 動作中にテープの始端や終端になった場合は、本機からエラーコード ERP が返信されます。 基準にするデータとは異なるデータが送信されたときは、本機からエラーコード ERE が返信されます。</p> <p>< ノート > 検索制御コマンドの処理中や下記のモードのときは、受け付けません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> EJECT、REC、REC PAUSE、REC CHECK、POWER OFF </div>

■ タイマー (Timer) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] TAT:data [ETX] パラメータ data = mm:n mm = 00 ~ 23: 合わせる時の位 FF: 0 ~ 14 分のときに分の位を 00 に戻し、45 ~ 59 分のときには時の位を繰り上げて 00 にします。その他のときは受け付けません。 n = S (固定)	[STX] TAT [ETX]	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻を設定します。
[STX] TCS:data [ETX] パラメータ data = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日	[STX] TCS [ETX]	現在の日付を設定します。 閏年や月に対してあり得ない日を設定した場合は、本機からエラーコード ERE が返信されます。
[STX] TTS:data [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒	[STX] TTS [ETX]	現在の時刻を設定します。 < ノート > 設定メニュー P2 [DAYLIGHT SAVINGS] 画面の MODE が ON に設定され、夏時間が適応されている期間中に時刻を設定するときは、設定する時刻から 1 時間差し引いた時刻を設定してください。

■ ビデオ (Video) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] VIL [ETX]	[STX] VIL [ETX]	映像信号の入力端子を映像入力端子に設定
[STX] VIS [ETX]	[STX] VIS [ETX]	映像信号の入力端子を S 映像入力端子に設定
[STX] VMD:m [ETX] パラメータ m = A: AUTO 入力信号に応じて自動的に切り替えます。 B: B/W 強制的にモノクロにします。 C: COLOR 強制的にカラーにします。	[STX] VMD [ETX]	映像出力信号のカラーを設定します。
[STX] VNR:m [ETX] パラメータ m = C: CAMERA カメラからの映像 B: BLUE BACK ブルーバック信号	[STX] VNR [ETX]	記録モード以外の際に、モニター画面へ出力される映像 (カメラからの映像とブルーバック信号) を設定します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LAD:m [ETX] パラメータ m = 0: 30 秒 1: 1 分 2: 1 分 30 秒 3: 2 分 4: 3 分 5: 6 分 6: 10 分 7: CONTINUE テープの終端まで 8: MANUAL アラームが入力されている間	[STX] LAD [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行う時間を設定します。
[STX] LAI:m [ETX] パラメータ m = S: STOP テープ終端位置で、停止状態 C: CONTINUE アラーム入力を無視	[STX] LAI [ETX]	テープ終端位置でアラームが入力されたときの、動作モードを設定します。
[STX] LAR [ETX]	[STX] LAR [ETX]	ALARM RECALL データを消去します。
[STX] LBR:m [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	[STX] LBR [ETX]	REC REVIEW を行って、適正なビデオレベルが確保されていない場合にブザーを鳴らす設定を行います。
[STX] LBZ:m [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	[STX] LBZ [ETX]	アラーム録画中やセンサー録画中にブザーを鳴らす設定を行います。
[STX] LCI:m [ETX] パラメータ m = N: ON カメラ ID を記録する F: OFF カメラ ID を記録しない	[STX] LCI [ETX]	テープへのカメラ ID の記録を設定します。 フレームスイッチャーを接続して記録を行うときの設定です。
[STX] LDA:m [ETX] パラメータ m = C: CONTINUE 制御信号を、録画後も出力し続ける A: ALARM REC 制御信号を、アラーム録画 中やセンサー録画中のみ出力する	[STX] LDA [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行ったときに、後面のターミナル部の「アラーム出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。
[STX] LDF:m [ETX] パラメータ m = I: フィールド記録 R: フレーム記録	[STX] LDF [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときに、フィールド記録かフレーム記録かを選択します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LDM:m [ETX] パラメータ m = F: OFF アラーム入力を無視 M: ALARM/SENSOR アラーム録画やセンサー録画を行う A: ALARM アラーム録画を行う S: SENSOR センサー録画を行う	[STX] LDM [ETX]	アラームが入力された場合の記録を設定します。
[STX] LDO:data1:data2 [ETX] パラメータ data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00 ~ 23: 時 (24時間モード) mm = 00 ~ 59: 分	[STX] LDO [ETX]	後面のターミナル部の「外部タイマー出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を設定します。 < ノート > 開始時刻 (START) と終了時刻 (END) が同じ時刻に設定された場合、制御信号は出力されません。
[STX] LDP:m [ETX] パラメータ m = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する F: NO CHANGE 現在設定されている画質で記録する	[STX] LDP [ETX]	アラーム録画やセンサー録画を行うときの、画質を設定します。
[STX] LDQ:m [ETX] パラメータ m = N: ON シーケンシャルスイッチャーを接続して記録を行う。 F: OFF 外部スイッチャーを接続しないで記録を行う。 または、フレームスイッチャーを接続して記録を行う。	[STX] LDQ [ETX]	外部スイッチャーを接続して記録を行うときの設定です。
[STX] LDS:m [ETX] パラメータ m = I: フィールド再生 R: フレーム再生	[STX] LDS [ETX]	スチル再生を行うときに、フィールド再生かフレーム再生かを選択します。

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容																																
<p>[STX] LDT:m:n [ETX]</p> <p>パラメータ m = 0 ~ D, F: アラーム入力 1 の記録時間モード n = 0 ~ D, F: アラーム入力 2 の記録時間モード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>S-VHS</th> <th>D-VHS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0: 3 時間</td><td>7 時間</td></tr> <tr><td>1: 9 時間</td><td>21 時間</td></tr> <tr><td>2: 12 時間</td><td>35 時間</td></tr> <tr><td>3: 18 時間</td><td>48 時間</td></tr> <tr><td>4: 24 時間</td><td>60 時間</td></tr> <tr><td>5: 48 時間</td><td>72 時間</td></tr> <tr><td>6: 72 時間</td><td>84 時間</td></tr> <tr><td>7: 96 時間</td><td>96 時間</td></tr> <tr><td>8: 120 時間</td><td>120 時間</td></tr> <tr><td>9: 180 時間</td><td>180 時間</td></tr> <tr><td>A: 240 時間</td><td>240 時間</td></tr> <tr><td>B: 360 時間</td><td>360 時間</td></tr> <tr><td>C: 480 時間</td><td>480 時間</td></tr> <tr><td>D: 960 時間</td><td>960 時間</td></tr> <tr><td>F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	S-VHS	D-VHS	0: 3 時間	7 時間	1: 9 時間	21 時間	2: 12 時間	35 時間	3: 18 時間	48 時間	4: 24 時間	60 時間	5: 48 時間	72 時間	6: 72 時間	84 時間	7: 96 時間	96 時間	8: 120 時間	120 時間	9: 180 時間	180 時間	A: 240 時間	240 時間	B: 360 時間	360 時間	C: 480 時間	480 時間	D: 960 時間	960 時間	F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)		[STX] LDT [ETX]	アラーム入力 1、2 にアラームが入力された場合の記録時間モードを設定します。
S-VHS	D-VHS																																	
0: 3 時間	7 時間																																	
1: 9 時間	21 時間																																	
2: 12 時間	35 時間																																	
3: 18 時間	48 時間																																	
4: 24 時間	60 時間																																	
5: 48 時間	72 時間																																	
6: 72 時間	84 時間																																	
7: 96 時間	96 時間																																	
8: 120 時間	120 時間																																	
9: 180 時間	180 時間																																	
A: 240 時間	240 時間																																	
B: 360 時間	360 時間																																	
C: 480 時間	480 時間																																	
D: 960 時間	960 時間																																	
F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)																																		
<p>[STX] LDW:m [ETX]</p> <p>パラメータ m = W: WARNING 本機に異常が発生したときに、制御信号を出力し続ける R: REC 本機が録画中のときに、制御信号を出力する</p>	[STX] LDW [ETX]	本機の状態に応じて、後面のターミナル部の「オートオフ/録画出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を行います。																																
<p>[STX] LFS:nn:mmdd:p [ETX]</p> <p>パラメータ nn = 01 ~ 12: フリーセットタイマー番号 mm = 00: フリーセットタイマーを設定しない 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日 p = 0: 日曜日 1: 月曜日 2: 火曜日 3: 水曜日 4: 木曜日 5: 金曜日 6: 土曜日 F: 終日 POWER OFF モード</p>	[STX] LFS [ETX]	フリーセットタイマーの設定を行います。月に対してあり得ない日を設定した場合は、本機からエラーコード ERE が返信されます。																																

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容																																
<p>[STX] LIP:n:data1:data2:t [ETX]</p> <p>パラメータ n = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8)</p> <p>data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分</p> <p>t = 0 ~ D, F: 記録時間モード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>S-VHS</th> <th>D-VHS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0: 3 時間</td><td>7 時間</td></tr> <tr><td>1: 9 時間</td><td>21 時間</td></tr> <tr><td>2: 12 時間</td><td>35 時間</td></tr> <tr><td>3: 18 時間</td><td>48 時間</td></tr> <tr><td>4: 24 時間</td><td>60 時間</td></tr> <tr><td>5: 48 時間</td><td>72 時間</td></tr> <tr><td>6: 72 時間</td><td>84 時間</td></tr> <tr><td>7: 96 時間</td><td>96 時間</td></tr> <tr><td>8: 120 時間</td><td>120 時間</td></tr> <tr><td>9: 180 時間</td><td>180 時間</td></tr> <tr><td>A: 240 時間</td><td>240 時間</td></tr> <tr><td>B: 360 時間</td><td>360 時間</td></tr> <tr><td>C: 480 時間</td><td>480 時間</td></tr> <tr><td>D: 960 時間</td><td>960 時間</td></tr> <tr><td>F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	S-VHS	D-VHS	0: 3 時間	7 時間	1: 9 時間	21 時間	2: 12 時間	35 時間	3: 18 時間	48 時間	4: 24 時間	60 時間	5: 48 時間	72 時間	6: 72 時間	84 時間	7: 96 時間	96 時間	8: 120 時間	120 時間	9: 180 時間	180 時間	A: 240 時間	240 時間	B: 360 時間	360 時間	C: 480 時間	480 時間	D: 960 時間	960 時間	F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)		[STX] LIP [ETX]	本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻と記録終了時刻、記録時間モードの、3 項目を組み合わせてプログラムを登録しておきます。
S-VHS	D-VHS																																	
0: 3 時間	7 時間																																	
1: 9 時間	21 時間																																	
2: 12 時間	35 時間																																	
3: 18 時間	48 時間																																	
4: 24 時間	60 時間																																	
5: 48 時間	72 時間																																	
6: 72 時間	84 時間																																	
7: 96 時間	96 時間																																	
8: 120 時間	120 時間																																	
9: 180 時間	180 時間																																	
A: 240 時間	240 時間																																	
B: 360 時間	360 時間																																	
C: 480 時間	480 時間																																	
D: 960 時間	960 時間																																	
F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)																																		
<p>[STX] LIW:abcdefghijklnop [ETX]</p> <p>パラメータ a ~ p = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8) F: タイマーを設定しない</p> <table border="1"> <tbody> <tr><td>a = 日曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>b = 月曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>c = 火曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>d = 水曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>e = 木曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>f = 金曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>g = 土曜日のプログラム 1</td></tr> <tr><td>h = デイリープログラム 1</td></tr> <tr><td>i = 日曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>j = 月曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>k = 火曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>l = 水曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>m = 木曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>n = 金曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>o = 土曜日のプログラム 2</td></tr> <tr><td>p = デイリープログラム 2</td></tr> </tbody> </table>	a = 日曜日のプログラム 1	b = 月曜日のプログラム 1	c = 火曜日のプログラム 1	d = 水曜日のプログラム 1	e = 木曜日のプログラム 1	f = 金曜日のプログラム 1	g = 土曜日のプログラム 1	h = デイリープログラム 1	i = 日曜日のプログラム 2	j = 月曜日のプログラム 2	k = 火曜日のプログラム 2	l = 水曜日のプログラム 2	m = 木曜日のプログラム 2	n = 金曜日のプログラム 2	o = 土曜日のプログラム 2	p = デイリープログラム 2	[STX] LIW [ETX]	ウィークリータイマーとデイリータイマーを設定します。																
a = 日曜日のプログラム 1																																		
b = 月曜日のプログラム 1																																		
c = 火曜日のプログラム 1																																		
d = 水曜日のプログラム 1																																		
e = 木曜日のプログラム 1																																		
f = 金曜日のプログラム 1																																		
g = 土曜日のプログラム 1																																		
h = デイリープログラム 1																																		
i = 日曜日のプログラム 2																																		
j = 月曜日のプログラム 2																																		
k = 火曜日のプログラム 2																																		
l = 水曜日のプログラム 2																																		
m = 木曜日のプログラム 2																																		
n = 金曜日のプログラム 2																																		
o = 土曜日のプログラム 2																																		
p = デイリープログラム 2																																		
<p>[STX] LMA:m [ETX]</p> <p>パラメータ m = F: 検索モード OFF M: メモリストップモード A: アラーム検索モード</p>	[STX] LMA [ETX]	検索モードを切り替えます。																																

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容																																
[STX] LNR:f:p:t [ETX] パラメータ f = l: フィールド記録 R: フレーム記録 p = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する t = 0 ~ D, F: 記録時間モード <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>S-VHS</th> <th>D-VHS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0: 3 時間</td><td>7 時間</td></tr> <tr><td>1: 9 時間</td><td>21 時間</td></tr> <tr><td>2: 12 時間</td><td>35 時間</td></tr> <tr><td>3: 18 時間</td><td>48 時間</td></tr> <tr><td>4: 24 時間</td><td>60 時間</td></tr> <tr><td>5: 48 時間</td><td>72 時間</td></tr> <tr><td>6: 72 時間</td><td>84 時間</td></tr> <tr><td>7: 96 時間</td><td>96 時間</td></tr> <tr><td>8: 120 時間</td><td>120 時間</td></tr> <tr><td>9: 180 時間</td><td>180 時間</td></tr> <tr><td>A: 240 時間</td><td>240 時間</td></tr> <tr><td>B: 360 時間</td><td>360 時間</td></tr> <tr><td>C: 480 時間</td><td>480 時間</td></tr> <tr><td>D: 960 時間</td><td>960 時間</td></tr> <tr><td>F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	S-VHS	D-VHS	0: 3 時間	7 時間	1: 9 時間	21 時間	2: 12 時間	35 時間	3: 18 時間	48 時間	4: 24 時間	60 時間	5: 48 時間	72 時間	6: 72 時間	84 時間	7: 96 時間	96 時間	8: 120 時間	120 時間	9: 180 時間	180 時間	A: 240 時間	240 時間	B: 360 時間	360 時間	C: 480 時間	480 時間	D: 960 時間	960 時間	F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)		[STX] LNR [ETX]	記録モードと画質、記録時間モードを設定します。
S-VHS	D-VHS																																	
0: 3 時間	7 時間																																	
1: 9 時間	21 時間																																	
2: 12 時間	35 時間																																	
3: 18 時間	48 時間																																	
4: 24 時間	60 時間																																	
5: 48 時間	72 時間																																	
6: 72 時間	84 時間																																	
7: 96 時間	96 時間																																	
8: 120 時間	120 時間																																	
9: 180 時間	180 時間																																	
A: 240 時間	240 時間																																	
B: 360 時間	360 時間																																	
C: 480 時間	480 時間																																	
D: 960 時間	960 時間																																	
F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)																																		
[STX] LRB:m [ETX] パラメータ m = F: ブザー OFF 0: 5 分間 1: 10 分間 2: 20 分間 3: 30 分間	[STX] LRB [ETX]	パラメータで指定された時間、停止状態が続いた場合に、ブザーで警告する設定を行います。																																
[STX] LRI:m [ETX] パラメータ m = A: アラーム入力を受け付ける F: アラーム入力を無視	[STX] LRI [ETX]	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画を設定します。																																
[STX] LRM:m [ETX] パラメータ m = E: 外部タイマー録画 I: 内部タイマー録画 N: 通常録画	[STX] LRM [ETX]	タイマー録画モードを設定します。																																
[STX] LRR:m [ETX] パラメータ m = N: 自動録画チェックを行う F: 自動録画チェックを行わない	[STX] LRR [ETX]	自動録画チェックを設定します。 記録時に、適正なビデオレベルが確保されているかを検出するために、一定時間記録を行った後に、その部分を再生します。																																

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LST:data1:data2 [ETX] パラメータ data1 = ndmmtt (開始日時) data2 = ndmmtt (終了日時) n = 1: 第1週目 2: 第2週目 3: 第3週目 4: 第4週目 L: 最終週 d = 0: Sunday 1: Monday 2: Tuesday 3: Wednesday 4: Thursday 5: Friday 6: Saturday mm = 01 ~ 12: 月 tt = 01 ~ 22: 時	[STX] LST [ETX]	夏時間の開始日時と終了日時をパラメータで設定します。
[STX] LSU:m [ETX] パラメータ m = N: ON 夏時間の設定有効 F: OFF 夏時間の設定無効	[STX] LSU [ETX]	夏時間の設定 ON/OFF を切り替えます。
[STX] LTM:m [ETX] パラメータ S-VHS D-VHS m = 0: 3 時間 7 時間 1: 9 時間 21 時間 2: 12 時間 35 時間 3: 18 時間 48 時間 4: 24 時間 60 時間 5: 48 時間 72 時間 6: 72 時間 84 時間 7: 96 時間 96 時間 8: 120 時間 120 時間 9: 180 時間 180 時間 A: 240 時間 240 時間 B: 360 時間 360 時間 C: 480 時間 480 時間 D: 960 時間 960 時間	[STX] LTM [ETX]	記録時間モードを設定します。
[STX] LTT:m [ETX] パラメータ m = S: S-VHS テープ (120 分または 160 分) D: D-VHS テープ (420 分)	[STX] LTT [ETX]	使用するテープを設定します。
[STX] LUI:data [ETX] パラメータ data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0 書き込むユーザー ID を ASCII コードで設定します。 Binary 4BIT×8 ASCII code: 0 ~ 9, A ~ F	[STX] LUI [ETX]	ユーザー ID (8 文字まで) を設定します。 ユーザー ID を設定することにより、記録するテープにユーザー ID が記録されます。 < ノート > 使用する文字は 16 種類です。 0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、A、B、C、D、E、F

■ タイムラプス (Time Lapse) 制御コマンド

検索制御コマンドの処理中は、受け付けません。

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] LWB:m [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	[STX] LWB [ETX]	本機に異常が発生し、自動的に電源が OFF になるときにブザーを鳴らす設定を行います。
[STX] LWR [ETX]	[STX] LWR [ETX]	POWER LOSS MEMORY データを消去します。
[STX] LXT:m [ETX] パラメータ m = N: 信号を受け付ける F: 信号を受け付けない	[STX] LXT [ETX]	外部タイマー録画モードときに、後面のターミナル部に接続された外部タイマーからの信号を受け付ける設定を行います。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容																															
[STX] QAL [ETX]	[STX] ALV0 [ETX]	アドレスレベルを問い合わせます。 MIS規格のアドレスレベル0のみに対応します。																															
<p>[STX] QAM:m [ETX]</p> <p>パラメータ m = M: MODE アラームが入力された場合の記録モードを問い合わせる</p> <p>F: FIELD/FRAME アラーム録画やセンサー録画を行うときの記録モードを問い合わせる</p> <p>P: PICTURE QUALITY アラーム録画やセンサー録画を行うときの画質設定を問い合わせる</p> <p>T: ALARM 1, 2 REC T-MODE アラーム入力 1、2 にアラームが入力された場合の記録時間モードを問い合わせる</p>	<p>[STX] LDmdata [ETX]</p> <p>パラメータ m = M: MODE</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data =</p> <p>F: OFF アラーム入力を無視</p> <p>M: ALARM/SENSOR アラーム録画やセンサー録画を行う</p> <p>A: ALARM アラーム録画を行う</p> <p>S: SENSOR センサー録画を行う</p> </div> <p>m = F: FIELD/FRAME</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data =</p> <p>I: フィールド記録</p> <p>R: フレーム記録</p> </div> <p>m = P: PICTURE QUALITY</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data =</p> <p>H: HIGH 高画質で記録する</p> <p>N: NORMAL 標準画質で記録する</p> <p>F: NO CHANGE 現在設定されている画質で記録する</p> </div> <p>m = T: ALARM 1, 2 REC T-MODE</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>data =m:n</p> <p>m = 0 ~ D, F: アラーム入力 1 の記録時間モード</p> <p>n = 0 ~ D, F: アラーム入力 2 の記録時間モード</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">S-VHS</th> <th style="text-align: left;">D-VHS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0: 3 時間</td><td>7 時間</td></tr> <tr><td>1: 9 時間</td><td>21 時間</td></tr> <tr><td>2: 12 時間</td><td>35 時間</td></tr> <tr><td>3: 18 時間</td><td>48 時間</td></tr> <tr><td>4: 24 時間</td><td>60 時間</td></tr> <tr><td>5: 48 時間</td><td>72 時間</td></tr> <tr><td>6: 72 時間</td><td>84 時間</td></tr> <tr><td>7: 96 時間</td><td>96 時間</td></tr> <tr><td>8: 120 時間</td><td>120 時間</td></tr> <tr><td>9: 180 時間</td><td>180 時間</td></tr> <tr><td>A: 240 時間</td><td>240 時間</td></tr> <tr><td>B: 360 時間</td><td>360 時間</td></tr> <tr><td>C: 480 時間</td><td>480 時間</td></tr> <tr><td>D: 960 時間</td><td>960 時間</td></tr> <tr><td>F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)</td><td></td></tr> </tbody> </table> </div>	S-VHS	D-VHS	0: 3 時間	7 時間	1: 9 時間	21 時間	2: 12 時間	35 時間	3: 18 時間	48 時間	4: 24 時間	60 時間	5: 48 時間	72 時間	6: 72 時間	84 時間	7: 96 時間	96 時間	8: 120 時間	120 時間	9: 180 時間	180 時間	A: 240 時間	240 時間	B: 360 時間	360 時間	C: 480 時間	480 時間	D: 960 時間	960 時間	F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)	
S-VHS	D-VHS																																
0: 3 時間	7 時間																																
1: 9 時間	21 時間																																
2: 12 時間	35 時間																																
3: 18 時間	48 時間																																
4: 24 時間	60 時間																																
5: 48 時間	72 時間																																
6: 72 時間	84 時間																																
7: 96 時間	96 時間																																
8: 120 時間	120 時間																																
9: 180 時間	180 時間																																
A: 240 時間	240 時間																																
B: 360 時間	360 時間																																
C: 480 時間	480 時間																																
D: 960 時間	960 時間																																
F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)																																	

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QBR [ETX]	[STX] LBRm [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	REC REVIEW を行って、適正なビデオレベルが確保されていない場合にブザーを鳴らす設定を問い合わせます。
[STX] QCC [ETX]	[STX] CCPdata [ETX] パラメータ data = ghmmss g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 (12 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒	現在の CTL カウンターデータ (秒単位) を問い合わせます。
[STX] QCD [ETX]	[STX] CDdata [ETX] パラメータ data = fwghmmssff f = F: Fine (固定) w = S: Search STILL P: Search PLAY g = ブランク: プラス時 - 符号: マイナス時 h = 0 ~ 9: 時 (12 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒 ff = 00 (固定): フレーム	現在の CTL カウンターデータを問い合わせます。
[STX] QCI [ETX]	[STX] LCIm [ETX] パラメータ m = N: ON カメラ ID を記録する F: OFF カメラ ID を記録しない	テープへのカメラ ID 記録の設定を問い合わせます。
[STX] QDA [ETX]	[STX] LDAm [ETX] パラメータ m = C: CONTINUE 制御信号を、録画後も出力し続ける A: ALARM REC 制御信号を、アラーム録画中やセンサー録画中的み出力する	アラーム録画やセンサー録画を行ったときに、後面のターミナル部の「アラーム出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を問い合わせます。
[STX] QDB [ETX]	[STX] DBm [ETX] パラメータ m = B: BLACK (黒) W: WHITE (白)	モニター画面に表示される、文字の表示色を問い合わせます。
[STX] QDD [ETX]	[STX] DDSd:t:m:r [ETX] パラメータ d = N または F (日付) t = N または F (時間) m = N または F (記録時間モード) r = N または F (REC/ALARM) N: ON (表示) F: OFF (非表示)	モニター画面への表示項目を問い合わせます。
[STX] QDF [ETX]	[STX] DFCm [ETX] パラメータ m = C: (COUNT) カウンター表示 I: (TIME) 時計表示 P: (PASS) パス表示	表示管の表示モードを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QDM [ETX]	[STX] DMSt:m:n [ETX] パラメータ d = T (固定) m = M: AM/PM 表示 H: 24 時間表示 n = 0 ~ 9: VTR 識別 No. 本機では、VTR 識別 No. を表示する機能がありませんので、0 ~ 9 何れかの番号 (不定) を返信します。	時間表示モード (12 時間/24 時間) を問い合わせます。
[STX] QDO [ETX]	[STX] LDOData1:data2 [ETX] パラメータ data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分	後面のターミナル部の「外部タイマー出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する開始時刻 (START) と終了時刻 (END) を問い合わせます。
[STX] QDP [ETX]	[STX] DPPmm [ETX] パラメータ mm = C: 中央, LB: 左下, LT: 左上, RB: 右下, RT: 右上	モニター画面に表示される、文字の表示位置を問い合わせます。
[STX] QDQ [ETX]	[STX] LDQm [ETX] m = N: ON シーケンシャルスイッチャーを接続して記録を行う。 F: OFF 外部スイッチャーを接続しないで記録を行う。 または、フレームスイッチャーを接続して記録を行う。	外部スイッチャーを接続して記録を行うときの設定を問い合わせます。
[STX] QDS [ETX]	[STX] LDSm [ETX] パラメータ m = I: フィールド再生 R: フレーム再生	スチル再生を行うときに、フィールド再生かフレーム再生かを問い合わせます。
[STX] QDW [ETX]	[STX] LDWm [ETX] パラメータ m = W: WARNING 本機に異常が発生したときに、制御信号を出力し続ける R: REC 本機が録画中のときに、制御信号を出力する	本機の状態に応じて、後面のターミナル部の「オートオフ/録画出力」に接続された機器へ、制御信号を出力する設定を問い合わせます。
[STX] QFS:nn [ETX] パラメータ nn = 01 ~ 12: フリーセットタイマー番号	[STX] LFSnn:mmdd:p [ETX] パラメータ nn = 01 ~ 12: フリーセットタイマー番号 mm = 00: フリーセットタイマーを設定しない 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日 p = 0: 日曜日 1: 月曜日 2: 火曜日 3: 水曜日 4: 木曜日 5: 金曜日 6: 土曜日 F: 終日 POWER OFF モード	フリーセットタイマーの設定を問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ		本機から応答してくる返信データ				コマンドの内容			
[STX] QHD [ETX]		[STX] OHDdata [ETX] data = AD ₀ AD ₁ < ノート > AD ₀ AD ₁ の詳細は、下記の表を参照してください。				現在のテープを問い合わせます。 現在のテープ状態を検出し、ビットマップの情報で送信します。本機は、ビットマップの情報を ASCII コードに変換して返信します。			
ADDRESS	BIT7	BIT6	BIT5	BIT4	BIT3	BIT2	BIT1	BIT0	
AD 0	カセット 無し	誤消去防止用の爪有り	未使用 (0 固定)	未使用 (0 固定)	0	0	0	0	
AD 1	カセット 有り	● 誤消去防止用の爪無し ● VHS テープ挿入	未使用 (0 固定)	未使用 (0 固定)	テープ残量 3%未満	録画中における テープ終端位置 (記録不可位置)	テープ終端 (記録不可位置)	テープ始端 (記録不可位置)	
[STX] QHI [ETX]		[STX] HTIm [ETX] パラメータ m = A: REWIND → REC R: REC S: STOP				テープが挿入されたときの本機動作モードを問い合わせます。			
[STX] QHJ [ETX]		[STX] HEm [ETX] パラメータ m = E: EJECT A: REWIND → EJECT				EJECT ボタンを押したときの動作設定を問い合わせます。			
[STX] QHL [ETX]		[STX] HRLm [ETX] パラメータ m = F: 操作可能 N: 操作禁止				記録中におけるメニュー操作のロックモードを問い合わせます。			
[STX] QHR:H [ETX]		[STX] HTRdata [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 固定: 秒				テープ残量を問い合わせます。 未確定時やテープが EJECT されている場合は、data = FFFFFFFF が返信されます。 < ノート > S-VHS120分テープを使用して3時間記録モードに設定された場合と、D-VHS420分テープを使用して7時間記録モードに設定された場合に有効です。			
[STX] QHT [ETX]		[STX] HREm [ETX] パラメータ m = B: BUZZER E: EJECT P: REPEAT R: REWIND S: STOP				記録中にテープ終端位置になったときの、本機動作モードを問い合わせます。			
[STX] QIC [ETX]		[STX] 1 [ETX]				製品分野別コードを問い合わせます。 本機はテープ機器の「1」を返信します。			
[STX] QID [ETX]		[STX] data [ETX] パラメータ data = AG-DTL2T				機器の ID コードを問い合わせます。			

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容																																
[STX] QIP:n [ETX] パラメータ n = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8)	[STX] LIPn:data1:data2:t [ETX] パラメータ n = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8) data1 = hhmm (開始時刻) data2 = hhmm (終了時刻) hh = 00 ~ 23: 時 (24時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 t = 0 ~ D, F: 記録時間モード <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>S-VHS</th> <th>D-VHS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0: 3時間</td><td>7時間</td></tr> <tr><td>1: 9時間</td><td>21時間</td></tr> <tr><td>2: 12時間</td><td>35時間</td></tr> <tr><td>3: 18時間</td><td>48時間</td></tr> <tr><td>4: 24時間</td><td>60時間</td></tr> <tr><td>5: 48時間</td><td>72時間</td></tr> <tr><td>6: 72時間</td><td>84時間</td></tr> <tr><td>7: 96時間</td><td>96時間</td></tr> <tr><td>8: 120時間</td><td>120時間</td></tr> <tr><td>9: 180時間</td><td>180時間</td></tr> <tr><td>A: 240時間</td><td>240時間</td></tr> <tr><td>B: 360時間</td><td>360時間</td></tr> <tr><td>C: 480時間</td><td>480時間</td></tr> <tr><td>D: 960時間</td><td>960時間</td></tr> <tr><td>F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	S-VHS	D-VHS	0: 3時間	7時間	1: 9時間	21時間	2: 12時間	35時間	3: 18時間	48時間	4: 24時間	60時間	5: 48時間	72時間	6: 72時間	84時間	7: 96時間	96時間	8: 120時間	120時間	9: 180時間	180時間	A: 240時間	240時間	B: 360時間	360時間	C: 480時間	480時間	D: 960時間	960時間	F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)		本機の内部タイマーを使用して記録する場合の、記録開始時刻と記録終了時刻、記録時間モードの、3項目を組み合わせたプログラムを問い合わせます。
S-VHS	D-VHS																																	
0: 3時間	7時間																																	
1: 9時間	21時間																																	
2: 12時間	35時間																																	
3: 18時間	48時間																																	
4: 24時間	60時間																																	
5: 48時間	72時間																																	
6: 72時間	84時間																																	
7: 96時間	96時間																																	
8: 120時間	120時間																																	
9: 180時間	180時間																																	
A: 240時間	240時間																																	
B: 360時間	360時間																																	
C: 480時間	480時間																																	
D: 960時間	960時間																																	
F: OFF (フロントパネルの時 間モードボタンで設定した 記録時間モード)																																		
[STX] QIR [ETX]	[STX] LUImdata [ETX] パラメータ m = R: READ OK E: READ NG data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0 ユーザーIDをASCIIコード8文字で 返信します。 Binary 4BIT×8 ASCII code: 0 ~ 9, A ~ F	再生テープに記録されているユーザーIDを問い合わせます。																																

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QIW [ETX]	<p>[STX] LIWabcdefgh:ijklmnop [ETX]</p> <p>パラメータ a ~ p = 1 ~ 8: プログラム登録番号 (PGM1 ~ PGM8) F: タイマーを設定しない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>a = 日曜日のプログラム 1 b = 月曜日のプログラム 1 c = 火曜日のプログラム 1 d = 水曜日のプログラム 1 e = 木曜日のプログラム 1 f = 金曜日のプログラム 1 g = 土曜日のプログラム 1 h = デイリープログラム 1 i = 日曜日のプログラム 2 j = 月曜日のプログラム 2 k = 火曜日のプログラム 2 l = 水曜日のプログラム 2 m = 木曜日のプログラム 2 n = 金曜日のプログラム 2 o = 土曜日のプログラム 2 p = デイリープログラム 2</p> </div>	ウイークリータイマーとデイリータイマーの設定を問い合わせます。
<p>[STX] QLA:m [ETX]</p> <p>パラメータ m = l: 動作モード D: 時間設定</p>	<p>[STX] LAMn [ETX]</p> <p>パラメータ m = l: 動作モード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>n = S: STOP テープ終端位置で、停止状態 C: CONTINUE アラーム入力を無視</p> </div> <p>m = D: 時間設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>n = 0: 30 秒 1: 1 分 2: 1 分 30 秒 3: 2 分 4: 3 分 5: 6 分 6: 10 分 7: CONTINUE テープの終端まで 8: MANUAL アラームが入力されている間</p> </div>	テープ終端位置でアラームが入力されたときの動作モードと、アラーム録画やセンサー録画を行う時間を問い合わせます。
<p>[STX] QLD:n [ETX]</p> <p>パラメータ n = 0 ~ 7 0 を最新のデータとして、過去 8 回までをパラメータで指定します。</p>	<p>[STX] LANnn:data1:data2 [ETX]</p> <p>パラメータ nn = 00 ~ 99: アラーム番号</p> <p>data1 = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日</p> <p>data2 = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒</p>	ALARM RECALL データを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QLE [ETX]	[STX] LRIm [ETX] パラメータ m = A: アラーム入力を受け付ける F: アラーム入力を無視	リピート録画時、テープを巻き戻しているときに、アラームが入力された場合のアラーム録画やセンサー録画の設定を問い合わせます。
[STX] QLH [ETX]	[STX] LHRhhh [ETX] パラメータ hhhh = 0000 ~ 9999 ドラムの回転積算時間を 4 桁で返信します。	アワーメーターの現在値を問い合わせます。
[STX] QLM [ETX]	[STX] LRMm [ETX] パラメータ m = E: 外部タイマー録画 I: 内部タイマー録画 N: 通常録画	タイマー録画モードの設定を問い合わせます。
[STX] QLP:n [ETX] パラメータ n = 0 ~ 3 0 を最新のデータとして、過去 4 回までをパラメータで指定します。	[STX] LPLnn:data1:data2 [ETX] パラメータ nn = 00 ~ 99: アラーム番号 data1 = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm: 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日 data2 = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒	POWER LOSS MEMORY データを問い合わせます。
[STX] QLT [ETX]	[STX] LTMm [ETX] パラメータ S-VHS D-VHS m = 0: 3 時間 7 時間 1: 9 時間 21 時間 2: 12 時間 35 時間 3: 18 時間 48 時間 4: 24 時間 60 時間 5: 48 時間 72 時間 6: 72 時間 84 時間 7: 96 時間 96 時間 8: 120 時間 120 時間 9: 180 時間 180 時間 A: 240 時間 240 時間 B: 360 時間 360 時間 C: 480 時間 480 時間 D: 960 時間 960 時間	記録/再生時間モードの設定を問い合わせます。
[STX] QLZ [ETX]	[STX] LBZm [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	アラーム録画中やセンサー録画中のブザーの設定を問い合わせます。
[STX] QMA [ETX]	[STX] LMAm [ETX] パラメータ m = F: 検索モード OFF M: メモリストップモード A: アラーム検索モード	検索モードを問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QNR [ETX]	[STX] VNRm [ETX] パラメータ m = C: CAMERA カメラからの映像 B: BLUE BACK ブルーバック信号	記録モード以外の際に、モニター画面へ出力される映像の設定を問い合わせます。
[STX] QOP [ETX]	[STX] data [ETX] data = LIT: INTERNAL TIEMER LXT: EXTERNAL TIEMER OSP: STOP OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD ORW: REWIND OSF: FORWARD SEARCH OSR: REVERSE SEARCH OPL: FORWARD PLAY OPP: PLAY PAUSE OPR: REVERSE PLAY ORC: REC ORP: REC PAUSE ORR: REC REVIEW POF: POWER OFF SAS: ALARM RECALL PLAY SCS: COUNTER SEARCH (STILL) SCP: COUNTER SEARCH (PLAY) SPT: PLAY to	本機の動作モードを問い合わせます。 現在の本機の状態を検出し、ステータスコマンドを返信します。
[STX] QOR [ETX]	[STX] ORm [ETX] パラメータ m = O: REC REVIEW OK N: REC REVIEW NG	REC REVIEW を行った結果を問い合わせます。
[STX] QOS [ETX]	[STX] OPSdata [ETX] data = AD ₀ AD ₁ AD ₂ AD ₃ AD ₄ < ノート > AD* の詳細は、ビットマップ一覧 (A) を参照してください。	各種動作モードを問い合わせます。 現在の本機の状態を検出し、ビットマップの情報で送信します。本機は、ビットマップの情報を ASCII コードに変換して返信します。

● ビットマップ一覧 (A)

ADDRESS	BIT7	BIT6	BIT5	BIT4	BIT3	BIT2	BIT1	BIT0
AD 0	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 1	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 2	REC INHIBIT TAB	CASSETTE IN/OUT	0	VTR STATUS				
AD 3	0	0	0	0	0	0	0	0
AD 4	0	0	0	0	0	0	0	0

VTR STATUS DATA

BIT4 ~ BIT0	VTR STATUS	BIT4 ~ BIT0	VTR STATUS
0, 1, 1, 1, 1	FORWARD SEARCH (7 倍速)	0, 0, 1, 1, 1	PLAY PAUSE
0, 1, 1, 1, 0	REVERSE SEARCH (7 倍速)	0, 0, 1, 1, 0	PLAY
0, 1, 1, 0, 1	FORWARD SEARCH (4 倍速)	0, 0, 1, 0, 1	FORWARD SEARCH (1 倍速)
0, 1, 1, 0, 0	REVERSE SEARCH (4 倍速)	0, 0, 1, 0, 0	POWER OFF
0, 1, 0, 1, 1	REVERSE SEARCH (1 倍速)	0, 0, 0, 1, 1	FAST FORWARD
0, 1, 0, 1, 0	REC REVIEW	0, 0, 0, 1, 0	REWIND
0, 1, 0, 0, 1	REC PAUSE	0, 0, 0, 0, 1	EJECT
0, 1, 0, 0, 0	RECORDING	0, 0, 0, 0, 0	STOP

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	コマンドの内容
[STX] QPB:m [ETX] パラメータ m = D: 日付情報、T: 時間情報、A: アラーム番号情報、 R: 記録時間モード情報、O: モニター画面表示情報	再生テープの情報を問い合わせます。
本機から応答してくる返信データ	
[STX] LPBm:r:data [ETX] パラメータ m = D: 日付情報 r = O: READ OK N: READ NG <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">data = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日</div> m = T: 時間情報 r = O: READ OK N: READ NG <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒</div> m = A: アラーム番号情報 r = O: READ OK N: READ NG <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">data = nn nn = 00 ~ 99: アラーム番号 FF: アラームデータ無し</div>	m = R: 記録時間モード情報 r = O: READ OK N: READ NG <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">data = t S-VHS D-VHS t = 0: 3 時間 7 時間 1: 9 時間 21 時間 2: 12 時間 35 時間 3: 18 時間 48 時間 4: 24 時間 60 時間 5: 48 時間 72 時間 6: 72 時間 84 時間 7: 96 時間 96 時間 8: 120 時間 120 時間 9: 180 時間 180 時間 A: 240 時間 240 時間 B: 360 時間 360 時間 C: 480 時間 480 時間 D: 960 時間 960 時間</div>
	m = O: モニター画面表示情報 r = O: READ OK N: READ NG <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">data = xx:yy:d2d1 xx = 00 ~ 16: (16 進数) 先頭文字の位置 (横方向) モニター画面を横方向に 22 分 割した左からの位置 yy = 01 ~ 0E: (16 進数) 先頭文字の位置 (縦方向) モニター画面を縦方向に 13 分 割した上からの位置 d2d1 = 00 ~ FF: モニター画面表示の ON/OFF < ノート > d2d1 の詳細は、モニター画面表 示情報一覧を参照してくださ い。</div>

● モニター画面表示情報一覧

返信 コマンド (d1)	モニター画面表示情報 ON (○) / OFF (×)			
	—	時間	日付	アラーム 番号
0	×	×	×	×
1	○	×	×	×
2	×	○	×	×
3	○	○	×	×
4	×	×	○	×
5	○	×	○	×
6	×	○	○	×
7	○	○	○	×
8	×	×	×	○
9	○	×	×	○
A	×	○	×	○
B	○	○	×	○
C	×	×	○	○
D	○	×	○	○
E	×	○	○	○
F	○	○	○	○

返信 コマンド (d2)	モニター画面表示情報 ON (○) / OFF (×)			
	記録時間 モード	24/12 時間 表示	—	—
0	×	×	×	×
1	○	×	×	×
2	×	○	×	×
3	○	○	×	×
4	×	×	○	×
5	○	×	○	×
6	×	○	○	×
7	○	○	○	×
8	×	×	×	○
9	○	×	×	○
A	×	○	×	○
B	○	○	×	○
C	×	×	○	○
D	○	×	○	○
E	×	○	○	○
F	○	○	○	○

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容																														
[STX] QPL [ETX]	[STX] PAm [ETX] m = L: 電源スイッチと連動させる U: 常に電源を供給する	電源出力端子からの電源供給設定を問い合わせます。																														
[STX] QRA [ETX]	[STX] RAm [ETX] m = N: ACK ON F: ACK OFF	ACK (Acknowledge) コードの応答設定を問い合わせます。																														
[STX] QRE [ETX]	[STX] LRBm [ETX] パラメータ m = F: ブザー OFF 0: 5 分間 1: 10 分間 2: 20 分間 3: 30 分間	停止状態が長く続いた場合に、ブザーで警告する設定を問い合わせます。																														
[STX] QRF [ETX]	[STX] LNRf:p:t [ETX] パラメータ f = I: フィールド記録 R: フレーム記録 p = H: HIGH 高画質で記録する N: NORMAL 標準画質で記録する t = 0 ~ D, F: 記録時間モード <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>S-VHS</th> <th>D-VHS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0: 3 時間</td><td>7 時間</td></tr> <tr><td>1: 9 時間</td><td>21 時間</td></tr> <tr><td>2: 12 時間</td><td>35 時間</td></tr> <tr><td>3: 18 時間</td><td>48 時間</td></tr> <tr><td>4: 24 時間</td><td>60 時間</td></tr> <tr><td>5: 48 時間</td><td>72 時間</td></tr> <tr><td>6: 72 時間</td><td>84 時間</td></tr> <tr><td>7: 96 時間</td><td>96 時間</td></tr> <tr><td>8: 120 時間</td><td>120 時間</td></tr> <tr><td>9: 180 時間</td><td>180 時間</td></tr> <tr><td>A: 240 時間</td><td>240 時間</td></tr> <tr><td>B: 360 時間</td><td>360 時間</td></tr> <tr><td>C: 480 時間</td><td>480 時間</td></tr> <tr><td>D: 960 時間</td><td>960 時間</td></tr> </tbody> </table> F: OFF (フロントパネルの時間モードボタンで設定した記録時間モード)	S-VHS	D-VHS	0: 3 時間	7 時間	1: 9 時間	21 時間	2: 12 時間	35 時間	3: 18 時間	48 時間	4: 24 時間	60 時間	5: 48 時間	72 時間	6: 72 時間	84 時間	7: 96 時間	96 時間	8: 120 時間	120 時間	9: 180 時間	180 時間	A: 240 時間	240 時間	B: 360 時間	360 時間	C: 480 時間	480 時間	D: 960 時間	960 時間	記録モード、画質、記録時間モードの設定を問い合わせます。
S-VHS	D-VHS																															
0: 3 時間	7 時間																															
1: 9 時間	21 時間																															
2: 12 時間	35 時間																															
3: 18 時間	48 時間																															
4: 24 時間	60 時間																															
5: 48 時間	72 時間																															
6: 72 時間	84 時間																															
7: 96 時間	96 時間																															
8: 120 時間	120 時間																															
9: 180 時間	180 時間																															
A: 240 時間	240 時間																															
B: 360 時間	360 時間																															
C: 480 時間	480 時間																															
D: 960 時間	960 時間																															
[STX] QRR [ETX]	[STX] LRRm [ETX] パラメータ m = N: 自動録画チェックを行う F: 自動録画チェックを行わない	自動録画チェックの設定を問い合わせます。																														
[STX] QRS [ETX]	[STX] RSEm [ETX] パラメータ m = 0: ノーマル 1: 完了時コマンド無し 2: 完了時/エラー時コマンド無し	サーチエンドモードの設定を問い合わせます。																														

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QRV:m [ETX] パラメータ m = D: DIGITAL VIDEO マイコンの ROM バージョン E: SERVO SYSCON マイコンのバージョン I: INTERFACE マイコンの ROM バージョン P: PLD マイコンの ROM バージョン パラメータなし: INTERFACE の ROM バージョン	[STX] VERdata [ETX] パラメータ data = d1d2.d3d4-d5d6-d7.d8d9 d1 ~ d9: ソフトウェアのバージョン	各マイコンに使用されているソフトウェアのバージョンを問い合わせます。
[STX] QST [ETX]	[STX] LSTdata1:data2 [ETX] パラメータ data1 = ndmmtt (開始日時) data2 = ndmmtt (終了日時) n = 1: 第1週目 2: 第2週目 3: 第3週目 4: 第4週目 L: 最終週 d = 0: Sunday 1: Monday 2: Tuesday 3: Wednesday 4: Thursday 5: Friday 6: Saturday mm = 01 ~ 12: 月 tt = 01 ~ 22: 時	夏時間の開始日時と終了日時の設定を問い合わせます。
[STX] QSU [ETX]	[STX] LSUm [ETX] パラメータ m = N: 夏時間の設定有効 F: 夏時間の設定無効	夏時間の設定 ON/OFF を問い合わせます。
[STX] QTA [ETX]	[STX] TATmm:S [ETX] パラメータ data = mm:n mm = 00 ~ 23: 合わせる時の位 FF: 0 ~ 14 分のときに分の位を 00 に戻し、45 ~ 59 分の ときには時の位を繰り上げ て 00 にします。その他の ときは受け付けません。 n = S (固定)	後面のターミナル部の「時刻合わせ入力」に接続された機器から、信号が入力されたときに合わせる時刻の設定を問い合わせます。
[STX] QTC [ETX]	[STX] TTSdata [ETX] パラメータ data = hhmmss hh = 00 ~ 23: 時 (24 時間モード) mm = 00 ~ 59: 分 ss = 00 ~ 59: 秒	現在の時刻設定を問い合わせます。
[STX] QTL [ETX]	[STX] TCSdata [ETX] パラメータ data = yyyyymmdd yyyy = 2000 ~ 2099: 西暦 mm = 01 ~ 12: 月 dd = 01 ~ 31: 日	現在の日付設定を問い合わせます。

■ 問い合わせ (Question) 制御コマンド

パソコンの送信データ	本機から応答してくる返信データ	コマンドの内容
[STX] QTR [ETX]	[STX] HTRm:b [ETX] パラメータ m = 0: 2%の残量 1: 10%の残量 2: 20%の残量 3: 30%の残量 F: (OFF) 警告しない b = N: ブザーで警告する F: (OFF) ブザーで警告しない	表示管に REMAIN を点滅させ警告表示するテープ残量と、テープ終端位置が間近にきたときに、ブザーを鳴らす設定を問い合わせます。
[STX] QTP [ETX]	[STX] LTTm [ETX] パラメータ m = S: S-VHS テープ (120分または160分) D: D-VHS テープ(420分)	使用するテープの設定を問い合わせます。
[STX] QUI [ETX]	[STX] LUISdata [ETX] パラメータ data = U7U6U5U4U7U3U2U1U0 書き込むユーザー ID を ASCII コードで設定します。 Binary 4BIT×8 ASCII code: 0 ~ 9, A ~ F	記録するユーザー ID の設定を問い合わせます。
[STX] QVI [ETX]	[STX] VIm [ETX] パラメータ m = L: LINE (映像入力端子) S: S-VIDEO (S 映像入力端子)	映像信号入力端子の設定を問い合わせます。
[STX] QVM [ETX]	[STX] VMDm [ETX] パラメータ m = A: AUTO 入力信号に応じて自動的に切り替えます。 B: B/W (モノクロ) C: COLOR (カラー)	映像出力信号のカラー設定を問い合わせます。
[STX] QWB [ETX]	[STX] LWBm [ETX] パラメータ m = N: ブザー ON F: ブザー OFF	本機に異常が発生し、自動的に電源が OFF になるときにブザーを鳴らす設定を問い合わせます。
[STX] QXT [ETX]	[STX] LXTm [ETX] パラメータ m = N: 信号を受け付ける F: 信号を受け付けない	外部タイマー録画モードときに、後面のターミナル部に接続された外部タイマーからの信号を受け付ける設定を問い合わせます。

■ モード遷移表

返信 コマンド	VTR STATUS													
	STOP	FF	REW	PLAY	REV PLAY	STILL/ PAUSE	CUE	REVIE W	REC PAUSE	REC	REC CHECK	EJECT	POWER OFF	
OPR	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
OPL	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
OSP	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
OPA	○	○	○	○	○	PLAY	○	○	REC	REC PAUSE	×	×	×	
ORW	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
OAF	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
OAR	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
OEJ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	
ORR	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	—	×	×	
ORC	○	○	○	○	○	REC PAUSE	○	○	○	—	○	×	×	
PON	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
POF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
検索 コマンド	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	

<ノート>

- : 返信コマンドのモードに、動作が変化します。
- ×
- × : エラーコード ERE を返信し、実行不可能になります。
- : 動作状態を維持します。



OPA コマンド : OPA コマンドは、現在の動作モードから別の動作モードになる場合があります。

検索コマンド : OPT、SCP、SCS、SMS、SPT、SRS、SUB

エラーメッセージ

本機に異常が発生した場合には、カウンター表示部に下記のエラーメッセージが表示されます。


下記の対処を行ってもエラーが解除されない場合は、電源スイッチをOFFにし、電源コードを外してお買い上げの販売店にご相談ください。

エラー番号	内 容	対 処
— d —	結露が発生しています。 取出しボタンのみの操作が有効になります。 カセットテープが挿入されているときは、ローディング動作を行いません。 カセットテープが挿入されていないときは、シリンダーが回転します。	電源を入れた状態でエラーメッセージが消えるまでお待ちください。
E-2	カセットテープが正しく挿入されていないときや、取出しボタンを押した後2～5秒経過してもカセットが出てこないときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	再度電源を入れ直してください。
E-3	ローディング動作やアンローディング動作が、2～5秒経過しても完了しないときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	
E-4	シリンダーモーターの回転数が異常に低いときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	
E-5	リールモーターに、異常なトルクがかかっていること等を検出したときに表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	カセットテープの劣化が考えられます。 再度電源を入れ直して、カセットテープを交換してください。
E-6	テープ走行が不安定な場合に表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	
E-7	リール台を制御するソレノイドに異常がある場合に表示されます。 自動的に電源がOFFになります。	再度電源を入れ直してください。
 点滅	録画チェック後、適正なビデオレベルが得られなかった場合に  が点滅します。	ヘッドの汚れやカセットテープの劣化が考えられます。 ヘッドクリーニングを行うか、カセットテープを交換してください。

トラブルシューティング

操作中に下記の症状が発生したときは、下記の項目を確認していただき、それでも解決しないときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードを外してお買い上げの販売店にご相談ください。

トラブル	確認項目	対処
モニター画面がブルーになる。 (再生中)	録画されていない部分を再生していませんか?	録画されている部分を再生してください。
	トラッキングがずれていませんか?	TIME MODE を 3H にし、トラッキングボタンの (+) または (-) を押して、トラッキング情報の数値を最大にしてください。(D-VHS テープの場合は 7H に設定)
	本機 (AG-DTL2) または、AG-DTL1 で録画されたテープですか?	本機 (AG-DTL2) と AG-DTL1 で録画されたテープ以外は、再生できません。
	使用されているテープは、S-VHS テープまたは D-VHS テープですか?	本機では、S-VHS テープと D-VHS テープが使用できます。VHS テープは使用できません。
(再生中以外)	カメラからの信号が入力されていますか?	設定しているカメラを、映像入力端子に正しく接続してください。
	設定メニュー P2 [REC LOSS INDICATOR] 画面で VIDEO OUT 項目の設定が CAMERA に設定されていますか?	VIDEO OUT 項目の設定が BLUE に設定されていると、記録モード以外の時はモニター画面がブルーになります。
設定メニューが変更できない。	本機の動作モードが録画中や、一時停止中ですか?	プログラムスイッチを「切」にし、本機の動作モードを録画中や、一時停止中から解除します。再度プログラムスイッチを「メニュー」にしてメニュー操作を行ってください。
	ロックスイッチが「切」になっていますか?	ロックスイッチが「オール」の位置では、メニュー操作が行えません。ロックスイッチが「録画」の位置では、録画中や自動巻き戻し中のメニュー操作が行えません。
	設定メニュー P1 [REC LOCK] 画面で MODE 項目の設定が OFF に設定されていますか?	MODE 項目の設定が ON に設定されていると、録画中や自動巻き戻し中のメニュー操作が行えません。
操作ボタンを押しても本機が動作しない。	プログラムスイッチが「切」になっていますか?	プログラムスイッチを「切」にしてください。「切」の位置以外では、操作ボタンを押しても本機が動作しないときがあります。
記録開始部分が常に 3H モードで記録される。 (D-VHS テープの場合は 7H モードで記録)	—————	故障ではありません。タイムラプスモードで記録を行うときに、テープ走行を安定させるために、約 3 秒間 3H モードで記録を行います。(D-VHS テープの場合は 7H モードで記録)

トラブル	警告内容	対処
ブザーが鳴る。 (停止中)	[REC WARNING] 設定メニュー P5 [REC WARNING] 画面の REC LOSS BUZZER 項目で設定した時間が経過しています。	録画を行うか、何れかの操作ボタンを押すとブザーは止まります。
(録画中)	[VTR MODE SELECT] 設定メニュー P4 [VTR MODE SELECT] 画面の (TAPE END) MODE 項目で BUZZER が設定されていて、テープ終端位置を検出しています。	何れかの操作ボタンを押すとブザーは止まります。テープを確認してください
(録画中で REMAIN が点滅)	[TAPE REMAIN] 設定メニュー P5 [TAPE REMAIN] 画面の BUZZER 項目で ON が設定されていて、テープ終端位置が間近であることを検出しています。	何れかの操作ボタンを押すとブザーは止まります。テープを確認してください
(録画中で ALARM が点滅)	[ALARM/SENSOR REC] 設定メニュー P3 [ALARM/SENSOR REC] 画面の BUZZER 項目で ON が設定されていて、アラーム録画やセンサー録画が行われていることを検出しています。	何れかの操作ボタンを押すとブザーは止まります。
(録画中で  が点滅)	[REC REVIEW] 設定メニュー P5 [REC REVIEW] 画面の ERROR BUZZER 項目で ON が設定されていて、録画チェックでエラーを検出しています。	何れかの操作ボタンを押すとブザーは止まります。テープが傷んでいないか確認してください。また、ビデオヘッドが汚れている場合がありますので、ビデオヘッドクリーニングを行ってください。
(INT が点滅)	内部タイマー録画を選択しましたが、実行できない状態です。	<ul style="list-style-type: none"> カセットテープを確認してください。 時刻が設定されているか確認してください。 内部タイマー録画のプログラムを確認してください。
(EXT が点滅)	外部タイマー録画を選択しましたが、実行できない状態です。	カセットテープを確認してください。
(電源が OFF になりエラーメッセージが表示)	[ERROR WARN BUZZER] 設定メニュー P5 [ERROR WARN BUZZER] 画面の MODE 項目で ON が設定されていて、本機にエラーが発生し電源を OFF にしたことを検出しています。	何れかの操作ボタンを押すとブザーは止まります。83 ページのエラーメッセージを参照してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお薦めいたします。
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

結露

露付きが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。
本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の高いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。もし、本機に結露が発生したときは、カウンター表示部にエラーメッセージ（-d-）が点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま電源を入れた状態で、エラーメッセージが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。
シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間...お買い上げ日から1年間

取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
- (ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
- (ハ) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「エラーメッセージ」と「トラブルシューティング」の項を点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● 各種ベルト |
| ● ピンチローラー | ● ゴムプリー類 |
| ● 各種ブレーキ | ● ローラー類 |
| ● モーター類 | ● ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源電圧	AC100V、50Hz/60Hz
消費電力	30W

 は安全項目です。

動作周囲温度

5 ~ 40

動作周囲湿度

35% ~ 80% (結露無し)

外形寸法

380 (幅) × 110 (高さ) × 340 (奥行) mm

重量

6.9kg

記録方式

D-TL 記録方式 (DV 圧縮マルチセグメント記録)

記録トラック

オーディオ信号、リニア: 1トラック

テープスピード

20.82mm/sec (3時間モード)

16.51mm/sec (7時間モード)

使用テープ

S-VHS 規格テープ (120分テープ推奨)

D-VHS 規格テープ (420分テープ推奨)

記録時間モード

S-VHS 120分テープ:

3/9/12/18/24/48/72/96/120/180/240/
360/480/960時間

D-VHS 420分テープ:

7/21/35/48/60/72/84/96/120/180/240/
360/480/960時間

早送り/巻き戻し時間

約3分以内 (S-VHS 120分テープ使用時)

約4分以内 (D-VHS 420分テープ使用時)

【映像】

水平解像度

HIGH : 520本以上 (BW/COLOR)

NORMAL : 380本以上 (BW/COLOR)

S/N

HIGH : 50dB以上 (BW/COLOR)

NORMAL : 50dB以上 (BW/COLOR)

映像入力 (BNC)

1.0V [P-P]、75Ω、不平衡

S映像入力 (4P)

輝度信号 : 1.0V [P-P]

色信号 : 0.286V [P-P] (パーストレベル)

75Ω、不平衡

S映像出力 (4P)

輝度信号 : 1.0V [P-P]

色信号 : 0.286V [P-P] (パーストレベル)

75Ω、不平衡

映像出力 (BNC)

1.0V [P-P]、75Ω、不平衡

【音声】

S/N

42dB ("A" weighted) 3時間モード

周波数特性

70Hz ~ 7kHz (3時間モード)

記録/再生時間モード

3/9/12/18/24時間 (S-VHS 120分テープ使用時)

7/21/35/48/60時間 (D-VHS 420分テープ使用時)

音声入力 (ピンジャック)

- 10dBV、47kΩ、不平衡

マイク入力

- 60dBV、600Ω ~ 4.7kΩ、不平衡

音声出力 (ピンジャック)

- 8dBV、600Ω、不平衡

【ターミナル部】

入力

アラーム入力1、アラーム入力2、アラームリセット入力、
録画入力、外部タイマー入力、時刻合わせ入力

出力

アラーム出力、外部タイマー出力、テープ終端出力、
オートオフ/録画出力

【その他】

カメラ切り替え出力端子 (ピンジャック)

12V、5.6kΩ

外部スイッチャー用カメラ切り替えタイミング信号出力

リモコン端子

リモートコントローラ AG-A11 (別売品) 専用端子

RS-232C 端子

D-sub 9ピン、RS-232C インターフェース

【付属品】

電源コード

1本

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161